

令和5年度

山口県教育推進の手引き

未来を拓く ^{ひら} たくましい「やまぐちっ子」の育成



令和5年4月

山口県教育委員会

はじめに

県教育委員会では、2018年10月に策定した「山口県教育振興基本計画」に基づき、教育目標である「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」に向け、「知・徳・体の調和のとれた教育の推進」「学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進」「生涯を通じた学びの充実」「豊かな学びを支える教育環境の充実」の4つの柱に沿って本県の教育課題に対応した諸施策を総合的・計画的に推進してきたところです。

この間、全ての公立小・中・高・特別支援学校等へのコミュニティ・スクールの導入による地域連携教育の推進や、「県立高校将来構想」に基づく特色ある学校づくりの推進、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会変化にいち早く対応して整備したICT環境の効果的な活用など、各分野において、教育の質の向上に努めてきました。

今後、国においては、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとした次期教育振興基本計画に沿って、教育施策を推進していくこととなりますが、県教委としても、国の計画を参酌するとともに、これまでの取組成果や課題等を検証した上で、新しい「山口県教育振興基本計画」の策定に向け取り組んでいるところです。

本手引きは、本県教育に関わる全ての人が、本県教育の現状やめざす方向性、取組内容等を共有し、一体となって取り組むために、本県の教育目標の実現に向けた令和5年度の取組内容を体系的・総合的に示すとともに、市町教育委員会や学校が、それぞれの取組を点検・評価しながら改善・見直しを図る、いわゆるPDCAサイクルに沿った教育活動ができるよう、関係指標等の各種データや学校現場での取組の参考となる資料を掲載しています。

各学校におかれましては、本手引きを有効に活用し、学校の教育目標の設定や教育活動の点検・評価等を通じた継続的な学校運営の改善を図るとともに、創意工夫しながら積極的な教育活動を展開され、児童生徒や保護者、地域の期待に応える学校づくりに努めていただきますようお願いいたします。

令和5年4月

山口県教育委員会教育長 繁 吉 健 志

目次

■ はじめに	
■ 山口県の教育のすがた	1
■ 山口県の教育目標	2
■ 目標達成に向けて	3
■ めざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて	4
■ 施策の展開	
1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	9
1-1 キャリア教育の推進	10
1-2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実	12
1-3 グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成	23
1-4 進路指導の充実	26
1-5 読書活動の推進	30
1-6 学校における人権教育の推進	32
1-7 いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実	34
1-8 体力向上の推進	38
1-9 食育の推進	40
1-10 健康教育の推進	42
1-11 特別支援教育の推進	45
1-12 幼児期における取組の充実	50
1-13 少人数教育の推進	52
2 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進	53
14 地域連携教育の充実	54
15 家庭教育支援の充実	58
16 社会教育施設等を活用した教育の充実	60
3 生涯を通じた学びの充実	62
17 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	63
18 地域社会における人権教育の推進	65
19 地域とともにすすめる文化財の保存・活用	67
20 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	69
21 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	71
4 豊かな学びを支える教育環境の充実	73
22 教育施設・設備の整備、教育環境の向上	74
23 学校安全の推進	75
24 学校における働き方改革の推進	78
25 教職員の資質能力の向上	80
26 校種間連携・一貫教育の推進	87
27 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり	89
28 私学の振興	92
29 修学支援の充実	93
■ 「やまぐちスマートスクール構想」の推進	95
《関連資料》	98
□ 令和5年度教育委員会当初予算の概要	
□ 国の次期教育振興基本計画（答申）の概要	

※ 本手引きは、山口県教育振興基本計画（2018～2022年度）の施策展開の枠組み（4つの柱、29の施策）を継承した構成で作成しています。

本県教育をめぐる状況

1 教育を取り巻く社会状況の変化

- (1)人口減少・高齢化の進展
- (2)急速な技術革新とグローバル化の進展
- (3)地域や社会経済的な背景

2 子どもの状況

- (1)子どもの学力・学習
- (2)子どもの生活
- (3)子どもの体格・体力
- (4)児童生徒の生徒指導上の諸課題
- (5)高校卒業者の進学・就職
- (6)「やまぐち型地域連携教育」推進による子どもたちの変容
- (7)子どもたちと向き合う教員の長時間勤務の状況

教育目標：未来を拓く ^{ひら}たくましい「やまぐちっ子のすがた」の育成

やまぐちっ子のすがた

- 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
- 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

目標達成に向けて

3つの力(学ぶ力、創る力、生き抜く力) 3つの心(広い心、温かい心、燃える心)の育成

施策の展開

総合的・計画的な施策の推進

- 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進
- 生涯を通じた学びの充実
- 豊かな学びを支える教育環境の充実

山口県の教育目標

未来を^{ひら}く たくましい「やまぐちっ子」の育成

やまぐちっ子のすがた

- ★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- ★ 知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
- ★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

本県においては、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支える「やまぐち型地域連携教育」の推進により、子どもたちの自己肯定感・自己有用感の高まりや、地域の行事やボランティア活動への積極的な参加などの効果が見られるほか、人の役に立つ人間になりたい、自分にはよいところがあると考えながら生活を送っている子どもたちの割合は、全国の状況と比べ望ましい傾向にあります。また、学力についても向上・改善傾向にあり、これらは、本県の子どもたちのよさと考えられます。

また、本県教育の特色は、豊かな先見性、進取の気質、質実剛健の気風、郷土を愛し郷土に奉仕する精神とともに、「若さに期待し、若さに託してきた」優れた教育風土に代表されると言われており、これらは本県が未来に引き継ぐべき貴重な財産です。

今後も、こうした本県教育の特色を生かしながら、子どもたちのよさを更に伸ばし、社会の変化が激しさを増し、複雑で予測困難となることが見込まれるこれからの難しい時代において、高い志をもち、多様な人々と協働しながら、主体的に自らの将来や社会を力強く切り拓いていく子どもたちを育てていくことが必要です。

このため、時代の変化という「流行」の中で、未来を切り拓いていくための力の基礎は、学校教育における「不易」たるものの中で生まれるとの考えのもと、県民総参加のもと取り組んできた教育目標「未来を^{ひら}く たくましい『やまぐちっ子』の育成」を継承し、知・徳・体の調和のとれた教育の推進や教育環境の整備など、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。

目標達成に向けて

「3つの力」「3つの心」の育成

創る力

「社会構造が大きく変化する中、よりよい未来に向かって新たな価値を創り出す力」

自ら課題を見つけ、将来を見通しながらよりよく解決していく力や、科学的なものの見方や考え方、情報や技術を活用する力、豊かな創造力を育成します。

燃える心

「大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心」

未知なるものに進んで挑戦する態度や、困難に立ち向かい、それに打ち勝とうとする態度、また、新しいものを進んで取り入れようとする態度などを育てていきます。

広い心

「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで広い心」

多様な考えや立場を理解し、尊重する態度や、他国の伝統・文化を理解し、協調していく態度、郷土の伝統や文化を地域や人とのつながりを通じて尊重し、継承する態度、また、平和を愛する心や態度などを育てていきます。

学ぶ力

「これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力」

知的な好奇心を高め、自ら学びに向かう意欲や態度を身に付けさせるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能や、これらを活用して未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力などを育成します。

生き抜く力

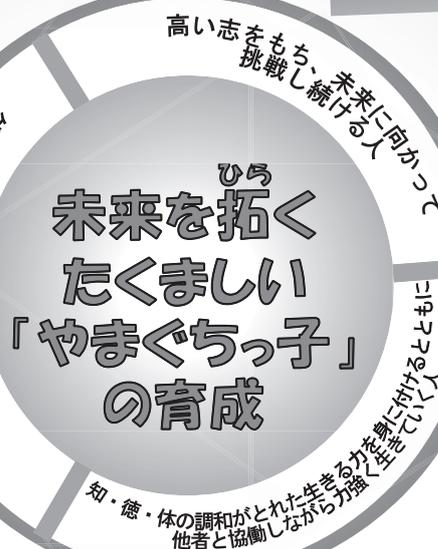
「自己を肯定し、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携・協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力」

社会生活において不可欠な規範意識や倫理観、コミュニケーション能力とともに、自己肯定感や自己有用感、たくましく生き抜いていくために必要な健康や体力を育成します。

温かい心

「人間に対する深い愛情や自然・生命に対する畏敬の念などを基盤とした、豊かで温かい心」

他者を思いやり、共感したり感動したりする心や態度、社会に貢献しようとする態度、感謝する心や態度などを育てていきます。



めざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて

教育目標においてめざす「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けては、「3つの力」と「3つの心」を育むために、コミュニティ・スクールを基盤として、授業等での取組をはじめ、学校の組織的な取組や家庭・地域との連携による取組内容をより一層充実していくことが必要です。

ここでは、「やまぐちっ子」の「すがた」の実現に向けて、育みたい「力」や「心」とともに期待する学校での具体的な取組内容を示しています。

高い志をもち、
未来に向かって
挑戦し続ける人

知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に
付けるとともに、他者と協働しながら力強く
生きていく人

郷土に誇りと愛着をもち、
グローバルな視点で社会
に参画する人

3つの力

<学ぶ力・創る力・生き抜く力>

3つの心

<広い心・温かい心・燃える心>

<授業等での取組>

- 年間指導計画に位置付けた計画的な取組の推進
- 学習指導要領に基づいた授業等の充実
- 教員の指導力の向上に向けた校内研修等の充実
- 授業評価による取組の確認・改善

<学校の組織的な取組>

- 学校教育目標やチャレンジ目標等に位置付けた全校体制での取組の推進
- 児童会・生徒会活動や学校行事等の特別活動の充実
- 学校評価の活用による取組の確認・改善

<家庭・地域との連携>

- コミュニティ・スクール、地域学校協働活動（地域協育ネット等の取組）の一体的な推進
- 地域における家庭教育支援の充実

「高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人」を育てるために

- ◆ 一人ひとりの願いや思いを、未来への大いなる夢や理想へと高め、その実現に向けた強い意志を有している。
- ◆ 大きく変化することが予想されるこれからの社会において、将来に対し希望をもちながら、自らを高めるための努力を惜しまず、未知なるものへ進んで挑戦する態度や困難を乗り越える態度、新しいものを取り入れようとする態度を身に付けている。

創る力

—新たな価値を創り出す力—

- ◇ 自ら課題を見つけ、将来を見通しながらよりよく解決していく力
- ◇ 科学的なものの見方や考え方、情報や技術を活用する力
- ◇ 豊かな創造力

育みたい「力」や「心」

燃える心

ふとうふくつ

—不撓不屈の意志や勇気など、熱く燃える心—

- ◇ 未知なるものに進んで挑戦する態度
- ◇ 困難に立ち向かい、それに打ち勝とうとする態度
- ◇ 新しいものを進んで取り入れようとする態度

<授業等での取組>

- 子どもたちが夢や志を育んだり、将来のことを考えたりすることを意識しながら授業を行っている。
- めあてを明確に示すなどして、子どもたちが主体的に学び、達成感を感じるとともに、勉強が「好き」という思いをもつ授業を行っている。
- 子どもたちが、興味・関心やキャリア形成の方向性等に応じて、見通しをもって粘り強く取り組み、自分の学習活動を振り返って次につなげることができるよう、授業を展開している。
- 子どもたちが挑戦する場面に出会い、自分で考え自分から取り組むことができるよう、課題解決的な学習を行っている。
- 授業の中に、先人の「志」や身近な人の「夢」等にふれる場面を設けている。
- ICTや新聞等、情報や技術を活用する場面を設けている。 など

<学校の組織的な取組>

- キャリア教育全体計画に基づき系統的・計画的なキャリア教育を行っている。
- キャリア・パスポートを活用し、子どもたちが学習や生活の見通しを立てたり、振り返ったりすることにより、将来の在り方・生き方を考える活動を行っている。
- 職場見学・職場体験・インターンシップ等を通して、職業に対する意識を高める取組を積極的に進めている。
- 1/2 成人式や立志式など、子どもたちの夢や志を育む取組を行っている。
- 児童会・生徒会活動を通して、子どもたちが学校生活上の課題を見付け、協力して解決していく取組を進めている。
- 特別活動等を通して、子どもたちの挑戦する態度を育む取組を進めている。
- 各種検定試験、科学・語学系コンテスト（大会）、作品制作（製作）などの創作活動等に積極的に挑戦し、創造性を発揮するよう働きかけている。 など

<家庭・地域との連携>

- 学校だより等を通じて、子どもの夢や保護者の思い、将来のことについて家庭で語り合う機会を設けている。
- リーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」を活用するなどして、家庭の中での役割を考えさせる機会を設けている。
- 熟議等を通して、「地域の未来」を考える機会を設けるなど、子どもたちが「社会の担い手」としての意識や自己有用感を高める取組を積極的に進めている。
- 地域の人々との交流の場面を設けるなど、地域の人々の願いや思いに子どもたちがふれる機会を設けている。 など

「知・徳・体の調和がとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人」を育てるために

- ◆ 志をもちながら未来に向かって挑戦し続けるために必要な、学び続ける力やたくましさ、さらにはこれらを支える豊かな人間性を有している。
- ◆ 様々な人々とのつながりや支え合いが求められるこれからの社会において、他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心を有するとともに、他者と協働して自己のよさや可能性を見出し、個性を発揮しながら、主体的に考え、判断し、行動するなど、自主・自立の精神に富んでいる。

育みたい「力」や「心」

学ぶ力

－生涯を通じて主体的に学び続ける力－

- ◇ 知的好奇心
- ◇ 自ら学びに向かう意欲や態度
- ◇ 基礎的・基本的な知識・技能
- ◇ 思考力・判断力・表現力 等

生き抜く力

－多様な他者と連携・協働しながら、困難を乗り越えていく行動力－

- ◇ 規範意識や倫理観
- ◇ コミュニケーション能力
- ◇ 自己肯定感、自己有用感
- ◇ たくましく生き抜いていくために必要な健康や体力

温かい心

－豊かで温かい心－

- ◇ 他者を思いやり、共感したり感動したりする心や態度
- ◇ 社会に貢献しようとする態度
- ◇ 感謝する心や態度

<授業等での取組>

- 知的好奇心を喚起し、自ら学ぶ意欲や態度を育む授業を行っている。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の確かな学力を育成する授業を行っている。
- 記録、説明、論述、討論などの言語活動や多様な他者と協働した探究的な学びなどを通じて、子どもたちのコミュニケーション能力を育成し、考えを広げ深める授業を行っている。
- 道徳科や特別活動等を通して、子どもたちの倫理観や社会性、規範意識、豊かな心を育む授業を行っている。
- 体育科、保健体育科の授業や学校給食の場面等で、健康増進や体力向上に向けた取組に関心をもち、継続的な取組を行っている。 など

<学校の組織的な取組>

- 全国学力・学習状況調査等の結果を活用するなど、エビデンスに基づいた子どもたちの学力向上に向けた取組を進めている。
- 人権教育や道徳教育を推進し、人権尊重の意識や、互いを尊重する心、思いやりの心を育む教育を進めている。
- 集団宿泊活動やA F P Y等の体験活動を通して、豊かな人間関係を育む教育活動を推進している。
- 障害のある子どもたちとの交流の機会を設けるなど、共に尊重し合う心を育む取組を進めている。
- 「新体力テスト」や「生活習慣調査」等の結果を踏まえ、体力の向上や食生活の改善に関する取組を推進している。
- 学校行事や学級活動等を通して、仲間と協力して困難を乗り越える経験や感動体験のある取組を進めている。 など

<家庭・地域との連携>

- 学校・家庭・地域が学校・地域連携カリキュラム等を見直す機会を設定し、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を共有している。
- 学力や体力の状況を家庭や地域と共有し、学力・体力の向上に向けた取組を地域ぐるみで進めている。
- 「家庭学習の手引き」等を活用して、家庭での学習習慣の定着に向けた取組を進めている。
- 挨拶や言葉遣い等の礼儀やマナーなど、子どもたちの規範意識を高める取組を地域ぐるみで行っている。
- 地域の人々や異年齢の人々と接する機会を通して、多様な世代にふれ、子どもたちの思いやりや感謝する心を育む取組を進めている。
- ボランティア活動を通して、主体的な社会貢献や社会参画につながる取組を進めている。 など

「郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人」 を育てるために

- ◆ 人、もの、情報等が地球規模で行き交い、多様な文化や価値観に触れる機会が増加するなど、広がりゆく社会において、豊かな国際感覚をもち、幅広い視野で考え、行動することができる。
- ◆ また、そのような時代だからこそ、自分を育んできたふるさとの自然や人、伝統、文化を大切にす気持ちをもち続け、ふるさとや自分が住んでいる地域のよりよいコミュニティづくりなど、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与している。

育みたい「力」や「心」

創る力

—新たな価値を創り出す力—

- ◇ 自ら課題を見つけ、将来を見通しながらよりよく解決していく力
- ◇ 科学的なものの見方や考え方、情報や技術を活用する力
- ◇ 豊かな創造力

生き抜く力

—多様な他者と連携・協働しながら、 困難を乗り越えていく行動力—

- ◇ 規範意識や倫理観
- ◇ コミュニケーション能力
- ◇ 自己肯定感、自己有用感
- ◇ たくましく生き抜いていくために必要な健康や体力

広い心

—互いに理解し合う、前向きで広い心—

- ◇ 多様な考えや立場を理解し、尊重する態度
- ◇ 他国の伝統、文化を理解し、協調していく態度
- ◇ 郷土の伝統や文化を地域や人とのつながりを通じて尊重し、継承する態度
- ◇ 平和を愛する心や態度

<授業等での取組>

- 『これが私の故里だ』～山口県伝統・文化教材集～の活用や校区のフィールドワークなど、ふるさとの自然や人、文化等への関心を高める授業を行っている。
- 古典、歴史、唱歌・和楽器、武道等の我が国の伝統に接する学習を取り入れるなど、伝統、文化を継承・発展させる心や態度を育む授業を行っている。
- 諸外国の歴史や文化等に接する学習を取り入れ、幅広い視野で考え行動する態度を育む授業を行っている。
- ICTや新聞等を活用して、地域社会や世界の動きにふれることができる授業を行っている。 など

<学校の組織的な取組>

- 地域や伝統、文化に関する学習を年間指導計画等に位置付け、計画的に取り組んでいる。
- 伝統、文化を継承する地域人材や世界を舞台に活躍している人材と交流できる機会を教育課程に位置付けるなど、子どもたちの視野を広げる取組を進めている。
- 職場見学・職場体験・インターンシップ等を通して、地域の産業や人々とふれあう機会を設けている。
- 海外姉妹校交流など言語や文化の異なる海外の人々との交流を通して、国際感覚を身に付ける機会を設けている。 など

<家庭・地域との連携>

- 地域の教育資源を効果的に活用し、地域課題を解決する取組等を通してふるさとへの誇りや愛着を育む活動を地域ぐるみで行っている。
- 地域行事等に家族や学校単位で積極的に参加・参画することを通して、子どもたちの地域づくりに向けた意識を育てている。
- 地域人材を学校に招き、昔遊び体験等、伝統、文化にふれる機会を設けている。
- 公民館や地域の関係団体等と連携し、子どもたちが地域の伝統、文化を継承する取組を地域ぐるみで行っている。
- 身近な大人や先輩の生き方や考え方にふれ、自己の生き方について考える機会を設けている。 など

施策の展開

教育目標：未来を拓くたくましい「やまぐちっ子」の育成

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

- ① キャリア教育の推進
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実
- ③ グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成
- ④ 進路指導の充実
- ⑤ 読書活動の推進
- ⑥ 学校における人権教育の推進
- ⑦ いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実
- ⑧ 体力向上の推進
- ⑨ 食育の推進
- ⑩ 健康教育の推進
- ⑪ 特別支援教育の推進
- ⑫ 幼児期における取組の充実
- ⑬ 少人数教育の推進

学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

- ⑭ 地域連携教育の充実
- ⑮ 家庭教育支援の充実
- ⑯ 社会教育施設等を活用した教育の充実

生涯を通じた学びの充実

- ⑰ 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- ⑱ 地域社会における人権教育の推進
- ⑲ 地域とともにすすめる文化財の保存・活用
- ⑳ 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進
- ㉑ 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

豊かな学びを支える教育環境の充実

- ㉒ 教育施設・設備の整備、教育環境の向上
- ㉓ 学校安全の推進
- ㉔ 学校における働き方改革の推進
- ㉕ 教職員の資質能力の向上
- ㉖ 校種間連携・一貫教育の推進
- ㉗ 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり
- ㉘ 私学の振興
- ㉙ 修学支援の充実

総合的・計画的な施策の推進

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

施策

- ① キャリア教育の推進
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実
- ③ グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成
- ④ 進路指導の充実
- ⑤ 読書活動の推進
- ⑥ 学校における人権教育の推進
- ⑦ いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実
- ⑧ 体力向上の推進
- ⑨ 食育の推進
- ⑩ 健康教育の推進
- ⑪ 特別支援教育の推進
- ⑫ 幼児期における取組の充実
- ⑬ 少人数教育の推進

注 各施策の【主な取組】における下線を引いた箇所（「〇〇〇〇」）は、県教委が作成した資料を示しています。また、【取組の推進に向けて】の〈県参考資料〉には、県教委が作成したその他の資料を示しています。

なお、関連資料を閲覧するためのURLや二次元コードが掲載されている場合がありますが、情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

1 キャリア教育の推進

【取組方針】

- ◆ 子どもたちの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる「基礎的・汎用的能力」を育むとともに、夢を抱かせ、さらに夢を志に進化させる教育の推進を充実させる。
- ◆ 学校で学ぶことと社会との接続を意識したキャリア教育を実践するとともに、全教職員の共通理解の下、学校教育活動全体を通じた組織的・効果的な取組の推進を図る。
- ◆ 主体的に自らの未来を切り拓くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもたちを育成するため、学校と家庭、地域、産業界等が連携したキャリア教育を推進し、体験活動をはじめとする教育活動の一層の充実を図る。

【主な取組】（担当課：義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室／地域連携教育推進課）

主な取組と内容		実施主体
■ 小・中・高連携によるキャリア教育の効果的な推進		
○ 学校教育活動全体を通じたキャリア教育の推進 ・ 学校で学ぶことと社会との接続を意識したキャリア教育を実践するとともに、育成する力を明確にしたキャリア教育全体計画や年間指導計画の作成・見直しによる組織的・効果的な取組の推進		学校
○ 校種間の連携によるキャリア教育の効果的な実践 ・ 「キャリア教育実践事例集」、「キャリア教育年間指導計画作成資料」を活用した取組の充実（小・中） ・ 連携体制の強化等をめざした「キャリア教育推進会議」の開催（7月、1月） ・ 「 <u>県市町キャリア教育連携・推進会議</u> 」の開催 ・ 校種間の連絡協議会等の活用による連携した取組の促進 ・ キャリア・パスポートの効果的な活用		県・市町・学校
○ 志を抱かせる教育の推進 ・ 地域と連携した「1/2成人式」(小)、「立志式」(中)を契機とする志を抱かせる教育の充実 ・ 高校生が県内大学生等と自分の将来などについてディスカッションをする機会の充実		県・市町・学校
○ 中学生の進路選択のための情報発信の充実 ・ 「 <u>キャリア・ガイドブック『夢サポート』</u> 」の活用		県・市町・学校(中)
■ 職場見学・体験、インターンシップ等の体験活動の充実		
○ キャリア教育を通じた“ふるさと山口”の再発見 ・ 職場見学、職場体験活動、インターンシップ、大学・企業訪問等の実施 ・ 普通科高校における「地域活性型インターンシップ」を含めた「インターンシップ推進事業」の実施及び学校独自の取組の促進（高）		県・市町・学校
○ 全県的な推進体制による学校と家庭、地域、産業界等との連携強化 ・ 職場体験、インターンシップ等の受入先の確保（商工会議所等との連携） ・ 「やまぐち教育応援団」の活用（登録事業所等団員数：R5.1月末現在4,943人）		県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合	小 83.6% 中 69.6% (2022年度)	増加させる
地域と連携して「1/2成人式」や「立志式」を行っている公立小・中学校の割合	小 26.7% 中 37.9% (2022年度)	小 100% 中 100%
高校在学中に、体験的なキャリア教育(インターンシップ、大学・企業訪問等)を行った生徒の割合	高校3年生 97.9% (2022年度)	高 100%

取組の推進に向けて

○ キャリア教育推進の視点

発達の段階に応じて
小学校段階から教育活動全体を通じての系統的取組の積み上げ

体験活動を重視して
職場体験、インターンシップ等の体験活動の充実

連携・協力して
学校と家庭、地域、産業界等との連携・協力体制の強化

本県キャリア教育のねらい

夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する



○ 小・中・高を通じた系統的・計画的な取組を推進

< 発達の段階に応じて、夢や目標を考える（夢をデザインする）視点 >

3つの視点	小学校（小学部）			中学校（中学部）			高等学校（高等部）		
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
自分がしたいこと	 様々な体験等を通じて自分がしたいことを見つけ、将来の夢や目標につなげる								
自分ができること	 夢や目標の実現に向けて継続的に努力し、自分ができるところを増やし自分のよさを伸ばす								
社会が求めていること	 社会の一員としての自覚を深め、自分の役割を果たそうとする意欲や能力を高める								

○ 学校で学ぶことと社会との接続を意識し、学校教育活動全体を通じてキャリア教育を推進

「子どもたちに学びと社会や仕事のつながりを伝える」
～学校と家庭・地域、産業界等の連携を通じて～

- ・ 日々の教科等の授業において、学習内容と社会や職業との関連を意識させる工夫
- ・ 教科指導の中でもキャリア教育をしているという教員の認識
- ・ 将来の夢を描くことに加え、「働くこと」の実際や必要な資質・能力の育成につながる指導の工夫
- ・ 体験活動（職場見学、職場体験、インターンシップ等）の事前・事後指導の充実
- ・ 学校と家庭・地域、産業界等の連携強化 など

「学習意欲」にも波及

◇ 学力の向上
◇ 基礎的・汎用的能力の育成



- ・ 学ぶ目的の明確化
- ・ 学びの内容と社会とのつながりの重視
- ・ 教科・科目の学びが社会や仕事で活用されることの実感

2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実

【取組方針】

- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生きる力」を育むという理念の下、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、外国語教育、体験活動については、重点的に取組を推進する。
- ◆ リアルな体験を通じた学びとICTを効果的に活用した学びを組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組を推進する。
- ◆ コミュニティ・スクールを核とし、小・中・高等学校等のそれぞれの学校段階における教育内容の充実のためのカリキュラム・マネジメントを推進する。

【主な取組】（担当課：義務教育課／高校教育課／地域連携教育推進課／教育情報化推進室／特別支援教育推進室）

主な取組と内容	実施主体
■ 「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上	
<p>○ 学校の組織力の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校・地域連携カリキュラム」を軸とした、教科等横断的な視点からの教育課程編成など、学校・家庭・地域が一体となって取り組むカリキュラム・マネジメントの充実 ・ 全国学力・学習状況調査と山口県学力定着状況確認問題（CBT）を活用した全校体制での年間2回の検証改善サイクルの推進（小・中） ・ 学力向上に向けた校内研修と組織的・計画的な授業改善の取組の促進 ・ 少人数学級化や加配教員等の活用による個に応じたきめ細かな指導体制の充実（小・中） <p>拡 小学校専科加配教員の配置拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐち学習支援プログラム等を活用した組織的な支援体制の充実（小・中） 	県・市町・学校
<p>○ 教員の授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、自ら学習活動を振り返って自己の変容や伸びを自覚できる授業づくり等を促進 ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る取組の推進 ・ 教科の専門性やキャリアステージに応じた授業力の向上のための研修の充実 ・ やまぐち総合教育支援センター作成の教育プログラムや探究研修モジュールを活用した探究的な学びの質の向上 ・ 大学入学者選抜改革に対応した授業展開や学習評価の工夫・改善（高） 	県・市町・学校
<p>○ 学校・家庭・地域の連携力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールを核とし、学力課題等の解決に向けた地域の教育資源を活用した教育活動の充実 ・ 学校運営協議会等での熟議を通じた、家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々の連携・協働による学習習慣や生活習慣の確立（小・中） ・ 地域の人々が授業づくりに関わるユニット型研修の促進（小・中） ・ 接続する学校や、幼児教育・保育施設等との連携による、発達の段階に応じた指導方法の工夫改善 ・ 学校間連携や高大連携の充実（高） 	県・市町・学校
<p>新 日本語指導を必要とする児童生徒への支援の充実（小・中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施 ・ 指導補助者・支援員等による日本語教育サポートに対する補助 	県・市町・学校
■ 理数教育の充実	
<p>○ 理数に関する授業づくりの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科授業改善研修会の実施（小・中） ・ 理科、数学に関する学習活動の実践事例の収集及び発信（高） 	県・市町・学校
<p>○ 学校間連携・校種間連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異校種間の連携による科学技術等に関する研修会の開催 ・ 大学と連携し、高校生が講師として参画する小・中学生対象の科学教室の開催 ・ 理数教育推進拠点校（理数科又は探究科設置高校6校）が連携して取り組む活動の実施及び成果の普及（高） 	県・市町・学校
<p>○ 創造性豊かな人材の育成に向けた教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サイエンスやまぐち2023」等の科学作品展・科学研究発表会の開催（10・11月） ・ 異なる分野を研究した生徒同士の切磋琢磨の場を提供する探究学習成果発表大会の開催（3月）（高） 	県・市町・学校

■ 伝統や文化に関する教育の充実	
<p>○ 授業等における伝統文化に関する学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統や文化に関する学習等、地域の施設・人材を活用した学習の充実及び年間指導計画等への位置付けの明確化 ・ 『これが私の故里だ』～山口県伝統・文化教材集～ や「山口県中学校武道指導の手引き」等の活用による授業改善の促進 	県・市町・学校
<p>○ 地域の伝統芸能の伝承者、文化団体等による学校公演や授業参加等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち教育応援団」や「学校芸術文化ふれあい事業」等の活用の促進 ・ 地域との連携・協働による体験的な学習の充実 	県・市町・学校
■ 道徳教育の充実	
<p>○ 教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の実態を踏まえ、道徳科を要とした各学校の道徳教育全体計画や具体的な指導計画の見直し、改善 ・ 「心に響く講師」派遣事業の推進 	県・市町・学校
<p>○ 道徳教育における教員の指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育パワーアップ研究協議会（7月）や道徳授業セミナー（10～11月）の開催 ・ 「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校（小・中14校、高2校、特支1校）における取組事例の普及 ・ やまぐち総合教育支援センターと共同した「考え、議論する道徳科授業づくり研修講座」の開催（小・中） ・ 『「考え、議論する道徳」の授業づくり～道徳科を要とした道徳教育の充実に向けて～』パンフレット及び「道徳科の授業づくりのために～授業DVD～」の積極的な活用の推進 	県・市町・学校
<p>○ 指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育ブラッシュアップ研修会による市町教委担当者の指導力向上 ・ 国の指導者養成研修受講者等を活用した道徳教育学校サポート事業の実施 	県・市町・学校(小中)
■ 外国語教育の充実	
<p>○ 校種間連携による外国語教育（英語教育）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高連携英語教育推進校における校種間連携を視点とした研究による指導方法の工夫・改善 ・ 「小中高連携英語教育推進校連絡協議会」の開催（5月）等による各地域の計画的な取組の促進 	県・市町・学校
<p>○ 指導方法や評価方法の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県における英語教育の目標設定（生徒の英語力、「CAN-DOリスト」を活用した学習到達目標の設定・公表・達成状況の把握、生徒の英語による言語活動の割合、パフォーマンステストの実施、教員の英語使用の割合）及び目標到達に向けた指導方法の工夫・改善 ・ 小学校英語専科教員の配置（小） ・ 校種別スキルアップ研修会等の開催 ・ 研修協力校における児童生徒のコミュニケーションへの関心・意欲を高める授業実践の普及 ・ 指導と評価の一体化を図る言語活動の充実 ・ 生徒の英語力向上事業（英検I B A）の実施（中） 	県・市町・学校
■ 職業教育の充実	
<p>○ ものづくりへの興味・関心の喚起と知的好奇心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくり教室やものづくりイベント等の活用 ・ 電子ブック「山口県の工業」の活用 	県・市町・学校
<p>○ 専門的な技術の習得や資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口マイスター等の熟練技能者の積極的な活用による技術講習会等の実施 ・ 1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用しながら、基礎から高度な資格まで生徒の意欲やスキルに応じた講習会の実施 ・ 介護分野における多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成に向けた「介護職員初任者研修」等の実施 ・ 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「きらめき検定」（山口県特別支援学校技能検定）の実施 	県・学校(高特)

	<p>○ 地域や産業界と連携した学習活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、地元企業等と連携した起業家精神の醸成に向けた教育活動や地域活性化につながる取組を通じた本県産業を担う人材の育成 ・ 地元企業等とも連携しながら、最先端のデジタル化対応産業教育装置を活用した実践的な実習を行うことで、D Xに対応した専門技術をもった人材の育成 	<p>県・ 学校(高特)</p>
<p>新</p>	<p>産業界との連携によるカーボンニュートラルの実現を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門高校で学ぶ生徒への脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成と必要な資質・能力を身に付けた人材の育成をめざす「企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト」の実施 	<p>県・ 学校(高)</p>
<p>■ 主権者教育・消費者教育・環境教育の充実</p>		
	<p>○ 計画的・組織的な主権者教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の主体的な学習活動に基づいた主権者教育を全校体制で推進 ・ 高等学校等における年間指導計画に基づいた主権者教育の実施(高) ・ 主権者教育に関する教員研修の実施(高) 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 消費者教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費生活にかかわる内容を第2学年までに履修(高) ・ 消費者庁作成の消費者教育教材「社会への扉」等の消費者教育関連資料を活用した授業の実施(高) ・ 消費生活相談員や弁護士などの実務経験者の学校教育での活用 ・ 消費者教育に関する教員研修の実施 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 関係機関等との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県選挙管理委員会及び市町選挙管理委員会等が実施する出前講義の積極的活用 ・ 県議会や市町議会が実施する議会訪問見学及び模擬議会への参加を促進 ・ 山口県消費生活センター等が実施・提供する出前講座・教材の積極的活用 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 計画的・体系的な環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境教育推進計画(令和2年3月改定)」の活用促進 ・ S D G sの趣旨を踏まえた「持続可能な開発のための教育(E S D)」の推進 ・ 環境学習全県ネットワーク等との連携や、環境マネジメントサイクルを取り入れた「やまぐちエコリーダースクール認証制度」の活用 	<p>県・市町・ 学校</p>
<p>■ 教育の情報化の充実</p>		
	<p>○ 教科情報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科情報に関する定期的・継続的な研修会の実施 ・ クラウド環境による情報科担当教員のコミュニティの形成 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ プログラミング教育(「プログラミング的思考」の育成等)の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラミングロボット等を活用した授業実践研究を通じた指導事例の創出の推進 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 情報モラル教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラル教育年間指導計画に基づく情報モラル教育の充実 ・ 情報モラル教育の充実に向けた研修会等の実施 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 教科等の指導におけるI C Tの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員等のI C T活用指導力向上に向けた研修の充実 ・ 「やまぐちI C T新たな学びラボ(YAMA-LABO)」の充実及び活用の促進 ・ 教育データの活用の推進 	<p>県・市町・ 学校</p>
	<p>○ 校務の情報化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合型校務支援システムの早期導入及び活用促進による業務の効率化 ・ クラウドサービス等を利用した教職員間の情報共有の推進 	<p>県・市町・ 学校</p>
<p>■ 体験活動の充実</p>		
	<p>○ 発達の段階に応じた体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校・地域連携カリキュラム」を軸とし、地域の教育資源を活用した地域との連携・協働による体験活動の充実・推進 ・ 小・中学校教育課程研究協議会等の研修会における体験活動の好事例の普及 	<p>県・市町・ 学校</p>

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標		最新値	目標値
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との比較(公立小・中学校)	小	国 65% [65.6%] 算 63% [63.2%] (2022年度)	小・中学校全区分で全国平均を上回る
	中	国 70% [69.0%] 数 52% [51.4%] (2022年度)	
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 60.7% [60.9%] 中 62.8% [60.0%] (2022年度)	増加させる
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合(公立小・中学校)		小 76.5% [77.3%] 中 82.7% [79.2%] (2022年度)	増加させる

取組の推進に向けて

「組織力」「授業力」「連携力」による確かな学力の定着と向上

(担当：義務教育課／高校教育課)

小・中学校における取組

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会からの提言

令和5年2月

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 子どもたちに育成すべき資質・能力を身に付けさせるため、「カリキュラム・マネジメントの手引き」に基づいて、「学校・地域連携カリキュラム」の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となってカリキュラム・マネジメントに取り組むこと
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した年間2回の検証改善サイクルの徹底や、CBTによる採点システムを活用したスピード感のある情報提供等、各学校における課題の焦点化や課題解決に向けた組織的・計画的な授業改善の取組を促進すること
- 課題を的確に把握し改善するため「やまぐち学習支援プログラム」を効果的に活用し、きめ細かな学習を支援する体制づくりに取り組むこと

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、子どもたち自身が学習活動を振り返って自己の変容や伸びを自覚したり、社会や実生活とのつながりを実感したりすることができる授業づくりを促進するとともに、効果的な指導方法等の研修会を実施するなどして、教員の指導力の向上を図ること
- リアルな体験を通じた学びとICTを効果的に活用した学びを組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組を推進すること
- 教員のキャリアステージに応じた研修会等において、授業力や教科の専門性等の一層の向上を図り、研修の成果の還元に努めること

3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「社会に関われた教育課程」の実現に向け、コミュニティ・スクールの経営者として管理職がリーダーシップを発揮し、中学校区における学力課題や、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を学校・家庭・地域で共有するとともに、地域の教育資源の活用を引き続き推進すること
- 学校運営協議会等での熟議を通して、家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々が一体となって中学校区で育つ子どもたちの学習習慣や生活習慣の確立を図ること
- 接続する学校や幼児教育・保育施設等との連携により、発達の段階に応じた指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもが自己の将来に夢や目標をもち、その実現に向けて学ぶことができる取組を促進すること

山口県教育委員会による学力向上の取組（小・中学校段階）

「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの視点から学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進する。

これからの時代に求められる資質・能力の育成

学校の組織力の充実

- 「やまぐち学習支援プログラム」等を効果的に活用したきめ細かな学習指導体制づくり

【学校の取組】
全校体制による継続的・計画的な「補充学習」の実施

- ・「やまぐち学習支援プログラム」を活用した「課題を課題のままにしない」取組の推進
- ・小学校における授業交換や教科担任制に関する好事例紹介
- ・少人数学級化の実施と小学校専科加配教員等の配置



- 学校・家庭・地域が一体となったカリキュラム・マネジメントの推進

【学校の取組】
全教職員がかかわる「学校・地域連携カリキュラム」の見直しとさらなる活用

- ・「カリキュラム・マネジメントの手引き」の周知及び活用促進
- ・カリキュラム・マネジメントに関わる研修会の開催

- 全校体制による年間2回の検証改善サイクルの徹底

【学校の取組】
各種学力調査等の結果分析に基づく学力課題の焦点化

- ・CBT化による各種学力調査等の結果に関するスピード感ある情報提供と全県の学力課題共有
- ・各学校の課題解決に向けた学校訪問等による支援

教員の授業力の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善

【学校の取組】
「振り返り」に着目した日常的な授業改善の推進

- ・授業力向上実践研究校による研究の支援と成果の普及
- ・学校訪問時の指導助言
- ・授業力向上に関する各種資料の周知及び活用促進

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組の推進

【学校の取組】
リアルな体験を通じた学びとICTの効果的な活用のベストミックスを図る校内研修の実施

- ・1人1台端末の活用事例集の周知及び活用促進
- ・市町教委指導主事等を対象とした研修会の開催



- 教員のキャリアステージに応じた資質向上の推進

【学校の取組】
授業力及び教科の専門性等の向上をめざした授業参観

- ・若手・中堅・管理職を対象とした研修会の開催
- ・研修会後の成果還元への支援

学校・家庭・地域の連携力の強化

- 学校運営協議会等での学力熟議を通じた学習習慣・生活習慣の確立

【学校の取組】
地域住民、保護者、教職員、児童生徒が参加する学力熟議の開催

- ・放課後等の学び直しの充実を図る「やまぐち学習支援プログラム」の提供
- ・CSプレゼンツ等を通じた熟議の好事例紹介



- コミュニティ・スクールを核とした家庭・地域との連携・協働の充実

【学校の取組】
めざす子どもの姿の実現につながる地域の教育資源の活用

- ・中学校区の学力課題の共有
- ・地域の人々が授業づくりに関わるユニット型研修の促進
- ・「学校・地域連携カリキュラム」の活用に関する情報共有

- 学校間連携等の充実による学習環境づくり

【学校の取組】
中学校区における教職員、保護者及び児童生徒の交流推進

- ・中学校区での合同研修会や地域貢献活動等の好事例紹介

やまぐち型地域連携教育

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

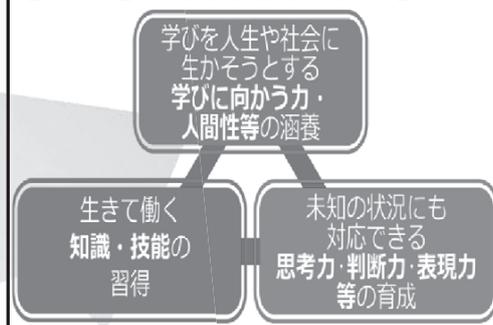
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすることが求められています。

《「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点（イメージ）》

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

【育成をめざす資質・能力】



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

【対話的な学び】

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【県教委としての取組の方向性】

- 県教委主催各種事業等における実践研究の成果の普及
 - ・ 学習指導方法・評価方法等に係る実践研究の成果普及のための公開授業・研究協議
 - ・ 県内各学校で活用できる校内研修資料の作成

指導と評価の一体化に向けて

生徒に必要な資質・能力を効果的に育成するためには、教科等の目標及び内容と学習評価とを一体的に検討することが重要であり、授業の改善と評価の改善を両輪として行っていくこと（指導と評価の一体化）が求められています。

《「指導と評価の一体化」における学習評価の視点（イメージ）》

教員の
指導改善

学 習 評 価

生徒の
学習改善

【県教委としての取組の方向性】

- 研修機会の充実
 - ・ 県教委作成の「高等学校における学習評価の手引き～『指導と評価の一体化』の推進に向けて～（理論編）/（実践編）」（R3.5/R3.10）等を活用した校内研修の充実
 - ・ 学校訪問等における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善及び観点別学習状況の評価についての研究協議

探究的な学びの質の向上

(担当：高校教育課/義務教育課/地域連携教育推進課/教育情報化推進室)



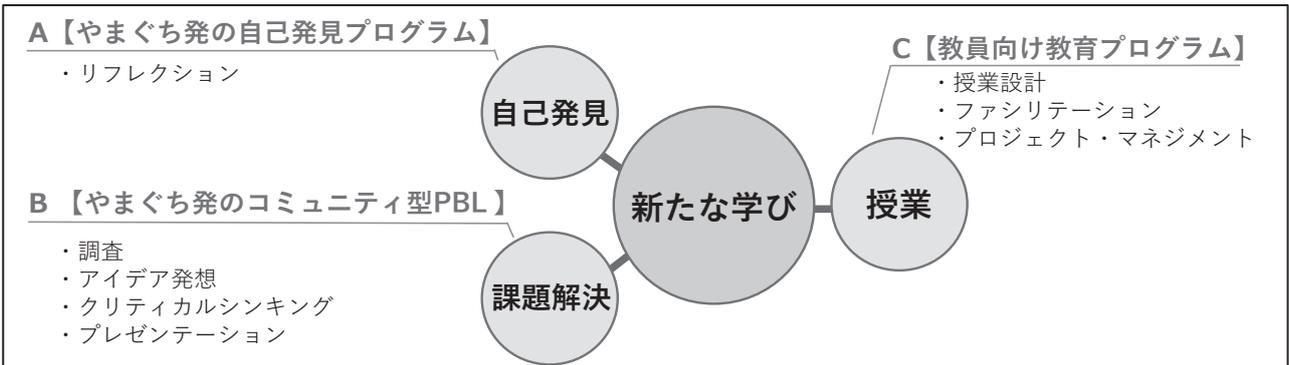
探究的な学びの質を高める「教育プログラムの研究開発」

まなびで“きびる”プロジェクト

～まなびで、学校・家庭・地域をきびって（つないで）いきたい～

「まなびで“きびる”プロジェクト」（令和2・3・4年度）で開発した教育プログラムを総合的な探究（学習）の時間等で活用することで、児童・生徒の思考を深めることが期待できます。また、初めて指導する先生方にも効果的に指導できるツールとして活用できます。

■ 教育プログラムとは・・・「探究学習のヒント」



- ・ 自分を縛っていた考えを外し、自分にどんな特徴があるのかを**見つめなおすヒント**とすることにより、**主体的な課題解決、豊かな発想につなげます。【やまぐち発の自己発見プログラム】**
- ・ 各教科や総合的な探究（学習）の時間等の探究的な学びにおける、課題発見・解決のための**調査方法やアイデア発想のコツ**、解決策を伝えるための**プレゼンテーションの技**を知ることができる**解決・思考ツール**です。**【やまぐち発のコミュニティ型PBL】**

■ 教育プログラム一覧（11本）

A 【やまぐち発の自己発見プログラム】

- 知らない間に自分を縛っていた「見えない常識」を外し、自分の能力を開花させる。
 - ・ A-1 常識のタガを外す
 - ・ A-2 自分を売り込む名前デザイン

B 【やまぐち発のコミュニティ型 PBL】

- 「生徒が主体的に考える」「地域や社会の課題に取り組む」「地元に興味と愛着をもつ」ことを重視したPBLの授業をめざす。
 - ＜調査方法＞
 - ・ B-1 クリエイティブ・リサーチ
 - ＜アイデア発想＞
 - ・ B-2 PROTOTYPE FOR ONE
 - ・ B-3 アイデア100本ノック
 - ・ B-4 誰でもデザイナーになれる授業
 - ＜プレゼンテーション＞
 - ・ **B-5 中身のいらないプレゼンの授業**
 - ＜クリティカルシンキング＞
 - ・ B-6 プロセスの模様替え

C 【教員向け教育プログラム】

- PBLやSTEAM教育の視点での授業設計や生徒の発想を促すファシリテーションを実現する。
 - ・ C-1 きびる型STEAM教育の手引き
 - ・ C-2 ファシリテーションを考えるワークショップ
 - ・ C-3 プロジェクトマネジメントの型

やまぐち発のコミュニティ型PBLの教育プログラム

「**B-5 中身のいらないプレゼンの授業**」がR4年度県立学校で最も活用されています。

児童生徒は**プレゼンテーションの「技」**を使って相手に伝わりやすいプレゼンテーションができると好評です。

「やまぐちICT新たな学び（YAMA-LABO）」サイト「やまぐちの新たな学び」ページから教育プログラムをダウンロードできます。



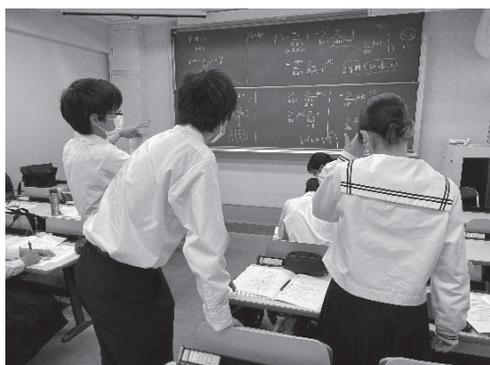
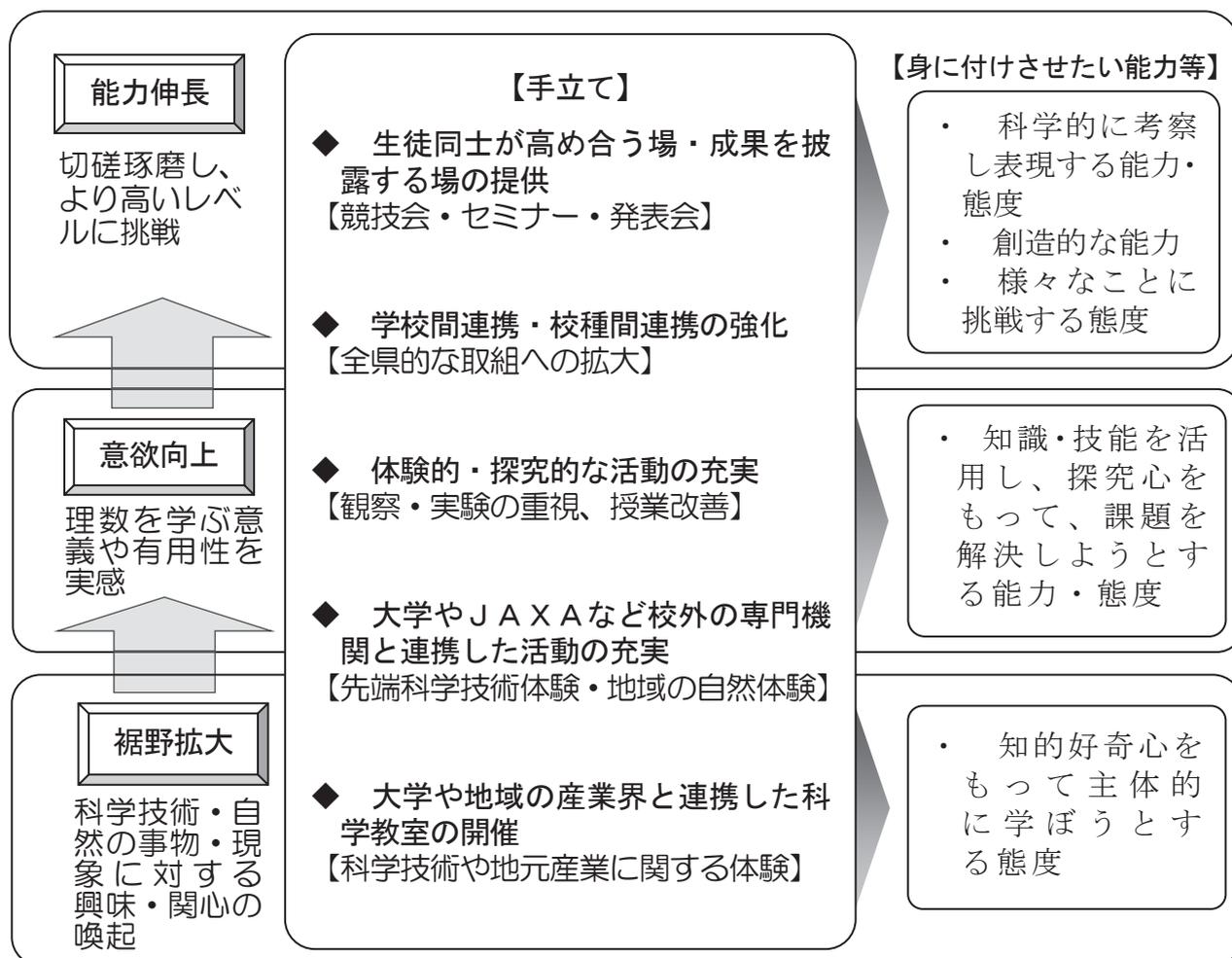
YAMA-LABO サイト「やまぐち新たな学び」ページ

理数教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課／地域連携教育推進課)

- 早い段階からの科学に対する興味・関心の喚起
- 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の実施
- 児童生徒の発達の段階に応じた系統的・継続的な理数教育の充実

理数教育の「裾野拡大」「意欲向上」「能力伸長」の3つの視点から、児童生徒の発達の段階に応じた手だてを講じることにより、ねらいとする能力・態度の育成を小学校・中学校・高等学校と系統的に進めていく。



【やまぐちサイエンス・キャンプ】



【「科学の甲子園」山口県大会】

道徳教育の充実

(担当：義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室)

- 小・中学校においては、道徳科を要として子どもたちの基本的な倫理観や社会性、規範意識等を育むとともに、発達の段階に応じた道徳教育を充実
- 高等学校においては、公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動を中核的な指導の場面としつつ、学校の教育活動全体を通じた道徳教育を充実
- 指導力の向上、校内指導体制の充実、家庭・地域との連携による道徳教育の推進

① 道徳教育推進のための協力体制の確立

- 校長の方針を明確化し、学校の特色や課題に即した道徳教育を展開
- 「道徳教育推進教師」を中心とした全校体制による取組

② 道徳教育の全体計画、道徳科の授業の年間指導計画の工夫、見直し

- 生命尊重や思いやりの心、規範意識等の各学校の道徳教育の重点内容項目の明確化
- 学校の教育活動全体を通じて行う観点からの全体計画の見直し
- 特色ある教育活動や豊かな体験活動等と関連付け、計画的に道徳性を育成する別葉*の作成
- 全体計画に基づき、教科書や副教材を効果的に活用する年間指導計画の見直し

※ 別葉とは、道徳授業以外の道徳教育の内容及び時期を、全体計画の一部として一覧表にして示したものの

③ 道徳科の授業の充実

- 主体的に考え、他者の考えを通して道徳的価値の自覚を深めるための指導の手だての検討
- 国の指導者養成研修受講者を講師として行う校内研修等の実施による全教職員の指導力の向上

④ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進

- 地域人材や専門家などゲストティーチャーと連携・協働した授業や、児童生徒と保護者や地域の方がともに語り合う参加型の授業などによる取組の推進
- 学校運営協議会と連携し、道徳教育の視点から目的を共有した教育活動の展開

「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト

児童生徒がいじめの問題等に主体的に対処することのできる実効性ある力を育成

道徳教育パワーアップ研究協議会（7月）

- 「道徳科を要とした道徳教育の推進に向けた道徳教育推進教師の役割」についての講義
- 小・中・高各部会での各校種における効果的な取組事例の共有化と授業づくり研修
- ※ 小・中・高等学校の道徳教育推進教師対象

道徳授業セミナー（10月～11月）

- 道徳科に対応した指導方法や発達の段階に応じた指導方法等、道徳科の特質を生かした授業の公開（2年次推進校）
- ※ 幼・小・中・高等学校の教員対象

道徳教育学校サポート事業（6月～1月）

- 国の指導者養成研修受講者等による校内研修への指導支援
- ※ 小・中学校対象（実施予定校：20～25校）

心に響く講師派遣事業（6月～1月）

- 道徳教育の充実に向け、心に響く外部講師を派遣し保護者や地域と児童生徒がともに考えることのできる講演会や授業を実施
- ※ 小・中学校対象（実施予定校：20～25校）

外国語教育の充実

(担当：義務教育課／高校教育課)

山口県の英語教育推進計画

目的

○英語によるコミュニケーション能力を養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、英語教育担当者の指導力を向上し、児童生徒の英語力向上を図る。

(1) 研修会

小・中スキルアップ、やまぐち英語教育推進連絡会

【指標】

- 生徒の英語力CEFR A1レベル相当（英検3級程度）
50.3%(2021)⇒52.0%(2023)
- 生徒が英語を用いて言語活動を行う時間の割合
92.4%(2021)⇒100.0%(2023)
- 小中連携カリキュラムを設定している学校の割合
32.4%(2021)⇒70.0%(2023)

スキルアップ研修会

- 外部講師より理論習得
- 理論に基づいた実践
- 単元構想シートの作成
- 評価問題の作成
- 実践発表と評価改善

やまぐち英語教育推進連絡会

- 外部講師より理論習得
- 県との情報共有
- 参加者同士の情報共有
- 理論に基づいた指導助言の実践
- 各地域の目標と進捗状況の確認

(2) 指定校研究

研修協力校、小中高連携英語教育推進校

- 公開授業や研究協議の実施
- 研修機会の提供と成果の普及

研修協力校

- 定期的な研修会の実施
- 課題解決に向けた研究
- 県内への成果普及

小中高連携英語教育推進校

- 全校種の合同研修会
- 連携CAN-DOリスト作成
- 交換授業等の実施

(3) 生徒の英語力向上事業（英検IBA）

- 2技能アセスメントテスト（読む、聞く）の実施
- 全ての公立中学校1～3年生対象（約3万人）
- 各学校によるアセスメントテストの結果の活用
 - 生徒自身の学習方法の改善
 - 教員の授業における指導方法の改善

職業教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課／特別支援教育推進室)

- 将来のスペシャリストの育成：専門分野の基礎的・基本的な知識・技術の定着と実践力の育成
- 将来の地域産業を担う人材の育成：地域産業や地域社会との連携
- 人間性豊かな職業人の育成：規範意識、倫理観の育成

山口県産業の将来を担う人材の育成

企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト
カーボンニュートラルの実現に向けて先進的に取り組む企業と専門高校が連携し、学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等の教育活動を展開

明日のやまぐちを担う産業人材育成事業

- ・ 全国レベルの技術力や実践力をもった人材の育成
学科の特色に応じた熟練技能者による技術講習会の実施
- ・ DXに対応した専門技術をもった人材の育成
デジタル化対応産業教育装置を活用した技術講習会や資格取得講座の実施
- ・ 資格取得等の支援
ICT等も効果的に活用し、生徒の意欲やスキルに合わせた資格取得等を推進

探究・創造
(課題解決力の育成・実践力の強化)

応用・発展
(専門知識や技術の育成・地域産業を担う意識の向上)

基礎・基本
(知識・技能の向上)

職業人に求められる力

- 各専門分野に必要な実践力
- 専門分野にとどまらず、社会の変化や産業の動向に対応する力
- 自らの将来や社会を力強く切り拓いていく力

産・学・公との連携・協力

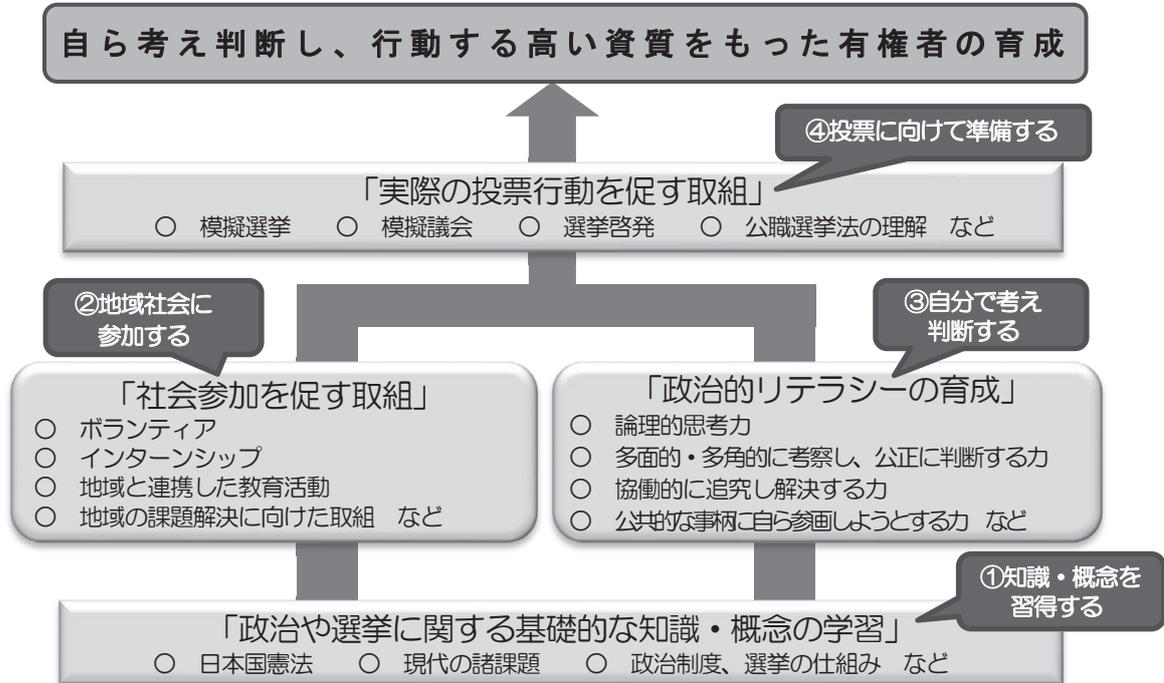
- 企業、大学、関係機関等
- ・ 企業実習受入、講師派遣
- ・ 若年技能者人材育成支援等事業
- ・ 次代を担う産業人材育成推進事業
- ・ ものづくり産業技能向上対策事業 等

専門高校、総合支援学校（就業実践科）等に入学

小・中学校 ものづくり教室、工場見学の実施
電子ブック「山口県の工業」の活用等

主権者教育の充実 (担当：高校教育課／義務教育課／学校安全・体育課／教職員課)

①知識・概念を習得する、②地域社会に参加する、③自分で考え判断する、そして④投票に向けて準備する、の4つの視点から、主権者教育を「積極的に」「効果的に」「公正に」推進し、自ら考え判断し、行動する高い資質をもった有権者を育成する。



教育の情報化の充実

(担当：教育情報化推進室/高校教育課/義務教育課/教職員課/特別支援教育推進室/学校安全・体育課/やまぐち総合教育支援センター)

次の3つの柱を中心とした教育の情報化を推進するとともに、令和2年度に整備したICT環境を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進することで、変化の激しい社会に主体的に対応する人材の育成をめざす。

※ 「やまぐちスマートスクール構想」の推進に向けた取組はP 9 5 参照

【教育の情報化の3つの柱】

○ 情報教育の充実 ～児童生徒の情報活用能力の育成～ **児童生徒が変わる**

- (1) 学習指導要領の円滑な実施（教科情報、プログラミング教育の充実等）
- (2) 情報モラル教育の充実
 - ア 情報教育年間指導計画の作成
 - イ 情報モラル研修会の実施
(県警や民間事業者との連携)

○ 教科等の指導におけるICTの活用

～各教科等の目標を達成するための効果的なICTの活用～ **授業が変わる**

- (1) 教員等のICT活用指導力向上に向けた研修の充実
- (2) 「やまぐちICT新たな学びラボ (YAMA-LABO)」の充実及び活用促進
- (3) 教育データの活用の推進

○ 校務の情報化の推進

～児童生徒と向き合う時間の確保、情報共有によるきめ細かな指導～ **学校が変わる**

- (1) 統合型校務支援システムの早期導入や活用促進による業務の効率化
- (2) クラウドサービス等を利用した教職員間の情報共有の推進

3 グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成

【取組方針】

- ◆ 目標や課題にチャレンジし、グローバルな視点やリーダーシップ、高い志をもって言語や文化が異なる人々と協働しながら課題解決に向けて行動できる人材の基盤となる資質・能力の育成に向け、実践的な語学力・コミュニケーション能力、郷土をはじめ日本や諸外国の伝統・文化を理解・尊重する態度及び国際協調・協力を実践する態度等を身に付けさせる取組を推進する。
- ◆ 探究科では、質の高い深い学びを通し、知識・技能の確実な習得を図るとともに、専門的な研究活動や教科の発展的な学習を推進することにより、思考力・判断力・表現力などを高め、大学等における高度でより能動的な学修につながる学力を育む。
- ◆ 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の充実を図り、知的好奇心をもって主体的に学ぼうとする態度や、科学的に探究する能力、創造的な思考力などの育成を図る。

【主な取組】

(担当課：義務教育課／高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 海外留学の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 慶尚南道友好相互交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国慶尚南道から訪問団を招き、高校での授業体験・意見交換等を通じた相互交流や産業・文化施設訪問等による異文化体験を実施（高） （交流テーマ：「SDGs」、実施時期：10月以降を予定） 	<p>県・学校（高）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外留学に対する気運の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ■ 海外留学への関心を喚起し、留学に対する意欲や気運を醸成する「Alohaミーティング」、「Mahaloミーティング」の開催（中・高） ・ 海外留学をする高校生への留学に必要な経費の一部を補助（高） （留学先：ハワイ、実施時期：7月末～8月中旬 人数：上限20人、補助金額：上限60千円/人 [予定]） 	<p>県・市町・学校(中高)</p>
■ 英語によるコミュニケーション能力の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語指導助手と日本人教員との効果的なチーム・ティーチングに資する「山口県外国語指導助手指導力等向上研修会」の実施 ○ 英語教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米軍岩国基地関係者との交流や、地域で行われる国際交流イベントへの参加の促進 ・ 県東部地域において、1人1台タブレット端末等を活用したオンライン英会話講座受講や海外研修等により英語力を育成 	<p>県・市町・学校</p>
■ グローバルリーダーの育成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 未来を拓く次代のリーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決能力・コミュニケーション能力等の国際的素養の育成に向けた発展的・探究的な学習活動の実施 ・ 地域に貢献する次世代リーダー・グローバル人材を育成 	<p>県・学校（高）</p>
■ 大学等での高度な学修の基盤となる学力育成（探究科）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究科の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇部高校、下関西高校及び萩高校に設置している探究科において、大学入学者選抜への対応に取り組むとともに、次代を担うリーダーとして活躍できる人材を育成 ・ これまでの取組の成果と課題を踏まえ、今後の探究科の拡充について検討 	<p>県・学校（高）</p>

	<p>○ 協働的・課題解決的な学習活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を解決していく力や表現力等を育成する科目を設定し、情報を分析して自分の考えを論理的にまとめる力や、プレゼンテーション能力等を育成 ・ 数学・理科・英語において、より高度な内容を含む科目を設定し、発展的な学習を行うことで、高い学力を育成 ・ 全ての教育活動の中で、ゼミ形式の授業やフィールドワークなど、多様な学習形態を積極的に活用 	<p>県・学校 (高)</p>
<p>■ 体験的・探究的活動に重点を置いた理数教育の充実</p>		
	<p>○ 大学等と連携した次代の技術革新を担う人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『科学の甲子園』山口県大会(中学生・高校生対象)の開催(8・11月) ・ 「国際科学オリンピック」への参加促進及び能力伸長に向けたやまぐちサイエンス・キャンプの開催(6月) 	<p>県・市町・ 学校(中高)</p>
	<p>○ 創造性を高める指導方法の開発・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーサイエンスハイスクール指定校による研究成果発表会の開催 ・ 理数科又は探究科設置高校等における課題研究など体験的・探究的な学習活動の充実(大学やJAXAなど外部専門機関との連携) 	<p>県・学校 (高)</p>

取組の現状

p-d-Check-a

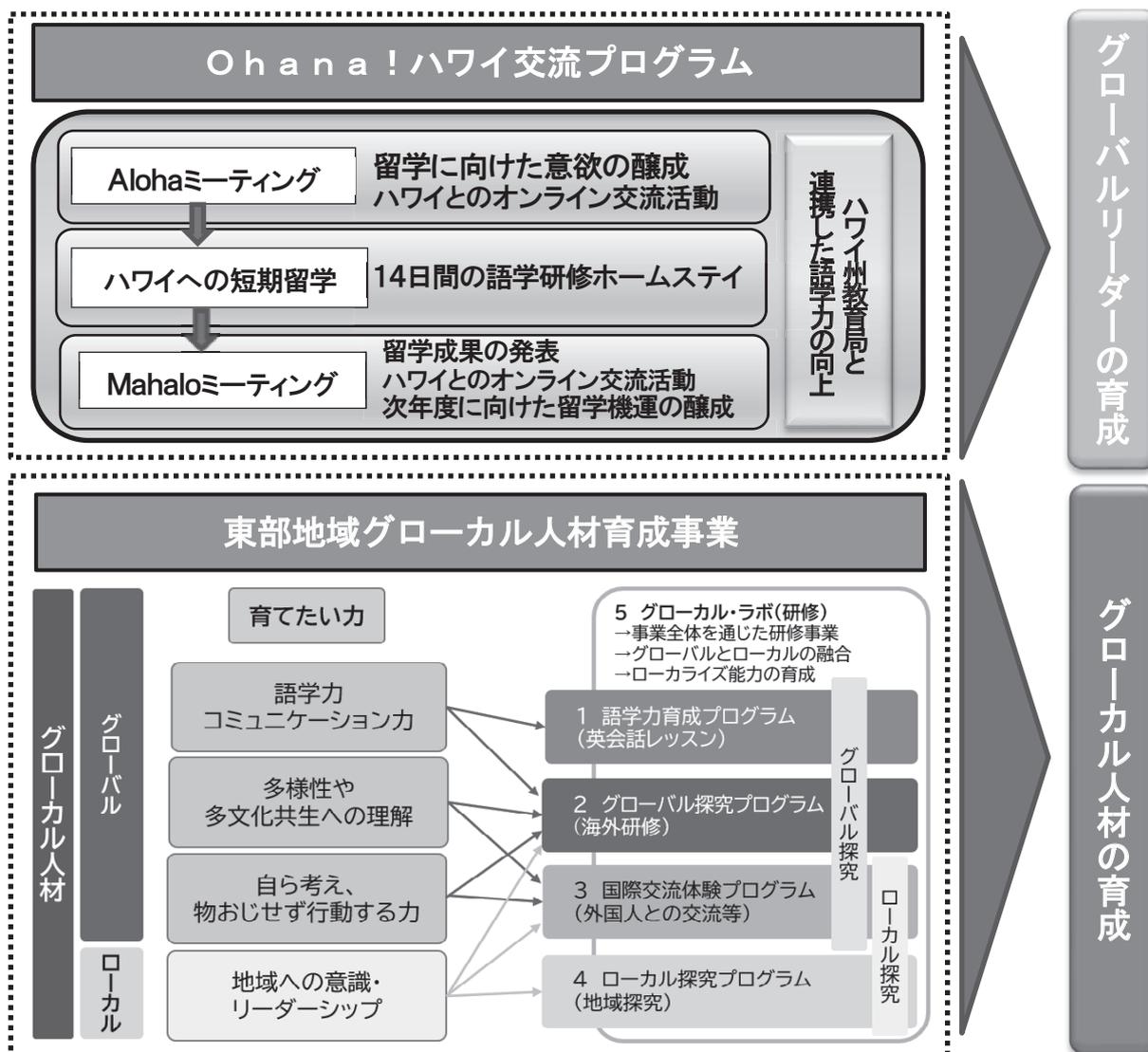
※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
<p>中学校卒業段階で英検3級以上相当、高等学校卒業段階で英検準2級以上相当を達成した中高校生の割合</p>	<p>中学校卒業段階 50.7% 高等学校卒業段階 48.3% (2022年度)</p>	<p>中学校卒業段階 60.0% 高等学校卒業段階 50.0%</p>
<p>ヤング・サイエンティスト拡大事業における小・中学生対象の科学教室への参加者数</p>	<p>小・中 2,628人 (2022年度)</p>	<p>小・中 24,000人</p>
<p>やまぐちサイエンス・キャンプの参加高校生数</p>	<p>高 74人 (2022年度)</p>	<p>高 100人</p>

取組の推進に向けて

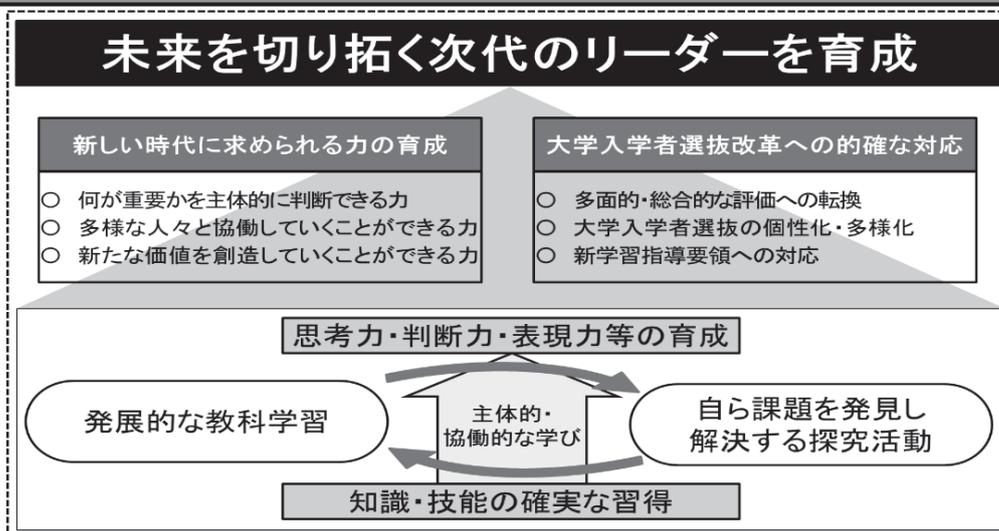
グローバル人材の育成に向けて

(担当：高校教育課)



探究科のねらい【概念図】

(担当：高校教育課)



4 進路指導の充実

【取組方針】

- ◆ 子どもたちが生涯にわたって学び続ける意欲をもち、自立した社会人となるための基盤をつくることのできるよう、各学校における組織的な進路指導体制を強化するとともに、生徒一人ひとりの希望に応じた系統的・計画的かつきめ細かな進路指導を推進する。
- ◆ 生徒の進路意識の醸成、学習習慣の定着、学力の伸長に資する取組等を支援し、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- ◆ 郷土に誇りと愛着をもった社会の有為な形成者を育成するため、教員と就職サポーター等の連携強化により、地域産業に対する理解を促す取組や積極的な求人開拓を進め、生徒の意向を踏まえた就職の実現を図る。

【主な取組】 (担当課：義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室)

主な取組と内容	実施主体
■ 組織的、系統的・計画的な進路指導の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校における進路指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の視点に立った進路指導と進路相談等による子どもたちの状況に応じたきめ細かな支援の充実 ・ 「<u>県市町キャリア教育連携・推進会議</u>」の開催 ・ キャリア・パスポートの効果的な活用 	県・市町・学校（中）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導計画による系統的な進路指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の特色や生徒の実態に応じた進路指導計画(進路シラバス)の工夫・改善 	県・学校（高）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人別進路資料による継続的な進路指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの進路希望や学習の状況を集約した個人別進路資料(進路カルテ)の活用促進及び工夫・改善 	県・学校（高）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合支援学校における小学部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の教育支援計画や個別の指導計画、キャリア発達段階表等の活用による障害の状態に応じたきめ細かな支援の充実 	学校（特）
■ 進学支援の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校における進学支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「<u>キャリア・ガイドブック『夢サポート』</u>」の活用 ・ 高校教員等を講師とした「<u>進路説明会</u>」の開催 ・ 高校生を講師とした「<u>卒業生に学ぶ会</u>」の開催 	学校（中）
<ul style="list-style-type: none"> 新 進学意欲の向上を図る取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次代に求められる資質・能力をもった生徒を育成するためのセミナーや、最先端の研究に関する講座等を実施 ・ 地域医療を担う人材の育成に向け、医学部進学に向けたセミナーや体験プログラムを実施 	県・学校（高）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路意識の醸成や学習意欲の向上を図る進学指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「<u>学校プランサポート</u>」による学習合宿や学校間の連携など各学校のオリジナリティあふれる進学指導の工夫・改善 ・ 高校と大学等の連携による、県内大学等の魅力を体験する企画を実施 	県・学校（高）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりに応じた教科指導等の充実に向けた個別の指導計画の作成と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の指導計画に基づく、進路希望の実現に向けた、きめ細かな各教科等の指導や授業改善等の充実 	学校（特）

■ 就職支援の充実	
○ 就職ガイダンス、応募前職場見学、職場体験等による地域産業に対する理解の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に就職した卒業生や山口県にIターン等をした若者との座談会、地域や地域産業の魅力を知るためのセミナーの実施 ・ ICTを活用したオンライン面接や労働法制等の指導の充実 ・ 山口しごとセンターやハローワーク等によるガイダンス等の実施 ・ 就職を希望する生徒等と企業の採用担当者との面談を実施 ・ 応募前職場見学等の積極的な実施 	県・市町・学校 (中高特)
○ 教員と就職サポーター等の連携による組織的な求人開拓や広域での迅速なマッチング <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内就職促進統括マネージャーを中心とした求人情報等の一元管理と情報の共有化を通じた県内広域でのマッチングの促進 ・ 教員等と企業の採用担当者の情報交換を実施 ・ 教員等による企業訪問 	県・学校 (高特)
○ 総合支援学校における職業教育・進路指導・就職支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員と総合支援学校就職支援コーディネーター、就職サポーターとの連携による現場実習先や求人の開拓及び企業の障害者雇用に関する理解促進 ・ 生徒の就労意欲の向上や進路実現・進路先での定着等に向けた職場体験・現場実習の充実 ・ 就業実践科を中心とした職業教育・進路指導の充実 ・ 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「きらめき検定」(山口県特別支援学校技能検定)の充実 	県・学校 (高特)

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
高校生等の就職決定率	99.8% (2021年度)	100%に 近付ける
高校生等の県内就職割合	83.0% (2021年度)	85%以上
中学校・高校卒業者のうち進路決定者の割合	中 99.0% 高 97.2% (2021年度)	増加させる

取組の推進に向けて

県内大学等への進学促進に向けた高大連携の推進

～やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業～ (担当：高校教育課)

～大学等連携プラットフォーム運営事業～ (担当：総務部学事文書課)

高校生が、県内大学等の魅力やよさを知るための取組を県内大学等と連携して実施することにより、若者の県内定着の促進に資する。

県内大学等の魅力やよさについての理解促進

県内大学魅力体験サポート

高校生等が県内大学等を訪問する取組

県内大学の大学生等が県立学校を訪問する取組

県内進学・仕事魅力発信フェア in やまぐち

「学校案内」「仕事体験」などのコーナーを設置し、体験を通じて将来の進路を考える

「県内進学ガイドブック」「オープンキャンパスマップ」の配付

進学支援の推進 ～やまぐちの未来を創るフロントランナー育成事業～

(担当：高校教育課)

地域医療の充実や人口減少の改善等に向け、高い志をもった高校生に、最先端の研究の動向を踏まえた講義・演習やハイレベル課外授業等を提供することにより、将来の山口県を担う人材の育成を図る。

メディカル・フロントランナー育成コース

※ 県立高校生1年生20名程度、2年生25名程度、3年生15名程度、合計60名程度

地域医療探究セミナー

- 医療分野の研究者等による講義・演習の実施（全3回）
- ※ 山口大学医学部と連携

先端研究体験プログラム

- 東大先端研と連携した体験プログラム、大学生との交流

アドバンス・フロントランナー育成コース

※ 県立高校生1年生20名程度、2年生25名程度、3年生15名程度、合計60名程度

未来社会創造セミナー

- SDGs等をテーマとした講義・演習の実施（全3回）

オンライン・アウトリーチ

- 大学教授、専門家等によるオンライン講座

ドリカムゼミ

- 対面とオンラインを組み合わせたハイレベル課外授業

総合支援学校における進路指導の推進～キャリア発達段階表等の活用によるきめ細かな支援～

(担当：特別支援教育推進室)

各総合支援学校で、児童生徒の自立や社会参加につながるよう、各学部において育てたい力を整理したキャリア発達段階表等を活用して、きめ細かな進路指導を行う。

キャリア発達段階表と指導内容(例)

領域	幼稚園	小学部	中学部	高等部	
人間関係形成能力	遊びを中心とした発達全体の促進	<ul style="list-style-type: none"> 人とのかかわり 集団参加 意思表示 あいさつ、清潔、身だしなみ 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解 他者理解 協力・共同 		卒業後の生活
情報活用能力		<ul style="list-style-type: none"> 様々な情報への関心 社会のきまり 金銭の扱い 働くよるこび 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集と活用 金銭の管理 役割の理解 働くことの意義 	<ul style="list-style-type: none"> 法や制度への理解 消費生活の理解 	
将来設計能力		<ul style="list-style-type: none"> 習慣形成 夢や希望 やりがい 	<ul style="list-style-type: none"> 生きがい 進路計画 		
意思決定能力		<ul style="list-style-type: none"> 目標設定 自己選択 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択(決定、責任) 肯定的な自己評価 自己調整 		

国立特別支援教育総合研究所「知的障害のある児童生徒のキャリアプランニング・マトリックス」を参考

新規高卒者を取り巻く雇用情勢の変化に迅速に対応するため、「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」を3つの柱とし、関係機関との連携を深めながら、組織的できめ細かな就職支援により、地域産業に対する理解を深め、県内就職を促進するとともに、就職を希望する生徒の進路実現を図る。

就職を希望する生徒の進路実現

(生徒の主体的な県内就職を促進)

県内企業の魅力やよさについての理解促進

ガイダンス
の充実

- 地域産業魅力発見セミナー
 - 高校等の1・2年生及びその保護者を対象としたセミナーの実施
 - ・ 地域に就職した卒業生や山口県にIターン等をした若者との座談会の実施
 - ・ ICTを活用した県内企業を理解するセミナー等の実施
- 地域産業就職ガイダンス
 - 山口しごとセンター等との連携による就職に向けた意識の醸成を図るためのガイダンス等の実施
 - ICTを活用したオンライン面接や労働法制等に係るガイダンス等の実施
- 県内産業魅力探究セミナー
 - 県内で活躍している起業家や企業の経営者等による県内産業への理解を深めるセミナーの実施

求人開拓
の強化

マッチング
の促進

- 県内就職サポーター等の配置
 - ◆ 就職サポーター（公立17人、私立4人）
 - ・ 就職相談を踏まえた求人開拓、情報提供、マッチング
 - ・ 生徒との早い段階からの個人面談の実施
 - ◆ チーフ就職サポーター（公立3人）
 - ・ 求人情報等を集約し、県内全域での共有化
 - ・ 県内3地域（県東部、県中部、県西部）に配置
 - ◆ 県内就職促進統括マネージャー（公立1人）
 - ・ チーフ就職サポーターの統括、県内企業情報の分析・提供、連携機関との窓口一元化、県内の高校等からの要望に応じた個人面談等の実施
 - ◆ 総合支援学校就職支援コーディネーター（公立4人）
 - ・ 総合支援学校の生徒の現場実習先の開拓、就職支援
 - ・ 障害者雇用に関する理解促進
- 県内企業訪問推進事業
 - 応募前職場見学、教員等による企業訪問・求人要請
- 県内就職促進協議会
 - 教員等と企業の採用担当者との情報交換
- 県内企業就職説明会
 - 高校等の1・2年生、3年生の就職を希望する生徒、保護者と企業の採用担当者との面談
- 関係部局と連携した取組の推進
 - ICTも活用しながら、県内企業の特徴・魅力について理解を深めるための情報提供等

相乗効果

5 読書活動の推進

【取組方針】

- ◆ 子どもの読書習慣の定着のため、家庭での読書の普及啓発や学校・地域で読書活動の推進を担う人材の育成を図るとともに、山口県子ども読書支援センターを中核として、社会全体で子どもの読書活動を推進する。

【主な取組】 （担当課：地域連携教育推進課/義務教育課/高校教育課/特別支援教育推進室）

主な取組と内容	実施主体
■ 学校における読書活動の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の機会の充実による読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書の時間などの全校体制による読書活動の推進 ・ 地域のボランティア等と連携した読み聞かせやブックトーク等の充実 ・ 推薦図書の紹介や図書の展示の工夫等、委員会活動の活性化 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業での学校図書館等の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科や総合的な学習の時間（小・中）、総合的な探究の時間（高）等での積極的活用 ・ 授業で活用する図書資料の整備・充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館担当教職員等の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 司書教諭配置の促進及び司書教諭等研修会における司書教諭と学校司書の役割等に関する研修の充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の図書整備5か年計画（R4～）を活用した図書や新聞の整備・充実 	県・市町・学校
■ 家庭や地域における読書活動の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県・市町における「子ども読書活動推進計画」の策定及び計画的推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども読書活動推進計画」策定状況調査の実施、計画策定の促進 ・ 「山口県子ども読書活動推進協議会」の運営 	県・市町・学校・団体
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「こどもの読書週間」（4/23～5/12）や「家庭の元気応援キャンペーン」等を活用した子どもの読書活動を推進する気運の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県子ども読書活動団体表彰」の実施 ・ 「こどもの読書週間」等における子ども向け行事の開催 	県・市町
■ 山口県子ども読書支援センターによる支援の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童図書や子ども読書関連資料・情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新刊児童書閲覧会（3回）」の開催 ・ メールマガジン「本はともだち」の配信 ・ 読書ボランティア団体や学校等への「団体貸出」の実施 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもと本をつなぐ人材の育成と学校等への支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館と出会う読書活動「ライぶらり」の推進 ・ 「子どもと本をつなぐスキルアップ講座」の開催（2回） ・ 「学校図書館セミナー」の開催（2回） ・ 「保育所・幼稚園等関係者研修会」の開催（1回） ・ 「出前こどもとしょかん」の実施 ・ 講師の派遣や学校図書館運営に係る相談 	県・市町・学校・保育所・幼稚園等

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
読書が好きと感じている児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小 72.6% 中 68.1% (2022年度)	増加させる

取組の推進に向けて

[基本方針]

1 県民総ぐるみによる子どもの読書活動の推進

- ・ 社会全体での子どもの自主的な読書活動や山口県の地域連携教育の仕組みを生かした家庭、地域、学校が連携・協働した県民総ぐるみによる読書活動を推進する。
- ・ 子どもの発達の段階ごとの特徴に応じた自主的、対話的な読書活動の推進など、発達の段階を意識した読書活動を推進する。
- ・ 子どもが読書に親しむ機会の提供や施設、設備その他の諸条件の整備・充実など、読書活動を支える環境の整備に努める。

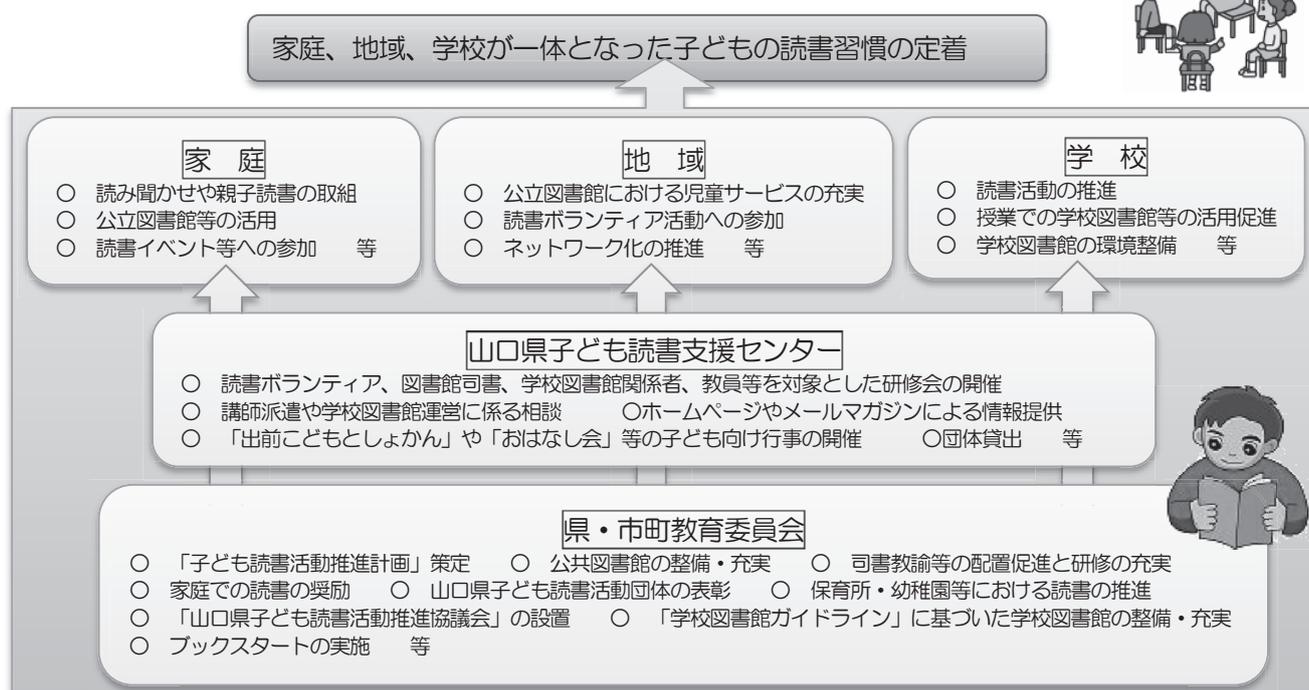
2 子どもの読書活動を支える人材の育成

子どもの読書活動を支える人材の確保や資質の向上、これらの人々を指導できる専門的な人材の育成に努めるとともに、更なるネットワークの構築を図る。

3 普及啓発活動

子どもの読書活動の重要性や効果等について普及啓発に努めるとともに、先駆的、モデル的な取組の情報収集や提供、表彰による奨励等に努める。

[読書活動の充実に向けた取組]



6 学校における人権教育の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づいて、児童生徒の心身の成長の過程に即し、教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進する。
- ◆ 児童生徒の自主性と実践への意欲の高まりをめざし、人と人との関わりの中で主体的な学びが行われるよう、人権尊重の視点に立った指導の充実を図る。

【主な取組】

(担当課：人権教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの人権が尊重され、安心して楽しく学ぶことができる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権尊重の態度や児童生徒との信頼関係を基盤にした指導の充実 ・ 自己存在感をもたせ、互いを尊重した言動ができるような指導の充実 ○ 主体性を育み、課題解決力等を高める授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が主体的に課題を解決する学習や、多様な体験活動の機会の設定 ・ 児童生徒の自主的な意見表明や話し合い活動の重視 	県・市町・ 学校
■ 教職員研修の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権が尊重された学校づくりや指導方法に関する研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科や領域等との関連を踏まえた人権教育の指導方法の工夫改善 ・ 学校、家庭、地域社会が連携・協働した人権教育の推進の取組についての情報提供 ○ 研修機会の充実に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐち総合教育支援センターのサテライト研修の活用 ・ キャリアステージに応じた指導力向上に向けた研修の実施 ・ ブロック別人権教育担当者研究協議会における講師経費の支援（高） 	県・市町・ 学校
■ 人権に関する資料の整備と活用の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的人権に関する理解を深めるための資料や情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県人権教育推進資料」に基づいた授業例の紹介 ・ 様々な人権課題に関する法律や施策等についての情報提供 ○ 視聴覚資料等の整備と活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校種の特性に応じた活用しやすい視聴覚資料の研究 ・ 視聴覚資料の効果的な活用例の作成 	県・市町

取組の現状

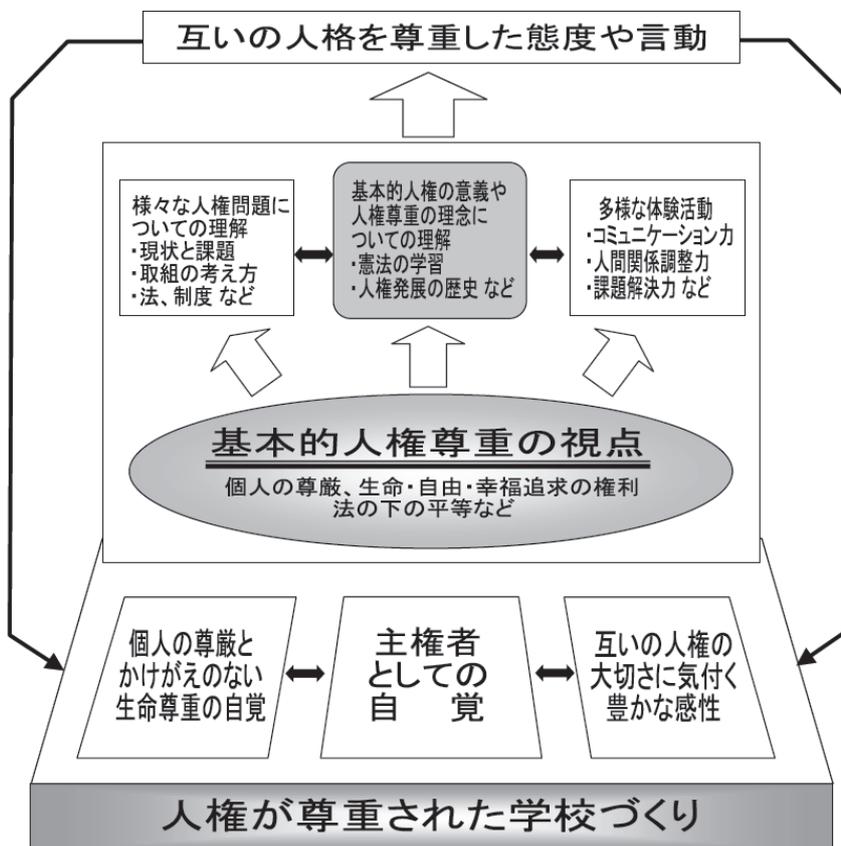
p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
人権教育に関するサテライト研修等への 県教委からの講師派遣回数	225回 (2018～2022年度累計)	250回以上 (2018～2023年度累計)

取組の推進に向けて

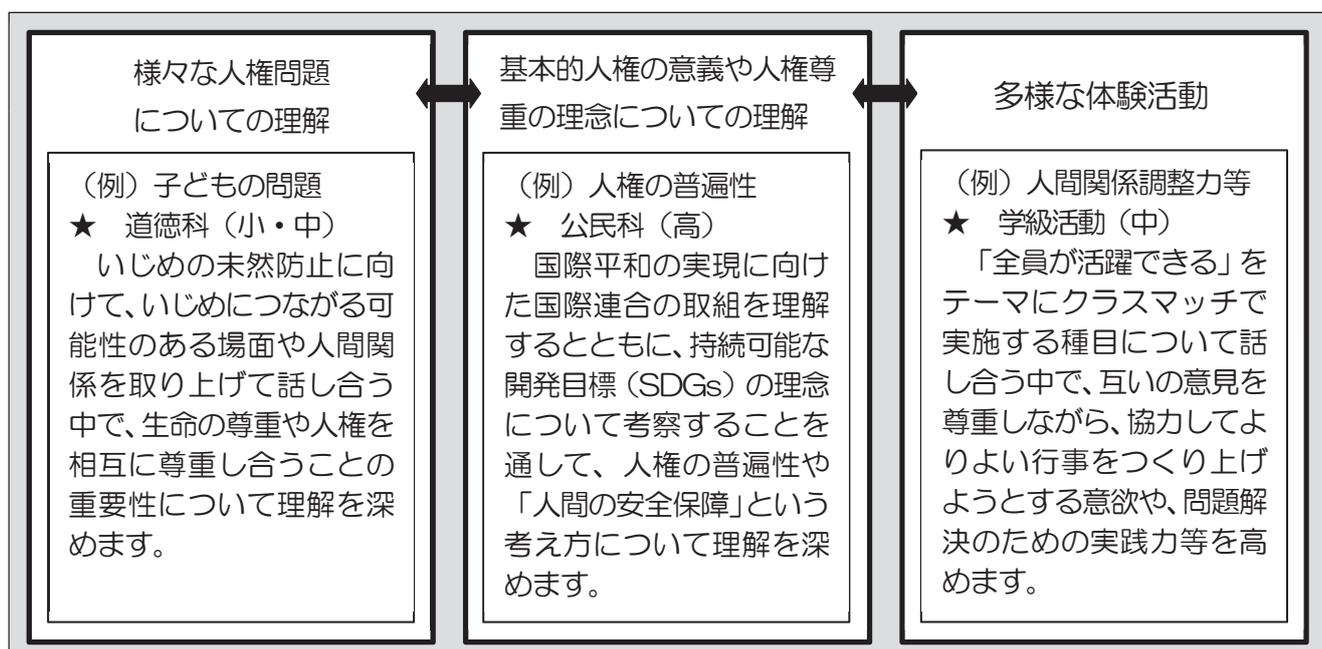
人権教育の推進にあたっては、教育内容、指導方法とともに、学習の場そのものが、児童生徒にとって、安心して、楽しく学ぶことのできる環境でなければなりません。そのため、互いを尊重した人間関係や人権が尊重された学習環境などが、人権教育の重要な基盤となります。



基本的人権尊重の視点に立った取組の中で、個人の尊重、生命・自由・幸福追求の権利の尊重、法の下での平等など、〈基本的人権に関わる学び〉として、基本的人権の意義や人権尊重の理念の正しい理解と人権の大切さに気付く豊かな感性などの育成をめざします。

- * 意義…意味・価値
- * 理念…基本的な考え方

主体性を育み、課題解決力等を高める授業実践（例）



7 いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実

【取組方針】

- ◆ 「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、全てのいじめの解消をめざす取組を、学校・家庭・地域・関係機関等が連携して、社会総がかりで推進する。
- ◆ 豊かな心を持ち、たくましく生き抜く児童生徒の育成に向け、心の教育の基盤となる「開発的生徒指導」を推進することにより、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校の未然防止の取組を一層強化する。
- ◆ 生徒指導上の諸課題の早期解決をめざし、生徒指導・教育相談体制の充実・強化を図るとともに、外部専門家や関係機関等との連携により、児童生徒や家庭、学校への専門的な相談・支援機能を充実させる。

【主な取組】

(担当課：学校安全・体育課／やまぐち総合教育支援センター)

主な取組と内容	実施主体
■ 心の教育の取組の基盤となる開発的生徒指導の充実	
○ 問題行動等の未然防止に向けた開発的・予防的生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「心の教育推進の手引き」「心の教育実践事例集」「よりよい生徒指導に向けて」「子どもたちの規範意識を育むために」等の活用による取組の推進 ・ 全ての公立学校で心の専門家であるスクールカウンセラー（SC）による児童生徒の心の育成をする「心理教育プログラム」の実施 	県・市町・学校
○ 児童生徒の自己肯定感・自己有用感の育成及び好ましい人間関係づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ A F P Yや体験活動等を活用した授業づくりなどの研修会の開催 	県・市町・学校
■ 問題行動や不登校の早期発見・早期対応に向けた組織的な取組の充実	
○ 「山口県いじめ防止基本方針」「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ対策の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県いじめ問題対策協議会」を核とした、関係機関・団体等との連携強化及び本県基本方針に基づく取組の検証・評価・改善 ・ 県立学校におけるいじめの重大事態発生時の調査等のための「山口県いじめ問題調査委員会」の設置 ・ 各学校の「いじめ対策委員会」を中核とした、学校基本方針に基づく実効的ないじめの防止等の取組の年間計画作成・実施・検証・評価・改善 ・ 教員を対象とした、いじめや自殺の未然防止のための研修会の開催 ・ 「いじめ防止・根絶強調月間」（10月）における児童会・生徒会の主体的取組の推進 	県・市町・学校
○ 問題行動や不登校等の対策に係る校内体制の整備と校種間の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職及び生徒指導主任等を中核とした、迅速・的確かつ組織的な対応の強化 新 公立中学校の一部において、在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う特別の教室（ステップアップルーム）に専属教員（サポート教員）を配置し、不登校等生徒に個別の支援を実施 ・ SCやスクールソーシャルワーカー（SSW）等の外部専門家の協力を得た、生徒指導・教育相談体制の充実・強化 ・ 入学後の円滑な適応に資する校種間の情報共有及び学校警察連携協議会の実施 ・ 教職員の生徒指導・教育相談に係る資質能力の向上に向けた各種研修会等の開催 ・ 管理職を対象とした自殺予防教育推進に係る研修会の開催 	県・市町・学校

<p>○ 児童生徒理解の深化及び教育相談体制の充実</p> <p>新 中学校及び高等学校入学前の全ての児童生徒を対象とした「心理教育テスト」の実施とその結果を踏まえたＳＣとの教育相談等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短い間隔での生活アンケートの実施やF i t^{※1}（小学校・中学校・高等学校版）の積極的な活用 ・ SNS等を活用した相談体制の充実（高校等） ・ 1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリングの推進 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 専門家の派遣等による課題解決に向けた児童生徒、家庭、学校等への支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ＳＣ、ＳＳＷ、エリアスーパーバイザー^{※2}（エリアＳＶ）、ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー：家庭問題専門家）等の外部専門家が連携した学校・児童生徒・家庭への支援体制の充実・強化 ・ 常勤（正規雇用）のＳＳＷが人材育成体制を構築することで、県内ＳＳＷ全体の資質向上に係る取組を推進 ・ ＳＳＷによる、市町教委と連携した小学校入学時からの支援体制の構築 ・ エリアＳＶとの積極的な連携や、全市町へのＳＳＷの配置による支援体制の充実 ・ FRアドバイザーによる介入支援 ・ 弁護士（スクールロイヤー）による、法的側面からのいじめ予防教育の実施（中・高）及びいじめ等生徒指導上の諸課題への適切な対応に資する指導・助言 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 児童生徒の適切なインターネット利用に向けた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の主体的な取組の推進及び「インターネットKYT資料集」の活用 ・ 大学と連携したネットトラブル等防止出前授業の実施（高校） ・ 警察と連携した新入生を対象とする情報モラル教室の実施（高校） ・ ネットトラブルに関する教職員研修会の開催 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育支援センター（適応指導教室）を中心としたサポート体制の充実 ・ 不登校児童生徒の学習の機会の充実を目的とした分教室の設置 ・ 不登校児童生徒への支援充実に向けた連絡協議会の開催 	<p>県・市町・学校(小中)</p>
<p>■ 学校・家庭・地域が連携した体制づくり</p>	
<p>○ コミュニティ・スクールや地域協育ネットと連携した取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における協議会等での熟議等を通じた取組 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 子どもの未来を考えるフォーラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ等の諸問題の解決に向けたフォーラムによる広報・啓発（8月開催） 	<p>県</p>
<p>■ やまぐち総合教育支援センター等の相談・支援体制の充実</p>	
<p>○ 「子どもと親のサポートセンター」及び「ふれあい教育センター」による相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話相談、来所相談及び要請相談（学校等を訪問しての相談）による、きめ細かな相談・支援（電話相談員、ＳＳＷ、ネットアドバイザー及びセンター職員が対応） 	<p>県</p>
<p>■ 緊急時等の学校への支援体制の充実</p>	
<p>○ 学校サポートチーム等の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大な事件・事故等への緊急対応や継続的な対応のための人的支援 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ いじめの重大事態に係る児童生徒支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大事態発生時の調査及び児童生徒等のケアのための外部専門家の派遣 	<p>県・市町・学校</p>

※1 F i t：児童生徒の学校生活等への適応感を測定するためのアンケート調査

※2 エリアスーパーバイザー：やまぐち総合教育支援センター配置の3人のＳＳＷの呼称

県内3エリアを分担し、困難な問題を抱える児童生徒の環境への働きかけや関係機関との連携・調整を図るとともに、市町配置のＳＳＷへの指導・援助を行う。

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小 84.8% 中 86.1% (2022 年度)	増加させる
いじめの解消率 (公立小・中・高等学校、総合支援学校)	97.6% (2021 年度)	100%に 近付ける
1,000 人当たりの不登校児童生徒数 (公立小・中・高等学校)	小・中 26.6 人 高 9.5 人 (2021 年度)	減少させる
1,000 人当たりの暴力行為発生件数 (公立小・中・高等学校)	6.0 件 (2021 年度)	減少させる

取組の推進に向けて

いじめの未然防止、早期発見・早期対応、 全てのいじめの解消をめざす相談・支援体制の充実

開発的生徒指導による未然防止



学校の取組

- ◆ 児童生徒の主体的活動機会の確保
- ◆ 「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめ等の防止のための取組の推進
- ◆ 児童生徒への情報モラル教育（保護者等へのネット問題啓発）の充実
- ◆ 保護者や地域へ向けた、学校の基本姿勢や児童生徒の状況等に関する情報発信

迅速かつ組織的な活動による早期発見・早期対応

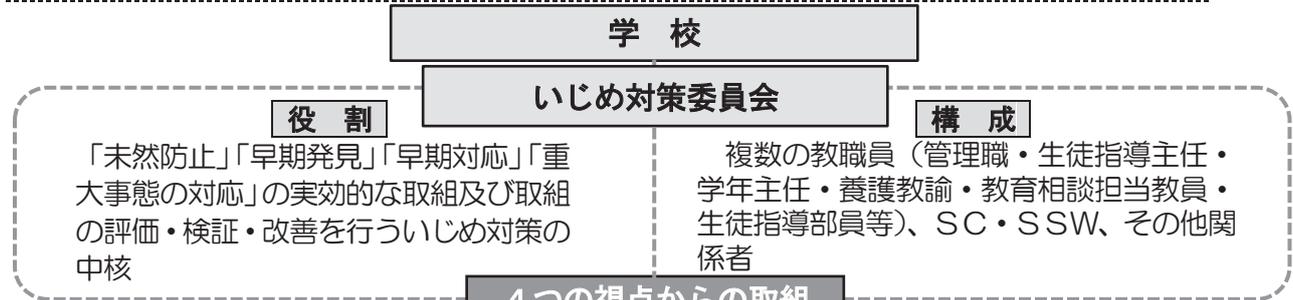
学校の取組

- ◆ 「いじめ対策委員会」を中核とするいじめ対策の組織的な取組と評価・検証・改善
- ◆ 校種間・学校相互間の情報共有及び行動連携の強化
- ◆ 教職員の生徒指導・教育相談に係る指導力の向上
- ◆ SC・SSW等の外部専門家との早期からの連携
- ◆ 家庭・地域・関係機関等と連携した、社会総がかりでの取組

山口県いじめ防止基本方針（概要）

第2部 学校におけるいじめの防止等のための具体的な事項

I 学校が行う具体的な取組



■ 1 未然防止（いじめの予防）

- 生徒指導・教育相談の充実・強化
「教職員の資質能力の向上」「児童生徒の行動観察」「児童生徒理解」「校種間連携の促進」
- 学校の教育活動を通じた取組
「各教科・総合的な学習の時間」「道徳教育」「特別活動等における児童生徒の主体的な活動」
- 「いじめ対策委員会」による評価・検証・改善
「学校基本方針の評価・検証・改善」「いじめ対策委員会による情報集約と情報共有」「未然防止の取組を学校評価の評価項目への位置づけ」
- 家庭・地域との連携
「大人の意識の向上」「日頃からの信頼関係づくり」「地域の情報ネットワーク」「情報発信」

■ 2 早期発見（把握しにくいいじめの発見）

- 校内指導体制の確立
「複数の教職員による指導体制づくり」「教育相談担当・養護教諭の役割」
- 具体的な取組
「日常の観察」「生活アンケート」「教育相談」「ふれあいの時間」「研修の充実」「相談窓口の周知」
- 家庭・地域との連携
「学校運営協議会や地域協育ネット等の取組による開かれた学校づくり」「保護者懇談会の開催」

■ 3 早期対応（現に起こっているいじめへの対応）

- 学校の体制づくり
「いじめを認知した場合（疑われる場合も含む）の役割分担と対応例」
- 対応する上での留意点
「児童生徒・保護者への対応」「臨時保護者会の開催」「いじめのアフターケア」
- 教育相談の在り方
「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒への教育相談」
- インターネットや携帯電話等を利用したいじめへの対応
「初期対応」「関係機関との連携」「被害拡大の防止」
- 保護者との連携
「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒の保護者への対応」「臨時保護者会の留意点」
- 地域・関係機関との連携
「学校と地域との連携」「学校と関係機関との連携」「やまぐち児童生徒サポートライン」

■ 4 重大事態への対応（生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあるいじめ等への対応）

- 重大事態の判断
「いじめ対策委員会の判断」「県教委・学校法人からの指導助言」
- 重大事態への対応
「全容解明と早期対応」「いじめられている児童生徒・いじめている児童生徒への対応」
- 学校による調査
「全容解明に向け、外部専門家と連携した調査」「調査の進捗状況及び結果等についての説明」
- 調査に当たっての留意事項
「中立性・公平性の確保」「いじめられた児童生徒からの聴き取りが不可能な場合の対応」

II その他

- 学校いじめ防止基本方針の評価・検証・改善及びいじめ対策に資する積極的な取組

8 体力向上の推進

【取組方針】

- ◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、バランスのとれた体力向上に向け、市町教育委員会、各小中学校、関係団体等と連携した組織的な取組の推進を図る（体力向上維新プロジェクト）。
- ◆ 教員の指導力向上に向けた各種研修会等への参加促進や、体育授業マイスターや地域スポーツ指導者等の積極的な活用により、学校体育の充実を図る。
- ◆ 運動習慣の確立や体力向上に向け、学校や地域の実態に応じて、学校支援人材等を活用した指導体制の充実を図るなど、学校・家庭・地域が一体となった「オールやまぐち」による取組を推進する。

【主な取組】

(担当課：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 体力向上に向けた組織的な取組の推進	
○ 関係団体等と連携した取組の充実 ・ 有識者による「体力アップチャレンジ協議会」の開催	県
○ 体力向上に向けた全小・中学校共通の取組の推進 新 準備運動、おうちで運動 ^{*1} 、新体力テスト ^{*2} の充実 ・ 指導資料「柔軟性向上運動メニュー 改訂版」の活用 新 「体力向上レポート」 ^{*3} の作成	県・市町・ 学校(小中)
○ 各学校の特色ある取組の推進 新 各校の実態に合わせた取組（学校オリジナル活動）の充実 （体力テストウィーク、朝ストレッチ等、学校独自の取組）	県・市町・ 学校(小中)
■ 指導方法の工夫改善による学校体育の充実	
○ 体育・保健体育科授業の改善と充実に向けた教員の指導力向上 ・ 学校体育セミナー及び実技講習会等の開催による教員の指導力向上 ・ 体育授業マイスター制度 ^{*4} を活用した教員の指導力向上 ・ 「ICT体育推進校」によるICTを効果的に活用した実践研究	県・市町・ 学校
○ 関係団体等との連携による学校体育の充実 ・ 武道・ダンス等、課題がみられる領域への地域スポーツ指導者の派遣 ・ 幼児・児童を対象とした運動習慣の改善・定着に向けた取組の推進 （運動遊び教室の実施、発育発達に応じた運動指導講習会の開催等） ・ 運動動画（準備運動・おうちで運動・新体力テスト）コンテンツの作成 ・ 望ましい部活動指導の実現に向けた「部活動指導者サミット」の実施	県・市町・ 学校
○ 部活動指導員の配置等による適切な運営のための体制整備 ・ 部活動指導員の配置による部活動指導体制の充実 ・ 部活動指導者の資質向上のための研修会の開催	県・市町・ 学校(中高)
■ 家庭や地域と一体となった取組の推進	
○ 家庭と連携した取組の推進 ・ 指導資料（「運動大好き！やまぐちっ子体操」「子ども元気創造 体力アップチャレンジ」「子どもに経験させたい運動・遊び」「チャレンジやまぐち」等）を活用した運動習慣確立に向けた取組の促進 ・ 「学校体育通信」の家庭への配付及び出前授業による啓発活動の充実	県・市町・ 学校 (幼小中)
○ 地域との連携による運動・遊び等の活動機会の確保 ・ 「やまぐち型地域連携教育」の仕組み等を活用した学校体育活動の充実	県・市町・ 学校

<p>○ 子どものスポーツ活動等の機会確保・充実に向けた部活動改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関・団体等による「やまぐち部活動改革推進協議会」の開催（新たな体制整備に向けた諸課題の対応についての検討等） ・ 関係者への周知及び理解促進に向けた説明会の開催 ・ 学校部活動の地域連携及び地域移行に向けた県・市町との連携による環境整備 	<p>県・市町・ 学校（中）</p>
--	------------------------

- ※1 おうちで運動：子どもが、毎日、家庭で、発達段階に応じた運動を行う取組
- ※2 新体力テスト：正しい測定方法や動作のポイント等についての研修会の実施、実施時期の統一（対象：全学年、6～7月）、体力確認テスト（対象：小4・中1、11月～12月）の実施
- ※3 「体力向上レポート」：体力向上に向けた取組を効果的に実施するための工夫点、その取組内容や評価を記載
- ※4 体育授業マイスター制度：体育の授業において高い指導力を有する教員を活用し、授業研究等を実施

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）における、体力合計点の県平均点（公立小・中学校）	小5男子 50.5点 小5女子 52.9点 中2男子 39.8点 中2女子 47.2点 (2022年度)	増加させる

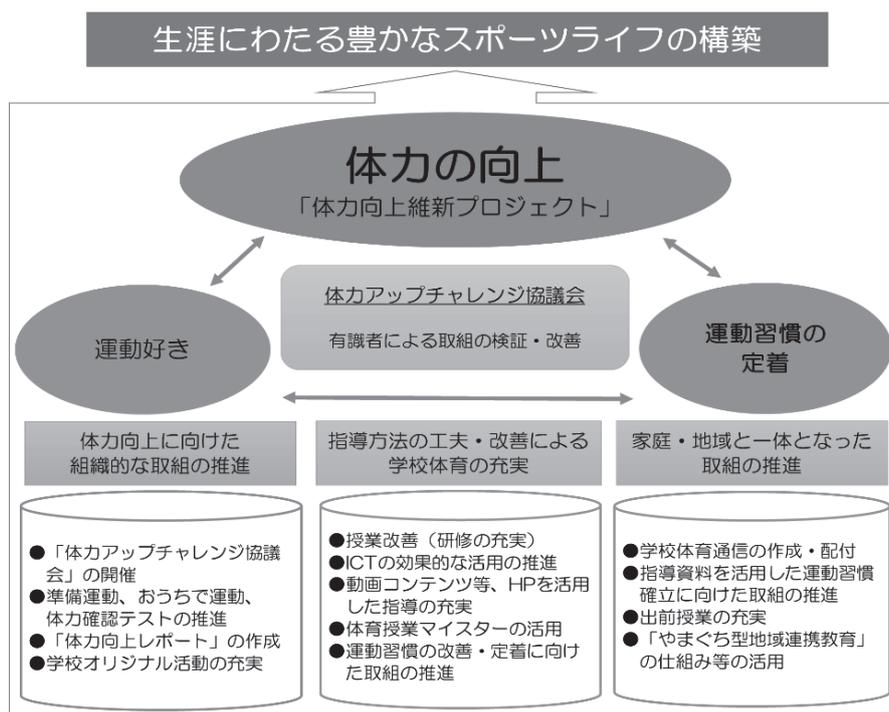
取組の推進に向けて

○ **本県の子どもの体力の状況**

令和4年度の調査によると、本県の子どもの体力は、全国平均と比較して、持久力は優れているものの、柔軟性や投力等については低い水準にある。体力低下の背景には、運動時間の減少やスクリーンタイムの増加等、生活習慣の変化があると考えられ、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響が推測される。

○ **体力向上に向けた取組**

令和5年度は、各小中学校において、全ての学年で共通して取り組む事項を3点設定し、その取組を各学校及び市町教育委員会、県教育委員会が一体となって、組織的に推進することにより、体力要素のバランスのとれた子どもの育成を図る。



9 食育の推進

【取組方針】

- ◆ 朝食摂取をはじめとする望ましい食習慣の定着に向け、学校の食育推進体制の充実及びPDCA サイクルに基づいた食育の推進を図るとともに、学校・家庭・地域が連携して、児童生徒の発達の段階に応じた食育の取組を推進する。
- ◆ 地場産食材の活用等による献立の工夫、衛生管理の徹底、食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応などを積極的に働きかけ、学校給食の一層の充実を図る。
- ◆ 食育推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員等、関係教職員の資質の向上のために、研修会等の充実を図る。

【主な取組】

(担当課：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 望ましい食習慣の定着に向けた学校・家庭・地域の連携による組織的・計画的な食育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒・家庭・地域の実態に応じた計画の見直し・改善の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食に関する指導の手引～学校・家庭・地域で取り組む食育の推進～（令和4年3月改訂）」を活用した全体計画・年間指導計画の見直し・改善の促進 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭等を中核とした食育推進体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭等を中核とした学校全体で取り組む食育推進体制の充実 ・ 山口県食育推進会議における効果的な食育の取組の検討及び各種研修会や資料で紹介された実践事例の共有による各学校の取組の充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校、家庭、地域のつながりを深める食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や地域に向けた学校の食育推進活動の発信による協働化の促進 ・ 食育推進モデル地域における研究実践の成果の普及啓発 	県・市町・学校
■ 学校給食の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食に関する指導における生きた教材となる献立の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科等の学習内容や時期を考慮した年間献立計画に基づく献立作成の推進 ・ 地場産食材を活用した給食献立の工夫と食に関する指導による地域の食文化や産業、環境への理解促進 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な学校給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携した衛生管理・危機管理に関する研修会の開催等による学校の安全管理体制の強化 ・ 給食施設の衛生管理状況等の調査及び改善指導による安全管理の徹底 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギー事故防止に向けた取組の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル（令和3年3月改訂）」に基づいた各学校におけるアレルギー対応方針の見直し ・ 関係機関と連携し方針に基づいた組織的な対応の徹底 ・ 児童生徒の正確な実態把握と個別の支援プラン作成の推進 	県・市町・学校
■ 栄養教諭・学校栄養職員の更なる資質能力の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育及び給食管理に関する研修会等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校や各市町における食に関する指導研修会の充実 ・ 衛生管理指導者講習会、栄養教諭・学校栄養職員夏期研修会、学校給食研究協議大会の充実 ・ 食育指導者養成研修への派遣 ○ 栄養教諭の計画的な配置の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭の計画的な配置による食育の推進 	県・市町・学校

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

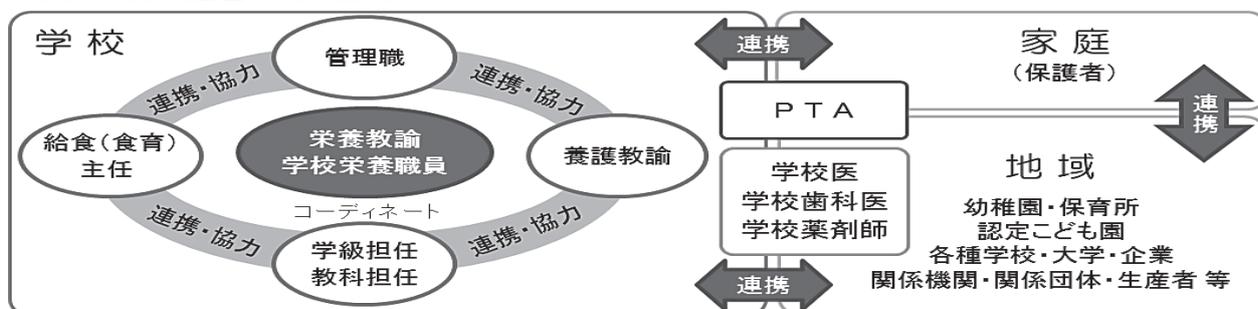
主な指標	最新値	目標値
朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (公立小・中学校)	小6 94.5 % 中3 93.8 % (2022年度)	増加させる

取組の推進に向けて

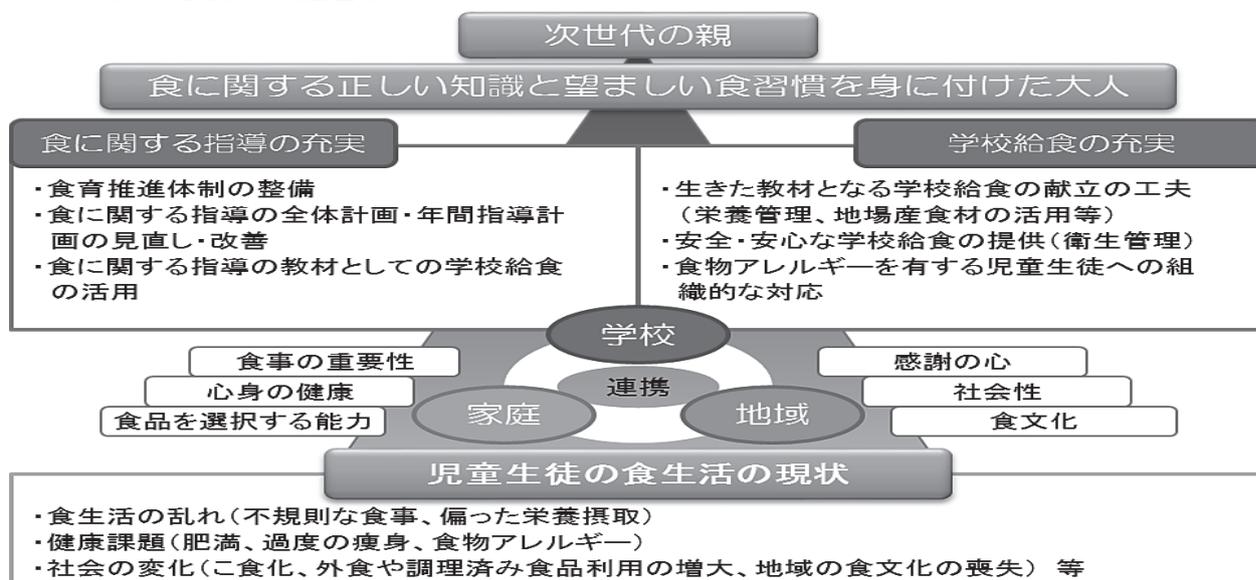
食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきものとの認識に立ち、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが必要である。

学校においては、子どもの食生活に関する現状を踏まえ、課題解決に向けて、食育推進体制を整備し、学校給食を生きた教材として活用しながら、家庭や地域と連携して組織的・計画的に食育を推進していくことが大切である。

1 学校の食育推進体制の整備



2 学校における食育の推進イメージ



<県参考資料> 学校安全・体育課

「こども元気づくり関連サイトマップ」<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26670.html>
 「山口県つながる食育推進事業報告書」(H31.2、R2.2)

<国参考資料> 文部科学省

「食に関する指導の手引き—第二次改訂版—」(H31.3)
 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」(H29.3)



10 健康教育の推進

【取組方針】

- ◆ 学校保健の組織的・計画的な取組に向け、保健主任や養護教諭を中心とした推進体制の整備を図り、望ましい生活習慣の確立に向けた学校・家庭・地域が一体となった取組を進めるとともに、学校保健の充実に向けた校内研修の実施と各種研修会への参加促進を図る。
- ◆ アレルギー疾患等現代的な健康課題への対応や学校環境衛生活動の充実に向け、地域の医療機関等との連携を促進するとともに、学校保健の中核となる養護教諭等の資質能力の向上に向け、研修内容の充実を図る。

【主な取組】

(担当課：学校安全・体育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 望ましい生活習慣の確立に向けた学校保健（保健管理・保健教育）の組織的・計画的な取組の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の実態に応じた学校保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭・学校医等との連携強化による保健管理の円滑な推進 ・ 児童生徒の実態を踏まえた学校保健計画等の毎年度の見直し・改善 ・ 学校保健委員会の計画的開催（年2回以上） 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導体制の充実による学校保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全教職員の理解と協力の下、児童生徒の心身の健康問題の早期発見・早期対応及び自己管理能力の育成をめざした学校保健の充実 ・ 「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引」等、文部科学省や日本学校保健会が発行している資料等を活用した校内研修の実施 ・ 学校保健研究大会等における健康教育の実践事例の共有による各学校の取組の充実 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域が一体となった学校保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣の改善に向けて、家庭・地域を巻き込んだコミュニティ・スクールとしての取組の推進（学校保健委員会の活用） ・ 地域教育資源の活用等、学校・家庭・地域の協働化の推進（地域学校保健委員会等の開催） 	県・市町・学校
■ 現代的な健康課題の解決に向けた取組の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校保健の中核となる養護教諭等の資質能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 養護教諭の専門的知識と技能の習得を目的とした各種研修会の開催 ・ 各地域に配置された養護教諭指導員[*]の指導力の向上を図る研修の実施 ・ 保健体育関係長期研修及び健康教育指導者養成研修への派遣 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と地域の医療機関等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症、アレルギー疾患、メンタルヘルスに関する問題、性に関する指導等、現代的な健康課題の解決に向けた学校医・学校歯科医・学校薬剤師及び医療機関等と連携した学校保健の推進 ・ がん教育の充実に向けた、がん教育推進協議会の設置及び推進地域における研究実践等の実施 ・ 各学校における年1回の薬物乱用防止教育の実施 ・ 学校薬剤師等の専門家と連携した学校環境衛生活動の充実（学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生検査の確実な実施等） 	県・市町・学校

	<p>○ アレルギー疾患対応に係る取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校におけるアレルギー疾患対応委員会」での検討結果を踏まえた各学校における組織体制の改善 「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル（令和3年3月改訂）」の活用 アレルギー疾患対応に係る「緊急時対応事案」や「ヒヤリハット事例」の情報共有及びエピペン[®]の使用方法を盛り込んだ校内研修の推進 	<p>県・市町・学校</p>
	<p>○ 学校歯科保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校歯科保健推進検討委員会（年2回開催）による効果的な指導内容の検討及び検討内容の周知による各学校での指導体制・指導方法の改善 「8020運動」推進表彰による学校歯科保健の普及啓発 県健康福祉部、県歯科医師会等が連携して実施する口腔衛生意識向上事業に関する学校における取組の普及啓発 	<p>県・市町・学校</p>

※ 養護教諭指導員：養護教諭の資質能力向上のため、職務に関する質疑や研修に対して指導・助言を行う経験豊かで指導力のある養護教諭

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
肥満傾向児の出現率	小学5年生 男子 11.42% 女子 8.09% (2021年度)	減少させる
12歳児でむし歯（う歯）のない人の割合	70.1% (2021年度)	増加させる

<県参考資料>

◇学校安全・体育課 「健康づくり推進に向けて」（H22.2）

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/77930.pdf>



「子どもの健康をみんなで支えるために」（H23.3）

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/77929.pdf>



取組の推進に向けて

近年の社会環境の急激な変化や生活スタイルの多様化に伴い、児童生徒の生活習慣の乱れやメンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、喫煙・飲酒・薬物乱用、性に関する問題、感染症、近視の増加など、新たな課題が顕在化している。

このような諸課題に適切に対応し、課題の解決を図るためには、健康教育を通じて、児童生徒が生涯にわたり自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の育成に向けた取組を学校全体で組織的・計画的に行うことが重要である。

こうした取組の過程においては、学校や家庭、地域、地域の医療機関等が連携し、多様な健康課題に対する正しい認識と理解に基づいたきめ細かな学校保健を展開していくことが求められる。

取組の推進に向けた3つの視点

- ① 各学校における児童生徒の健康課題の実態把握と組織体制の整備並びに研修機会の充実による教職員の資質能力の向上
- ② 学校保健委員会の内容の充実と学校保健関係者との連携強化
- ③ 児童生徒の現代的な健康課題の解決に向けた学校と地域の専門家や関係機関等との連携推

学校保健の領域・重点課題



11 特別支援教育の推進

【取組方針】

- ◆ インクルーシブ教育システムの推進に向けて、総合支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級といった、多様な学びの場の一層の充実を図る。
- ◆ 一人ひとりに応じたICTの活用、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の充実と活用、外部専門家と連携した教育内容の工夫・改善などにより、障害の重度・重複化、多様化に対応した、総合支援学校の教育の充実に向けた取組を推進する。
- ◆ 管理職や校内コーディネーター等を中心とする校内支援体制の充実やすべての教員の専門性の向上などにより、幼・小・中・高等学校等における指導及び相談支援の実効性の向上を図る取組を推進する。
- ◆ ふれあい教育センターや特別支援教育センター、サブセンター等が連携し、各地域・学校における発達障害等についてのきめ細かな相談支援の取組を推進する。
- ◆ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かした特色ある教育活動により、全ての幼児児童生徒がともに学び合い、支え合い、地域社会の一員として心豊かに成長できる共生社会の実現に向けた総合支援学校の「やまぐち型社会連携教育」を推進する。

【主な取組】（担当：特別支援教育推進室、義務教育課、高校教育課、地域連携教育推進課）

主な取組と内容	実施主体
<p>■ 総合支援学校における教育の充実</p> <p>○ 一人ひとりの教育的ニーズに応える教育内容等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたICT機器活用推進のための協議会・研修会の実施及び活用事例の蓄積と普及 ・ 「個別最適な学び」の実現や社会体験活動の一層の充実に向けたオリジナルVR動画の活用の推進 ・ 学習指導要領に基づいた教育課程の適切な編成と円滑な実施のための校内研修や研究協議会の実施 ・ 各学校の学習評価の充実に資する、「個別の指導計画」の新たな様式の検討 ・ 学校における授業力向上に資する、ふれあい教育センターと連携した授業研究の支援やオンラインサポートの充実 ・ 障害の重度・重複化、多様化に対応するための、外部専門家（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）との連携や、自閉症により行動面等で著しい困難を示す児童生徒への指導・支援に関する事例の活用 <p>新 医療的ケアが必要な児童生徒の校内外における安全な学習環境の整備に向けたガイドラインの策定</p>	<p>県・ 学校（特）</p>
<p>○ キャリア教育・職業教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業実践科設置校（田布施総合支援学校、山口南総合支援学校、宇部総合支援学校、下関総合支援学校）を中心とした職業教育、進路指導の充実 ・ 就業実践科の成果の普及と職業コース（岩国総合支援学校 R6～稼働）の教育課程等の検討 ・ 学習意欲の向上や自己有用感を高めることができる「きらめき検定」（山口県特別支援学校技能検定）の充実 	<p>県・ 学校（特）</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支援学校就職支援コーディネーターの配置による現場実習先の開拓及び障害者雇用の理解促進 ・ 地域人材を活用した教育活動の推進及び学校内の地域交流スペースに設置したカフェの運営等を通じた実践的・体験的な学習活動の実施 	
<p>○ 教育環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な進路実現に必要な新たな施設の設備や、老朽化及び教室不足への対応の検討 	<p>県・学校(特)</p>
<p>■ 高等学校等における特別支援教育の充実</p>	
<p>○ 全校体制による指導・支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校体制による障害特性等に応じた適切な指導や支援、合理的配慮の適切な提供方法等に関する管理職研修会や校内コーディネーター研修会等の充実 ・ 特別支援教育支援員の継続的・効果的配置による学習活動等への支援の充実 	<p>県・学校(高)</p>
<p>○ 通級による指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通級による指導を必要とする全ての高等学校等で対応できるよう、特別支援教育推進の拠点となる高等学校に特別支援教育推進教員を配置 ・ 「高等学校等における『通級による指導』」(チラシ)を活用した通級による指導の理解促進 	<p>県・学校(高)</p>
<p>○ 特別支援教育の視点を取り入れた指導・支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育推進教員と地域コーディネーターが連携した学校訪問等による支援体制の整備や特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの推進 <p>新 発達障害のある生徒への具体的な指示や発問の仕方などを学ぶ「授業づくりセミナー」の実施</p>	<p>県・学校(高)</p>
<p>○ 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校との連携強化・情報の引継ぎによる切れ目ない支援体制の充実 ・ 特別支援教育推進教員や地域コーディネーター等の助言による「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用の促進 	<p>県・学校(高)</p>
<p>■ 小・中学校における特別支援教育の充実</p>	
<p>○ 特別支援教育の視点を取り入れた学校経営、学級経営及び授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校体制での指導・支援の充実に資する、県教委の研修資料等を活用した校内研修の実施 ・ 通常の学級を担当する教員の専門性向上に資する、ふれあい教育センターとの連携による、校内研修用研修パッケージの充実と活用の推進 ・ 初めて特別支援教育を担う教員を対象とした、すべての児童生徒が「わかる」「できる」を実感できる「授業づくりセミナー」の実施 ・ 「学校における『合理的配慮』の提供」(リーフレット)の活用や好事例の紹介等による合理的配慮の適切な提供に関する一層の周知 ・ 特別支援教育実施の責任者として、自ら特別支援教育や障害に関する認識を深めるための管理職研修会の充実 	<p>県・市町・学校(小中)</p>
<p>○ 「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」の作成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「個別の教育支援計画」を活用した、進級時や進学先等への必要となる支援情報の確実な引継ぎの促進 ・ 「個別の教育支援計画Q&A及び記入例(第3版)通常の学級用様式」の活用による通常の学級に在籍する障害のある児童生徒についての計画作成の促進 	<p>県・市町・学校(小中)</p>

<p>新 「個別の教育支援計画」の作成意義や活用方法等の理解促進を図るリーフレットの作成</p>	
<p>○ 特別支援学級、通級による指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町教育委員会との連携による、特別支援学級担任及び通級による指導担当教員を対象とした特別の教育課程の適切な編成と円滑な運用に関する理解促進 ・ 市町教育委員会との連携による、特別支援学級・通級による指導の中核的な役割を果たす教員の育成をめざした「特別支援教育アドバンス講座」の実施 ・ 弱視特別支援学級や難聴特別支援学級を担当する教員、通級による指導を新たに担当する教員等を対象とした研修会の実施 	<p>県・市町・学校(小中)</p>
<p>■ 早期からの切れ目ない支援体制の充実</p>	
<p>○ 医療・保健・福祉等と連携した早期からの支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支援学校と市町教育委員会、医療、保健、福祉、労働等が連携した早期からの支援体制の充実 ・ 教育と福祉の連携による発達障害支援トレーニングセミナーの実施 <p>新 保護者が見通しをもち安心して就学について考えることのできるリーフレットの作成</p>	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ 特別支援教育を推進する体制の充実</p>	
<p>○ ふれあい教育センター、特別支援教育センター等による相談支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい教育センターによる発達障害等に対する相談支援機能の充実 ・ 特別支援教育センター等に地域の特別支援教育の中心的な役割を担う地域コーディネーターを配置し、より身近な地域におけるきめ細かな相談支援を実施 ・ 視覚障害教育センター及び聴覚障害教育センターによる幼・小・中・高等学校等への相談支援の充実と研修会の実施 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 教員の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性の高い教員による授業研究や、多様な障害に対応できる総合的な専門性の向上を図る研修会の実施 ・ 地域コーディネーターや特別支援教育推進教員による、全校体制での相談支援の実効性向上に向けた事例検討の実施 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 交流及び共同学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支援学校と小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールが連携した交流及び共同学習の推進 ・ 直接的な交流とICTを活用したオンライン交流の効果的な組み合わせによる交流及び共同学習の充実 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 障害者理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者スポーツやレクリエーション、芸術活動を通じた、障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒の相互理解の促進 ・ 障害のある児童生徒の芸術作品展や作業製品の販売等を一体的に実施する「特別支援教育フェスティバル」の開催による特別支援教育への理解促進 	<p>県・市町・学校</p>
<p>○ 総合支援学校コミュニティ・スクールの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育目標・学校経営ビジョンの共有や熟議の実施等による学校運営協議会の一層の活性化 <p>新 教育課程と関連付けた、作業製品の販売、喫茶サービス、障害者スポーツ等の体験活動の充実</p>	<p>県・市町・学校</p>

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率	94.6% (2021年度)	100%に近付ける
公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の教育支援計画の作成率	95.8% (2021年度)	100%
公立幼・小・中・高校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の指導計画の作成率	93.9% (2021年度)	100%
義務教育段階から高等学校段階に進学、就職する生徒について、個別の教育支援計画を活用した支援情報の引継ぎ率	75.2% (2021年度)	100%

取組の推進に向けて

障害のある特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の「自立と社会参加」の実現

「共生社会」の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築・推進

山口県がめざす特別支援教育の姿（方向性）

- ・ 特別な教育的支援を必要とする障害のある幼児児童生徒が、きめ細かな指導や切れ目ない支援により、自己のもつ力や可能性を最大限に伸ばし、自立・社会参加ができる。
- ・ 特別な教育的支援を必要とする障害のある幼児児童生徒が、より身近な地域で適切な指導や必要な支援を受けることができる。
- ・ 全ての幼児児童生徒が共に学び、支え合い、将来を見据えて地域社会の一員として心豊かに成長できる。

山口県の特別支援教育推進の柱

- 1 総合支援学校における教育の充実
- 2 高等学校等における特別支援教育の充実
- 3 小・中学校における特別支援教育の充実
- 4 早期からの切れ目ない支援体制の充実
- 5 特別支援教育を推進する体制の充実

■インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進

- ・ 一人ひとりに応じた指導や支援の充実
- ・ 多様な学びの場の整備・充実
- ・ 切れ目ない指導や支援の充実

山口県教育委員会作成テキスト・参考資料等

以下の各種資料は、特別支援教育推進室のウェブページからダウンロードできます。

資料等の名称	目的・内容等
○ 全校体制による支援の充実	
支援をつなぐ（理論編）	発達障害の理解と校内体制整備のためのテキスト
支援をつなぐ（実践編）	発達障害についての教員の指導力向上と校内体制充実のためのテキスト
支援をつなぐ（研修編）	各学校における相談支援の実効性の向上のためのテキスト
高等学校等における特別支援教育	高等学校等における特別支援教育の推進を図るための教職員用の研修冊子
校内コーディネーターガイドブック	校内コーディネーターが校内の支援体制づくりや事例検討会の開催、保護者との連携等を進める際のガイドブック
○ 個別の教育支援計画、個別の指導計画	
「個別の教育支援計画」Q&A及び記入例（第3版）	「個別の教育支援計画」作成の手引
特別支援教育における「個別の指導計画」作成のために	「個別の指導計画」作成の手引
特別支援教育における「個別の指導計画」作成のために－記入例－	学校において「個別の指導計画」を作成する際の参考資料
○ 特別支援教育の授業づくり	
通常の学級における特別支援教育の充実のために	通常の学級における学習環境や授業づくり、個別的な支援や校内体制づくりのための参考資料（チェックリスト形式）
通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの進め方（リーフレット）	特別支援教育の視点を取り入れた、学習指導案作成のポイントや授業づくりの進め方等
自立活動の指導の手引き	自立活動の指導の基本的な理解や、障害種別の指導内容設定のための参考資料
自立活動の指導の充実をめざしたICT活用	ICTを活用した自立活動の効果的な指導に関する参考資料
子どもの心に目を向けるポジティブ行動支援－ASD指導事例集－ ※ASD…自閉スペクトラム症	ASDや二次的な障害等により、行動面等で著しい困難を示す児童生徒への指導・支援と障害特性の理解のための参考資料
○ 通級による指導	
通級指導担当者ガイドブック	小・中学校の「通級による指導」を担当する教員のみならず、全ての教職員の理解を促進するためのガイドブック
高等学校等における「通級による指導」ガイドブック	高等学校の「通級による指導」を担当する教員のみならず、全ての教職員の理解を促進するためのガイドブック
ご存知ですか？「通級による指導（通級指導）」（チラシ）	小・中学校「通級による指導」の概要紹介
高等学校等における「通級による指導」（チラシ）	高等学校「通級による指導」の概要紹介
○ 合理的配慮	
山口県立学校における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第7条に規定する「不当な差別的取扱いの禁止」に関し、県立学校教職員が適切に対応するために必要な事項を定めた要領
学校における「合理的配慮」の提供（リーフレット）	学校における「合理的配慮」提供のプロセスや事例、校内体制構築のためのチェックリスト等を掲載したリーフレット
マルチメディアデイジー教科書を使ってみませんか？（リーフレット）	マルチメディアデイジー教科書の使い方や申請方法等に関する参考資料
○ その他	
特別支援学校 新着任者用研修テキスト	特別支援教育の基礎的知識の習得と実践的指導力向上のためのテキスト
特別支援教育 就労をめざして	特別支援学校における職業教育や就労支援の充実のための参考資料
よりよい「交流及び共同学習」を進めるために（リーフレット）	「交流及び共同学習」の意義や進め方の工夫など、各学校の「交流及び共同学習」の充実を図る参考資料

12 幼児期における取組の充実

【取組方針】

- ◆ 「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点として、国公立・施設類型を問わず、保育者の専門性の向上等の取組を一体的に推進する。
- ◆ 生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期の教育及び保育の更なる質の向上のため、教育及び保育の内容や指導方法等に関する研修、幼児教育アドバイザー等による幼児教育・保育施設の訪問支援等を実施する。
- ◆ 子どもたちの育ちや学びをつなぐための、小学校区を単位とした保幼小連携（幼児教育・保育施設と小学校の連携）を促進する。
- ◆ 保護者や地域の人々への幼児教育・保育施設の開放や情報提供、教育相談など、積極的な子育ての支援を推進する。

【主な取組】（担当課：総務部学事文書課／健康福祉部こども・子育て応援局こども政策課
／義務教育課／地域連携教育推進課／特別支援教育推進室）

主な取組と内容	実施主体
■ 幼児期の教育の質の向上	
拡 全ての保育者※ ¹ を対象とした研修の実施 ・ 現場のニーズや県における課題等に対応した研修内容・方法の充実	県
○ 幼稚園教諭一種免許状認定講習の開設 ・ 幼稚園教諭二種免許状を保有する教員が幼稚園教諭一種免許状を取得するための認定講習を開設することで、受講機会を拡大	県
拡 幼児教育アドバイザー等による幼児教育・保育施設※ ² の訪問支援 ・ 乳幼児期の教育及び保育、特別支援教育等に関する専門的知見や豊富な実践経験を有する幼児教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を配置	県
■ 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進	
○ 小学校区を単位とした保幼小連携体制の推進 ・ 小学校区の中で、合同保育・授業等による子ども同士の交流活動や保育者と小学校教員の合同研修会等の計画的、継続的な実施	県・市町・ 幼児教育・ 保育施設・ 小学校
○ 大学、関係機関等との連携による調査研究の実施 ・ 幼児教育・保育施設と小学校での架け橋期における教育及び保育の内容の充実と接続のカリキュラムの開発、実践、検証、改善	県・市町・ 幼児教育・ 保育施設・ 小学校
拡 幼児教育・保育長期研修の実施 ・ 保幼小連携の推進役を育成するため、小学校教員を保育所・幼稚園・認定こども園に1年間派遣（R5年度3人） ・ 市町教育委員会との連携による派遣教員の研修成果の還元と普及	県・市町・ 幼児教育・ 保育施設・ 小学校
■ 子育て支援の推進と地域協育ネットの活用	
○ 地域協育ネットを活用した家庭教育支援 ・ 保護者向けリーフレットの活用促進や家庭教育出前講座の実施促進、継続的な家庭教育支援の推進	県・市町・ 幼児教育・ 保育施設・ 小学校

※1 保育者：保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

※2 幼児教育・保育施設：保育所、幼稚園、認定こども園等

取組の現状

p-d-Check-a

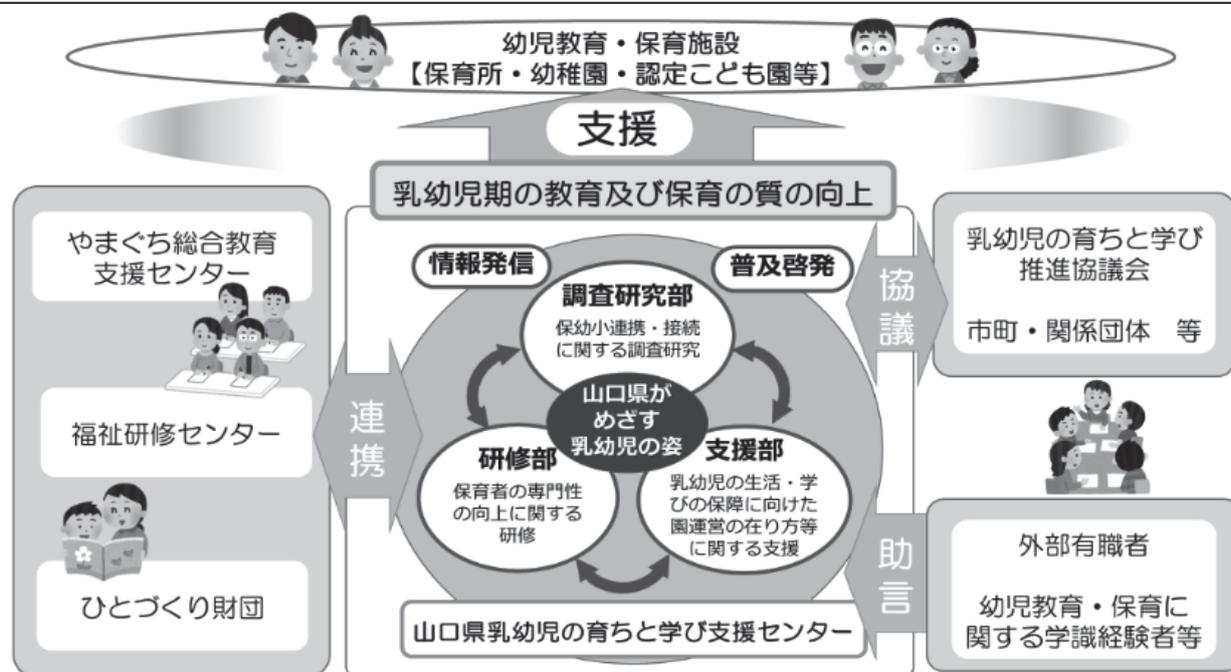
※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
スタートカリキュラムの改善に向けて幼児教育・保育施設との意見交換や合同の研究の機会などを設けている公立小学校の割合	78.8% (2022年度)	100%

取組の推進に向けて

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」

乳幼児期の教育及び保育の内容・指導方法等に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



幼児教育アドバイザー等による支援

「山口県新たな時代の人づくり推進方針」の策定を契機に、乳幼児期の教育及び保育の更なる質の向上を図るため、幼児教育・保育施設からの要請に応じた訪問等を実施

- 乳幼児期における教育及び保育、特別支援教育等に関する専門的知見や豊富な実践経験を有する幼児教育アドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を配置
- 園内研修の充実、幼児教育・保育施設の課題解決等に向けた助言

幼児教育・保育長期研修の実施

小学校教員を保育所・幼稚園・認定こども園に1年間派遣し、乳幼児期の育ちや学びを踏まえた小学校低学年での指導の在り方について研修し、本県における保幼小連携指導の推進に資する人材を育成

- 平成16年度から実施し、令和4年度までに76人の教員を派遣
- 研修後の成果還元
 - ・ 小学校低学年における指導や教育課程の工夫改善
 - ・ 保幼小連携研修会等での指導

各地域での保幼小連携の推進役

13 少人数教育の推進

【取組方針】

- ◆ 少人数教育のさらなる推進に向けて、国の動向等を踏まえ、これまでの少人数学級化や少人数指導の取組の成果と課題の検証を行い、市町教委と連携し、子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導体制の充実を図る。
- ◆ 「小1プロブレム」解消のための30人学級加配教員配置を行い、取組の成果を全県に普及する。

【主な取組】

(担当課：義務教育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 小・中学校における効果的な少人数学級化の実施		
○ 小・中学校におけるきめ細かな指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 35人学級化の実施（小・中1） ・ 各学校における取組の成果の検証及び検証結果を踏まえた指導方法・指導形態等の工夫改善 	県・市 町・学校 (小中)	
○ 「小1プロブレム」解消のための30人学級加配教員配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小1プロブレム」等の課題の解決を積極的に行う大規模校に対して、30人学級加配教員を配置し、取組の成果を全県に普及 	県・市 町・学校 (小)	
■ 少人数指導（複数教員による指導・学習集団の編成）の充実		
○ 学習形態や指導方法の検証と工夫改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の習熟度等に応じた指導方法を工夫することにより、児童生徒一人ひとりの能力・適性や進路希望に応じたきめ細かな指導を推進 	県・市 町・学校 (小中)	
○ 教員の授業力向上と児童生徒の学力向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町教委と連携した地域内の学校への計画的な訪問 	県・市 町・学校 (小中)	

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値〔全国〕	目標値
勉強が「好き」「どちらかといえば好き」である児童生徒の割合（公立小・中学校）	小 60.7% [60.9%] 中 62.8% [60.0%] (2022年度)	増加させる

総合的・計画的な施策の推進

学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

施策

- 14 地域連携教育の充実
- 15 家庭教育支援の充実
- 16 社会教育施設等を活用した教育の充実

注 各施策の【主な取組】における下線を引いた箇所（「〇〇〇〇」）は、県教委が作成した資料を示しています。また、【取組の推進に向けて】の〈県参考資料〉には、県教委が作成したその他の資料を示しています。

なお、関連資料を閲覧するためのURLや二次元コードが掲載されている場合がありますが、情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

14 地域連携教育の充実

【取組方針】

- ◆ 小・中学校では、コミュニティ・スクールが核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、子どもたちの学びや育ちを見守り支援していく「やまぐち型地域連携教育」の取組を充実させることにより、子どもたちの自己肯定感や郷土愛等の意識を高める。
- ◆ 高等学校・特別支援学校等では、地域協育ネットとの緩やかなつながり及び社会との連携を通じて、学校運営、教育活動の質の向上を図っていく「やまぐち型社会連携教育」の取組を充実させることにより、生徒一人ひとりの自己実現と社会に参画する態度の育成、共生社会の実現をめざす。
- ◆ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「やまぐち型地域連携教育」と「やまぐち型社会連携教育」が一体となった「山口県の地域連携教育」をさらに推進することにより、社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の充実を図る。

【主な取組】

(担当課：地域連携教育推進課／義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室)

主な取組と内容		実施主体
■ 全県的な推進体制の強化		
○ 推進の核となる協議会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の施策の充実や改善について協議する「山口県地域連携教育推進協議会」の開催（委員構成：学識経験者、市町教育長代表、保・幼協会、社会教育関係団体代表等） ・ 地域連携教育の充実に向けた研修及び協議を行う「地域連携教育担当者研修会」「地域連携教育担当者合同研修会」の開催 	県・市町	
○ 活動充実に向けた普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域連携教育の再加速に向けた取組の成果を発表し、小・中・高校生と地域・社会の大人との交流を行う「地域連携教育再加速フォーラム」の開催（対象：地域住民、保護者、教職員等） ・ 地域連携教育に係るリーフレット等の作成・配布及び取組事例の紹介資料の作成・周知 ・ 広報テレビ番組「はつらつ山口っ子」等を活用した情報発信 	県・市町	
■ 推進の核となる人材の配置・養成		
■ 地域連携教育再加速化サポートチームによる推進体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町立学校と県立学校の連携・協働をコーディネートするCSチーフを配置し、地域連携教育再加速化サポートチームによる推進体制を構築 	県・市町・学校	
■ CSサポーターの配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校等からのニーズに応じて、大学・企業・関係機関等、広く社会の教育資源とのコーディネート等を行うCSサポーターの配置 	県・市町・学校	
○ 地域学校協働活動推進員の活動充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区における学校間の連携や地域の支援者との連絡調整等を行う地域学校協働活動推進員の活動の充実 ・ 「地域学校協働活動推進員ハンドブック」の活用 ・ 地域学校協働活動推進員の活動拠点設置のための情報提供や相談対応 	県・市町	
○ コーディネーター等に必要な知識・技能等を身に付ける講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーターとして必要な知識・技能等を身に付ける「地域協育ネットコーディネーター養成講座」の開催（7回） ・ 地域学校協働活動推進員等として高いスキルを身に付ける「地域協育ネットコーディネーターステップアップ講座」の開催（4回） 	県・市町	
○ 教職員や地域住民等を対象とした研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携教育の取組を効果的に推進するためのマネジメント力向上を目的とした管理職研修の実施（動画配信によるオンライン研修として実施） ・ 地域連携教育担当教職員と地域学校協働活動推進員等の資質向上及び連携強化に向けた研修の実施 ■ 全ての教職員と学校運営協議会委員等の資質向上及び連携強化に向けた校内研修を実施（令和7年度末までに実施） ・ 「熟議サポート事業」の実施 	県・市町	
■ 地域資源を活用した、子どもたちのふるさとを愛する心の育成		
○ 地域と連携・協働する活動に主体的に参画する児童生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の学校運営協議会等への主体的な参画の促進 ・ 児童生徒の意見を取り入れた地域学校協働活動の推進 	県・市町・学校	

	<p>新 県内7地区のモデル校において、子どもが主体となり、地域の人と人をつなげ、子どもも大人も学び合う活動を実施し、取組事例を普及</p> <p>○ 「学校・地域連携カリキュラム」の活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとの自然や歴史、産業等、地域資源を生かしたふるさとのよさや魅力を実感・再発見する教育活動の推進 ・ 育成をめざす資質・能力や学校と地域が連携・協働する活動を整理した「学校・地域連携カリキュラム」を見直す仕組みづくり及び地域との連携による活用の促進 	<p>県・市町・学校 (小中)</p>
<p>■ 多様な人材の参画による地域ぐるみの活動の推進</p>	<p>○ 多様な人々による熟議・協働活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちや地域住民が集い、学校や地域の課題の解決に向けた熟議・協働活動を実施 <p>○ 地域協育ネットの取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な体験活動等の事例提供を通じた取組の促進 <p>○ 地域ぐるみの組織的な活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議・研修会を活用した関係団体等への啓発 <p>○ 地域における教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等における多様なプログラムや地域未来塾による教育活動の充実 ・ 地域社会と連携した高校生スキルアップ事業の実施 	<p>県・市町・学校 県・市町・学校 (小中高)</p>
<p>■ 放課後子ども教室の充実と放課後児童クラブとの連携促進</p>	<p>○ 放課後子ども教室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町行政担当者を対象とした研修会の開催 ・ 高校生ボランティアを活用した運営の充実 <p>○ 放課後児童クラブとの連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校区ごとの協議会の実施促進 ・ 「教育支援員等研修会」の開催 	<p>県・市町・学校 (小中高) 県・市町・学校(小)</p>
<p>■ 地域の活性化に貢献する、高校ならではの取組の推進</p>	<p>新 やまぐち型社会連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域協育ネットの仕組みを生かしながら、学校・学科の特色や専門性に応じて広く社会と連携する高校ならではの取組を推進 ・ 「総合的な探究の時間」等の教育課程内における、地域・社会と連携した学習活動の推進 	<p>県・学校(高)</p>
<p>■ 総合支援学校における地域とともにあるコミュニティ・スクールの取組の充実</p>	<p>○ 総合支援学校間の連携を強化し、地域との交流活動を活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支援学校の教育課程と関連付けた、作業製品の販売、喫茶サービス、障害者スポーツ等の体験活動の充実 <p>○ 小・中・高等学校と連携した取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・社会とのつながり強化のため、総合支援学校と小・中・高等学校のコミュニティ・スクールと連携した交流及び共同学習を推進 	<p>県・学校(特) 県・市町・学校</p>
<p>■ 地域への障害に関する理解促進</p>	<p>○ 芸術等を通じた交流活動の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民とのふれあいを促進するため、障害のある児童生徒による芸術作品展や作業製品販売等を一体的に実施する「特別支援教育フェスティバル」の開催 	<p>県・学校(特)</p>

取組の現状

p-d-Check-a

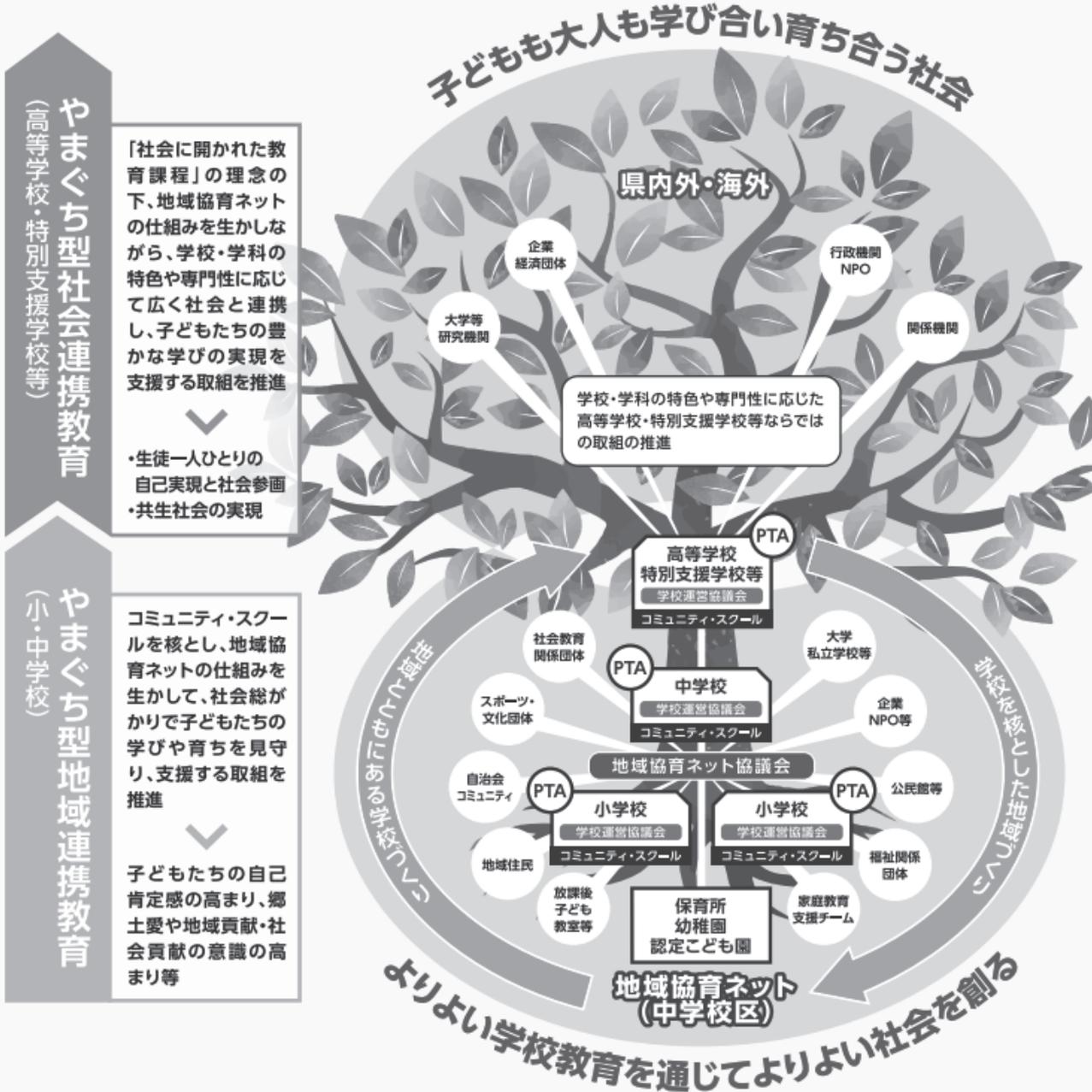
※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 54.4% 中 46.4% (2022年度)	小 60.0% 中 60.0%
地域と小・中学校を通じた「学校・地域連携カリキュラム」の策定数	—	各中学校区で1以上
地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数(累計)	541人 (2022年度)	600人
コミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決に取り組んだ県立高校等の割合	100% (2022年度)	100%
近隣の小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組を実施した総合支援学校数	10校 (2022年度)	全12校での実施をめざす

社会総がかりによる 「地域教育力日本一」の取組の推進

社会に開かれた教育課程の実現に向けた「山口県の地域連携教育」の更なる推進

～義務教育・高等学校教育の各段階を通じて、全県的な規模で、学校と家庭、地域・社会の連携・協働による取組を充実～



やまぐち型社会連携教育
(高等学校・特別支援学校等)

「社会に開かれた教育課程」の理念の下、地域協育ネットの仕組みを生かしながら、学校・学科の特色や専門性に応じて広く社会と連携し、子どもたちの豊かな学びの実現を支援する取組を推進

生徒一人ひとりの自己実現と社会参画
共生社会の実現

やまぐち型地域連携教育
(小・中学校)

コミュニティ・スクールを核とし、地域協育ネットの仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する取組を推進

子どもたちの自己肯定感の高まり、郷土愛や地域貢献・社会貢献の意識の高まり等

山口県の地域連携教育

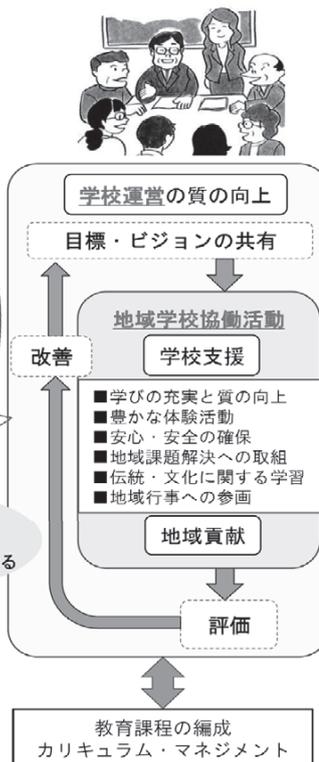
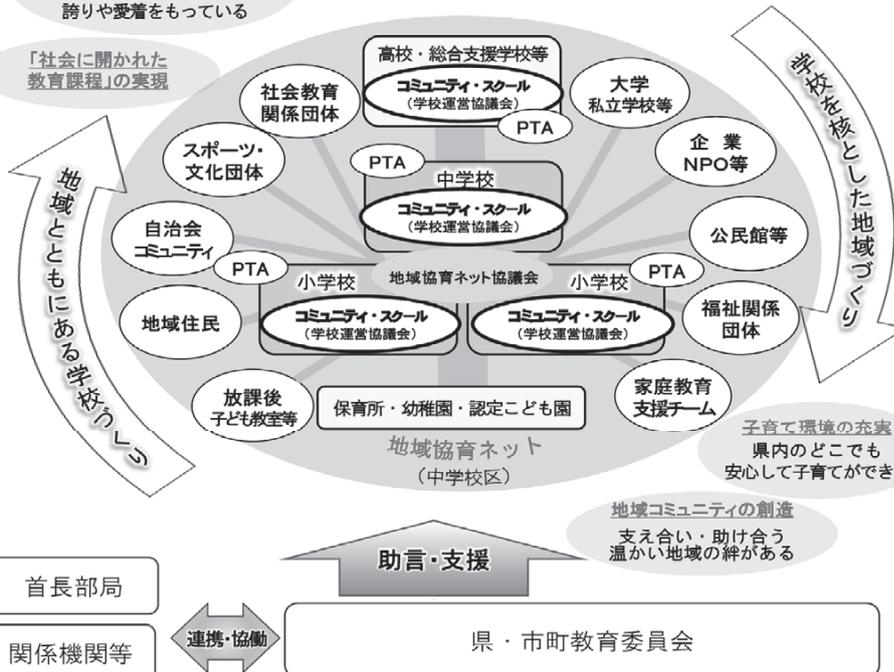
人づくりと地域づくりの好循環の創出をめざして、コミュニティ・スクールと家庭、地域住民、企業・大学等の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子どもの豊かな学びや育ちを実現していく教育

「やまぐち型地域連携教育」の推進

コミュニティ・スクールを核とした地域のネットワークの強化による
人づくりと地域づくりの好循環の創出

地域の担い手の育成
子どもがふるさとに
誇りや愛着をもっている

「社会に開かれた
教育課程」の実現



「やまぐち教育応援団」

子どもの教育活動を支援する県内事業所や団体、地域の人材を認証・登録し、
子どものキャリア教育、体験・学習活動の充実・活性化を図っている。

総合支援学校におけるコミュニティ・スクールの推進

一人ひとりの心がつながる「共生社会」の実現

総合支援学校を核とした
インクルーシブ教育システムの構築

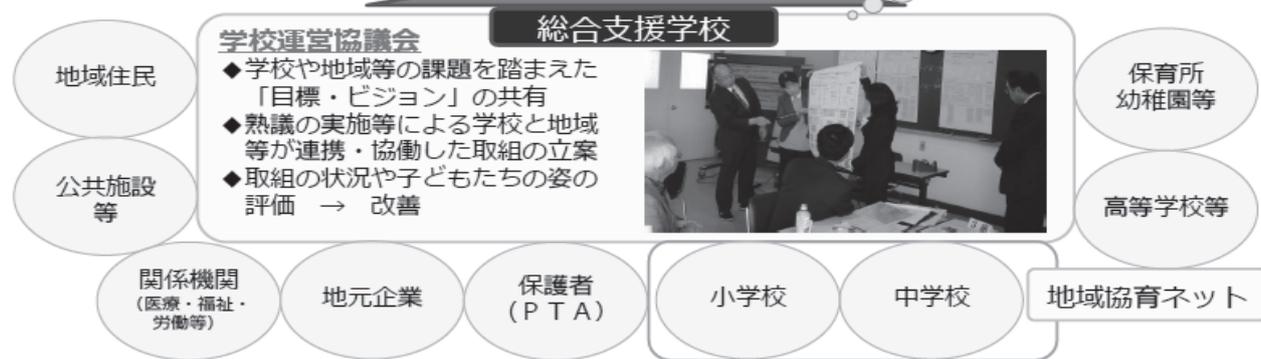
障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加
に向けた「生きる力」の育成

障害のある幼児児童生徒への理解の
一層の推進

【「伸ばし」、「支え」、「広がる」特別支援教育の推進に向けたコミュニティ・スクールの取組例】

- ◆小・中・高等学校等との交流及び共同学習の計画的な実施
- ◆地域住民等を対象としたカフェの開催（地元企業等との連携を含む）
- ◆地域の公共施設等と連携した進路支援、作業学習の実施
- ◆地域の自治会等と連携した合同避難訓練の実施

「つながり」と「広がり」
顔の見える関係づくり



15 家庭教育支援の充実

【取組方針】

- ◆ 「家庭の元気応援キャンペーン」の展開や保護者向けリーフレット（幼児期版、小中版）の活用を通じ、家庭教育に関する意識啓発・情報提供を推進するとともに、家庭教育支援チーム員等の協力を得ながら、保護者等を対象とした学習機会の一層の充実を図る。
- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、地域における家庭教育支援チーム等による相談・支援体制を充実するとともに、専門機関による相談・支援の充実を図る。

【主な取組】

（担当課：地域連携教育推進課/やまぐち総合教育支援センター）

主な取組と内容		実施主体
■ 意識啓発・情報提供の推進		
○ 「やまぐち家庭教育支援強化月間」（10月）等による「家庭の元気応援キャンペーン」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまぐち家庭教育支援強化月間」を中心に、関係機関等と連携した普及啓発活動の実施 	県・市町・学校	
○ 保護者向けリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」等を通じた家庭における取組の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭教育5つのポイント」の周知 ・ 「家庭の日」（毎月第3日曜日を標準）の取組の推進 ・ 「わが家のやくそく大作戦」の実施による家庭における取組の促進 ・ 広報テレビ番組「はつらつ山口っ子」等を活用した情報発信 	県・市町・学校	
■ 保護者等への学習機会の提供		
○ PTAや企業等を対象とした家庭教育講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育アドバイザー等と連携した家庭教育出前講座の実施 	県・市町・学校・団体	
○ PTA活動の活性化に向けた指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県PTA指導者研修会の開催（1回） 	県・団体	
○ おやじの会の活動を通じた保護者等の学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県おやじの会連絡会」等が主催する「おやじの学校」への協力 	団体・県・市町	
■ 地域における相談・支援体制の充実		
○ 身近な地域で家庭への教育支援を行う体制づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ PTAと連携した家庭教育支援のリーフレットを通じた啓発 ・ 家庭教育支援チームによる支援の充実（連絡会議の開催、アウトリーチ型家庭教育支援^{※1}の推進等） ・ 「やまぐち型家庭教育支援チーム^{※2}」の設置促進 	県・市町	
○ 市町と連携した家庭教育支援者の養成・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「PTA家庭教育リーダー研修会」の開催（2回） ・ 「家庭教育アドバイザー養成講座」の開催（7回） ・ 「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」の開催（4回） ・ 「家庭教育支援員等合同研修会」の開催（1回） 	県・市町	
■ 専門機関による相談・支援の充実		
○ やまぐち総合教育支援センターでの相談・支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもと親のサポートセンター」に配置しているSSWによる支援体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化 	県	

※1 アウトリーチ型家庭教育支援：保護者の居場所（自宅や学校、企業等）に出向いての情報提供や相談対応等、届ける支援

※2 やまぐち型家庭教育支援チーム：概ね中学校区で学校等と連携しながら、地域の実情に応じた家庭教育支援活動を行うチーム

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置率	全中学校区の 38.0% (2022年度)	全中学校区の 50%

取組の推進に向けて

「家庭の元気応援キャンペーン」の展開

キャンペーンスローガン

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び
みんな仲良く今日も元気！」

「やまぐち家庭教育支援強化月間(10月)」での学校や協賛企業・団体等による取組の促進や、保護者向けリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」の活用による「家庭教育5つのポイント」の周知等、「家庭の元気応援キャンペーン」の全県的な展開を推進する。

「家庭教育5つのポイント」

- ① 基本的な生活習慣を身に付けましょう
- ② 家庭での学習習慣を身に付けましょう
- ③ ルールを守りマナーを身に付けましょう
- ④ 家族のふれあいを大切にしましょう
- ⑤ 地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう



家庭の元気応援キャンペーン
マスコットキャラクター「ファミリン」

「わが家のやくそく大作戦」への取組を促進

夏休み・冬休み前に案内を配付し、基本的な生活習慣や手伝いの定着、生活リズムの向上等に向けた家庭での取組を促進するとともに、学校・家庭・地域が連携した組織的な取組を広げる。

「わが家のやくそく大作戦」

親子で決めて夏休みや冬休みに実践した「わが家のやくそく」の効果的な活用による家庭教育支援の充実



家庭教育出前講座の開催

就学時健康診断や一日入学、PTA研修会等、多くの保護者が集まる機会を捉えて、家庭教育アドバイザー等と連携した家庭教育出前講座を実施する。

保護者同士が気軽に話し合えることができる参加体験型の講座を提供することにより、保護者の子育てに関する不安や悩みの軽減を図る。



PTAを対象とした家庭教育出前講座

地域における相談・支援体制の充実

○ 家庭教育支援チームによる支援の充実

全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるように、地域協育ネットの仕組みやPTA組織のネットワークを生かし、概ね中学校区において、家庭教育アドバイザー、PTA、地域の子育て経験者等の地域人材で編成された「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置を促進し、学校のコミュニティルーム等を拠点として、学習機会の提供や親子参加型行事の実施、相談対応、情報提供等の支援活動を展開する。

○ 市町と連携した家庭教育支援者の養成・活用

家庭教育アドバイザーを養成する講座を実施し、家庭教育アドバイザーとしての実践力や資質向上を図り、地域における家庭教育の支援活動を一層推進する。



「やまぐち型家庭教育支援チーム」ガイドライン



地域連携教育推進課のウェブページからダウンロードできます。

16 社会教育施設等を活用した教育の充実

【取組方針】

- ◆ 子どもたちの体験活動充実のため、「島じゅうキャンパス」チャレンジ&エコツアー・「AFPY」など特色ある取組を推進するとともに、専門的な知識や技能を身に付けた体験活動指導者の養成や指導力の向上に継続的かつ計画的に取り組む。
- ◆ 山口図書館や山口博物館などが実施する展示・講座等において、それぞれの施設が有する人材や資料を学校や地域の教育へ活用し、多様な学習機会を提供する。

【主な取組】

(担当課：地域連携教育推進課/学校運営・施設整備室)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校と青少年教育施設・地域が連携した体験活動の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「島じゅうキャンパス」チャレンジ&エコツアー※¹「AFPY」※²等の特色ある体験活動プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> 新 小学生、中学生を対象とした長期自然体験活動及び短期エコツアーの実施（周防大島町の山城及び海域周辺） 新 高校生、大学生の参画及び地域・企業等との連携・協働による推進体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や地域の社会教育関係団体等でのAFPYに関する講座等への支援 ○ 体験活動の核となる指導者や支援する人材の育成や実践事例の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐちアドベンチャーキャンプ指導者研修会の実施 新 体験活動ボランティア養成研修会の実施（各青少年自然の家） <ul style="list-style-type: none"> ・ AFPYの手法を学ぶ研修会（年3回）の実施 ・ AFPYアドバイザーによる出前講座の実施及び相談支援 ・ ウェブページによるAFPY実践事例集、アクティビティ集等の資料提供 	県
■ 山口図書館、山口博物館、文書館における取組の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各施設の展示、講座等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土文学に関する企画展等の実施（山口図書館） ・ 特別展「やまぐち 大考古博」（7/21～9/3 山口博物館） ・ 「サイエンスやまぐち2023」（10/27～11/12 山口博物館） ・ 「アーカイブズウィーク」（6月初旬 文書館） ・ 各施設の所蔵資料の展示や、学芸員・専門員等による講座等の実施 ○ マルチメディアデイズ※³図書を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉関係団体等との連携による普及啓発や利用促進 ○ 電子図書館サービスの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提供する電子書籍の充実（山口図書館） ○ 学校や地域のニーズに対応した体験型学習プログラムの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口博物館と学校、地域の連携による出前授業や社会見学等の実施 ○ デジタル技術を活用した鑑賞機会の拡大や学校等における学習活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館・文書館が所蔵する文化資源をデジタル化するとともに、デジタルデータを活用した魅力的なコンテンツの提供等により鑑賞機会を拡大（山口博物館・文書館） ・ 展示室等とライブ中継で結んだオンライン授業の実施による学習活動への支援（山口博物館） 	県

※1 「島じゅうキャンパス」チャレンジ&エコツアー

世界的な冒険教育機関であるOBS（Outward Bound School）の手法を取り入れ、野外活動とカウンセリングを組み合わせる個人や集団の成長を図る野外教育活動である「やまぐちアドベンチャーキャンプ」と、高校生・大学生が企画し、地域団体や企業等の連携・協働によって具現化する短期の体験エコツアーを組み合わせたプログラム

※2 「AFPY」Adventure Friendship Program in Yamaguchi の略

他者と関わり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方や行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法

※3 「マルチメディアデイジー」

視覚障害や学習障害などで読むことが困難な方のための、パソコン等により文字・音声・画像を同時に再生できる図書「マルチメディアデイジー図書」の国際規格(デイジー(DA I S Y)はDigital Accessible Information System(誰もが使いやすい情報システム)の略)

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
AFPYアドバイザーの活動回数	440回 (2021年度)	2,160回 (2018～2023年度)
山口博物館における「博物館学校地域連携教育支援事業※4」の利用者数	15,341人 (2021年度)	180,000人 (2018～2023年度)

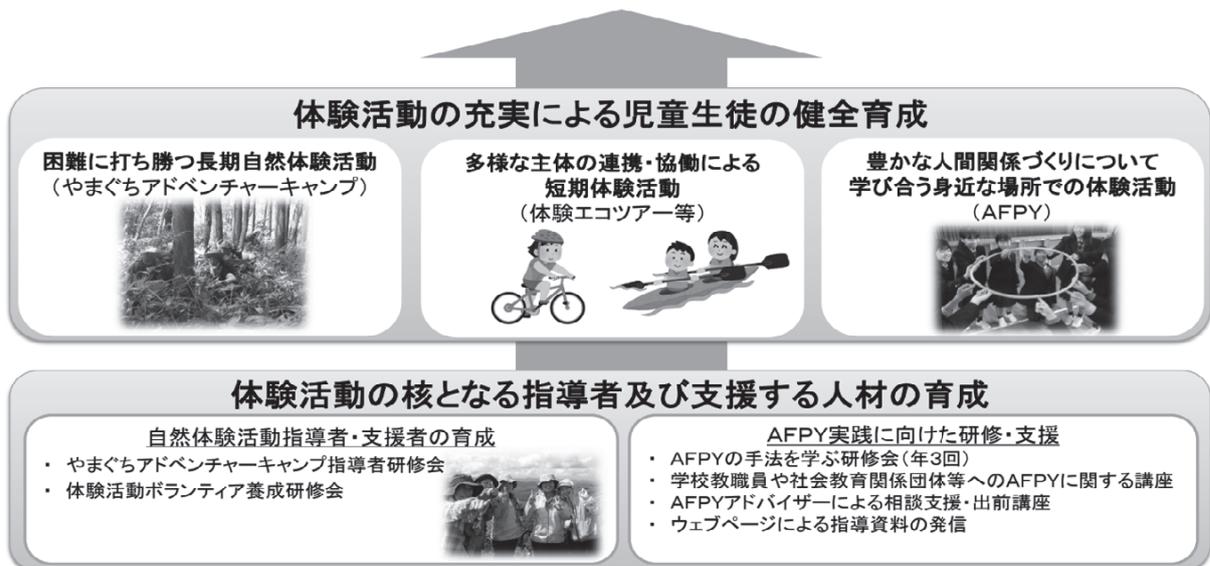
※4 「博物館学校地域連携教育支援事業」

博物館が所蔵する本物の教材を活用して、学校・地域の学習を支援する事業。出前授業、館内授業、社会見学、職場体験等があり、小・中学校から博物館に派遣されている長期研修教員が主に対応

取組の推進に向けて

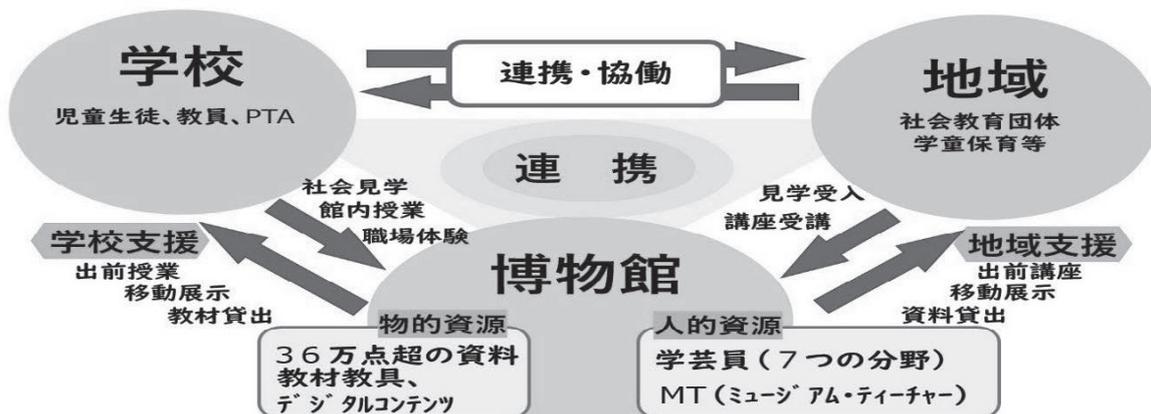
<体験活動の推進>

子どもたちの非認知能力(自己肯定感、自律性、協調性、積極性等)の向上をめざした体験活動の推進



<博物館と学校・地域との連携の推進>

博物館 学校 地域 連携教育のイメージ



総合的・計画的な施策の推進

生涯を通じた学びの充実

施策

- 17 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- 18 地域社会における人権教育の推進
- 19 地域とともにすすめる文化財の保存・活用
- 20 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進
- 21 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

注 各施策の【主な取組】における下線を引いた箇所（「〇〇〇〇」）は、県教委が作成した資料を示しています。また、【取組の推進に向けて】の〈県参考資料〉には、県教委が作成したその他の資料を示しています。

なお、関連資料を閲覧するためのURLや二次元コードが掲載されている場合がありますが、情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

17 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

【取組方針】

- ◆ 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、学習情報の提供体制の充実や多様な学習機会の提供を進めるとともに、学習成果を社会生活に生かす活動を促進するなど、生涯学習を総合的に推進する。

【主な取組】 （担当課：地域連携教育推進課/学校運営・施設整備室/総務部学事文書課）

主な取組と内容	実施主体
■ 生涯学習情報の提供体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」による学習コンテンツや講座情報等の提供及び登録情報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町からの情報入力・更新の促進による検索用の情報、新着ニュース、「山口県子どもホームページ」等の登録情報の充実 ・ 市町の生涯学習活動関係者等を対象とした研修会の実施 ・ 各種研修会等によるシステム周知の徹底 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口図書館の図書館ネットワークシステムによる蔵書データの提供、利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口図書館の「図書館ネットワークシステム」による蔵書検索システムの提供 	県
■ 多様な学習機会の提供や活用促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口県セミナーパークや山口図書館・山口博物館・文書館等における学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座や展示等の充実 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、NPO等による公開講座や体験学習の情報提供とその活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学やNPO等との連携強化 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口県の先人に関する学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先人学習コーナー（セミナーパーク内）及びウェブページによる先人紹介コンテンツの提供や関係書籍の整備 ・ 地域や学校に応じた道徳学習等による出前講座の実施 	県
<ul style="list-style-type: none"> 新 視覚障害者等の読書環境の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口図書館及び点字図書館と連携したアクセシブルな書籍・電子書籍の周知と利用に関する支援の充実 	県・市町
■ リカレント教育の推進に向けた環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立大学における社会人を対象とした教育機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職のためのリカレント教育の充実や、地域・企業のニーズを踏まえた教育プログラムの提供 	学校（県大）
■ 学習成果を生かす活動の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域貢献や学校支援等のボランティア活動に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」によるボランティア情報の提供 	県・市町

○ ボランティア意識を高める啓発と学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとづくり・地域づくりフォーラム等におけるボランティアの活用 ・ 生涯学習に関する学習相談の対応 	県・市町
生涯学習推進のための人材育成	
○ 社会教育主事有資格者及び社会教育士等、生涯学習の推進に寄与する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者養成・人材育成を目的とした講座の開設 ・ 社会教育主事講習受講への支援 	県

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」情報登録件数	84,690 件 (2021 年度)	85,000 件
社会教育主事有資格者養成数 (5 年平均)	19.2 人 (2022 年度)	30 人

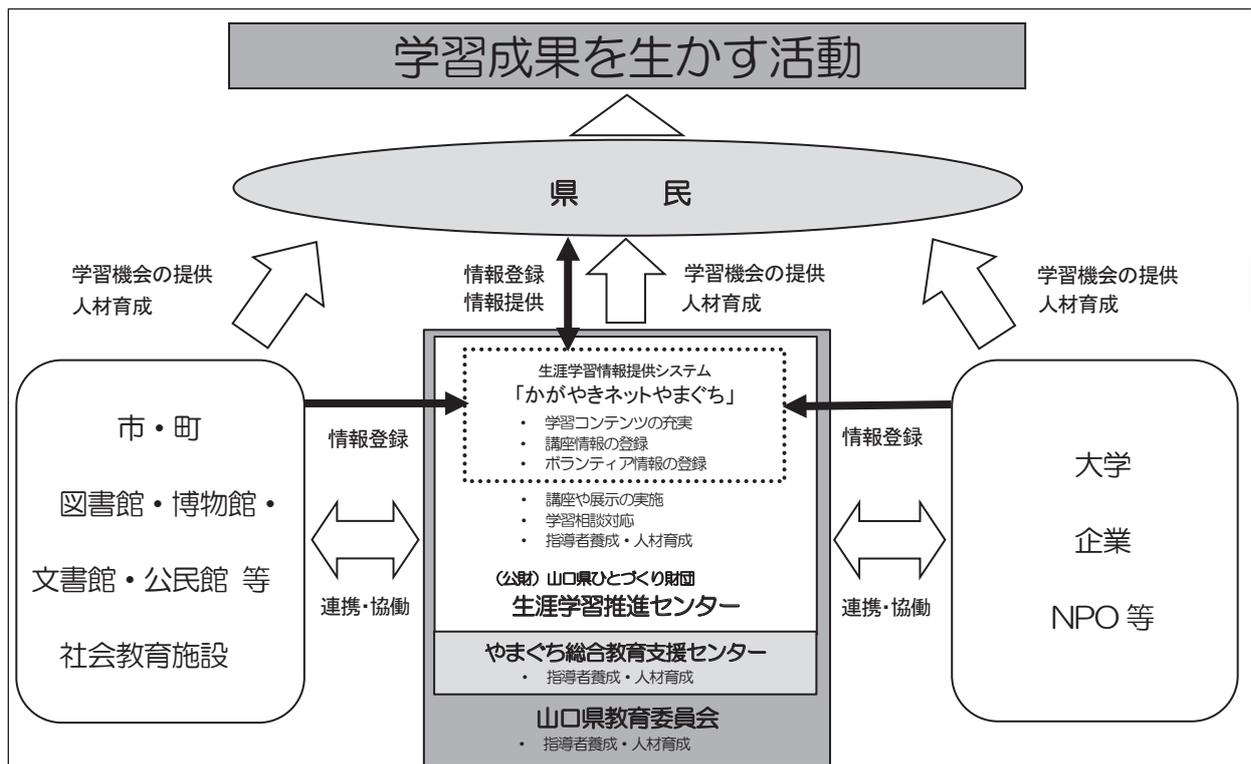
取組の推進に向けて

1 基本的な考え方

県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する。

- (1) 生涯学習情報の提供体制の充実
- (2) 多様な学習機会の提供や学習情報の活用促進
- (3) 学習の成果を生かす活動の推進

2 推進のイメージ



18 地域社会における人権教育の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づいて、人権尊重の意識と自主的な取組の高まりをめざし、市町との一層の連携を図る。
- ◆ 指導者の養成に努めるとともに、職場を含めた地域社会における学習機会の充実や市町の実態（学習者のニーズや地域社会の課題等）に即した取組を推進する。

【主な取組】

(担当課：人権教育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 地域社会における自主的な取組への支援		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町等が開催する研修等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町等における研修の工夫改善に向けた情報の共有、提供 ・ 人権が尊重された職場づくりに向けた事業所等における取組の充実 ・ 人権教育を推進するための講座開設事業への支援 ○ 学校、家庭、地域社会が連携・協働した人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育総合推進地域事業（文部科学省委託事業）による学校、家庭、地域社会が連携・協働した実践研究の実施及び好事例の収集・発信 ・ コミュニティ・スクールとして家庭や地域社会との連携・協働を基盤とした人権に関する学習機会を充実 	<p>県・市町・学校</p>	
■ 人権教育指導者の養成		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会において中核となる指導者の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会の企画・運営等に必要スキルの向上をめざし、人権教育に係る市町の担当者や社会教育関係者等を対象とした研修を計画的に実施 ・ 情報交換等による、指導者間のネットワークの強化 	<p>県・市町</p>	
■ 人権に関する資料の整備と活用の促進		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的人権に関する理解を深めるための資料や情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」等の活用の促進 ・ 様々な人権課題に関する法律や施策等についての情報提供 ○ 視聴覚資料等の整備と活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴覚資料の研究と整備 ・ 視聴覚資料を活用した効果的な研修内容や研修方法に関する研究と実践事例の紹介 	<p>県・市町</p>	

取組の現状

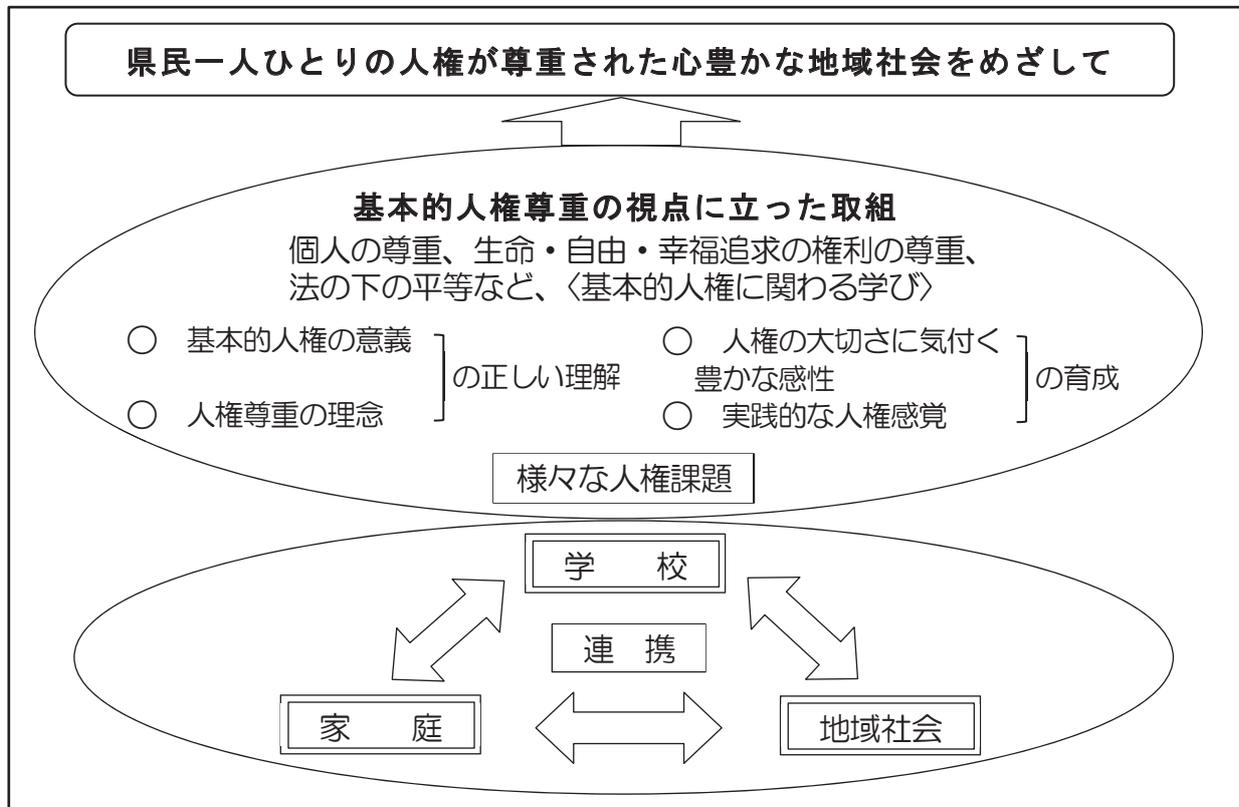
p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
地域社会における人権教育の指導者養成に係る県教委主催の研修会の受講者数（年間）	279人 (2022年度)	320人以上

取組の推進に向けて

職場を含めた地域社会における学習機会の充実により、地域社会における人権尊重の意識と自主的な取組の高まりをめざす。



地域社会における学習機会の充実（例）



ふるさとのことを大切に思う子どもを育成するために、地域住民と子どもたちが、地域の伝統食についての歴史を学んだり、実際に調理をしたりするなどの活動を行うことで、地域に対する互いの思いを通わせる機会となりました。



地域の活性化のために活動する方と地域の子もたちが、共同でベンチの補修作業を行う活動を通して、地域を大切にしようという様々な思いに触れ、地域全体でよりよいまちづくりを实践することの大切さに気付く機会となりました。



ICTを活用して学校と公民館とをオンラインで結び、小・中学校の文化祭の様子を地域住民に発信することで、地域の子もたちに対する理解を深め、地域社会、学校などが一体となって、子どもたちを見守る体制の充実を図りました。

19 地域とともにすすめる文化財の保存・活用

【取組方針】

- ◆ 豊かな伝統や文化財を次世代に確実に継承していくため、世界文化遺産を含む国指定文化財や県指定文化財の適正な維持管理・修復整備に取り組むとともに、これからの時代にふさわしい総合的な視野に立った地域活性化や地域ブランド力向上につながるよう、文化財保存活用大綱に基づいた文化財資源の地域一体での保存・活用に向けた取組を推進する。
- ◆ 新たな世界文化遺産登録に向けた理解増進・情報発信の取組を積極的に推進する。

【主な取組】

(担当課:観光スポーツ文化部文化振興課/学校運営・施設整備室)

主な取組と内容	実施主体
■ 文化財の地域一体での保存・活用	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における総合的な保存活用地域計画等の作成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財保存活用地域計画を作成する市町への支援 ・ 文化財保存活用計画を作成する所有者等への支援 ・ 市町文化財担当課との防災体制等の連携強化 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな文化財の指定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存と活用を促進する文化財の指定 ・ 調査等に基づく新たな文化財の指定 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財の適正な維持管理・修復整備及び活用への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家の指導を踏まえた計画的な維持管理・修復整備及び活用の推進 ・ 無形民俗文化財の伝承と啓発に向けた市町文化財担当課との連携の強化 新 観光素材とするための外部専門家等によるコンサルティング・磨き上げの実施 	県・市町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の資産の管理保全及び理解増進・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 修復・公開活用計画に基づく構成資産の修復・公開活用に対する支援 ・ インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進 	県・市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本遺産の理解増進・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定された日本遺産の情報発信・普及啓発の取組への支援 	県・市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財を活用した学習機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒を対象とした「学べる！文化財講座」の実施 新 児童・生徒を対象とした「文化財体験講座」の実施 ・ 埋蔵文化財センターや市町教委との連携による発掘現場における説明会及び速報展の実施 ・ 所有者及び市町文化財担当課の協力による建造物修理現場の一般公開 ・ 古文書講座・歴史講座及びアーカイブズウィークの開催（文書館） ・ 文化財愛護教室の開催 	県・市町 ・学校・所有者
<ul style="list-style-type: none"> ○ Web等による文化財情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財に関するタイムリーな話題（トピックス）の提供 ・ 無形文化財・無形民俗文化財等に係る行事予定等の情報提供 新 スマートフォンからの情報発信 	県
■ 世界遺産登録の取組の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 錦帯橋の世界文化遺産登録に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による登録に向けた取組の推進 	県・市

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

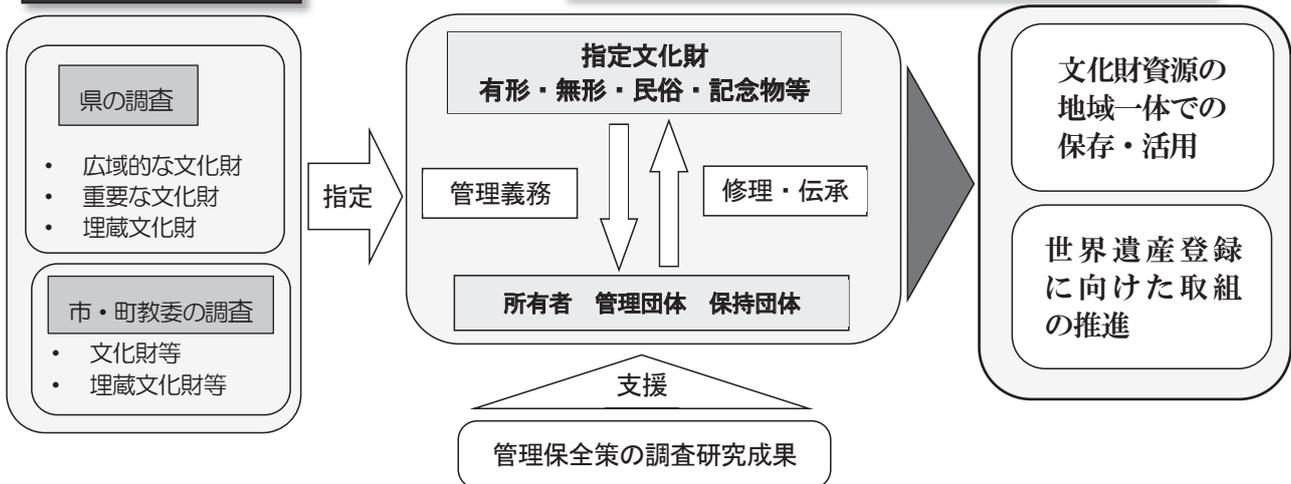
主な指標	最新値	目標値
地域計画等(歴史文化基本構想を含む)の策定件数(累計)	3件 (2022年度)	4件
文化財出前講座の実施校数(累計)	70校 (2018～2022年度累計)	95校 (2018～2023年度累計)

取組の推進に向けて

県内に残る有形・無形の文化財は、地域で醸成された伝統・文化の象徴であり、そこで暮らす人々の誇りとなっている。県はこれら文化財のうち、特に貴重なものを県指定文化財に指定してその保護を図るとともに、市町教育委員会等と連携して、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の保全及び活用、認定された日本遺産の情報発信・普及啓発の取組支援、新たな世界遺産登録に向けた取組を推進することにより、県民の文化財愛護の精神を培う。

未指定文化財調査

地域とともにすすめる文化財の保存・活用



山口県文化財検索システム

「山口県の文化財」

チェック!

検索

- 指定文化財の検索
国・県指定文化財に関する説明を掲載
- 民謡ライブラリー
県内に伝わる民謡を掲載
- 学習サポート
県内の文化財に関する参考情報を掲載



文化財についてもっと知りたい場合は、文化遺産のポータルサイト「文化遺産オンライン」をチェック!

20 文化にふれあい親しむ環境づくりの推進

【取組方針】

- ◆ 郷土に誇りと愛着をもち、豊かな感性や創造力をもった児童生徒を育成するため、学校において優れた文化芸術にふれる機会を提供する。
- ◆ 感動する心を育むため、児童生徒の主体的な文化芸術活動を支援し、文化芸術活動の発表の機会を提供する。
- ◆ 伝統文化を尊重・継承し、地域に根ざした文化芸術活動を活性化するため、県立文化施設等と連携した企画展等を充実させるとともに、児童生徒の文化芸術活動を広く県民等に公開する。

【主な取組】

(担当課：義務教育課／高校教育課)

主な取組と内容	実施主体
■ 学校現場での優れた芸術にふれあう機会の提供	
○ 学校芸術文化ふれあい事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化芸術による子供育成推進事業」等 の実施 ・ 「山口県青少年劇場」(音楽10回、演劇6回、伝統芸能10回)、「山口県巡回ふれあい公演」(音楽7回、演劇6回)、「山口県巡回芸術劇場」(管弦楽4回、合唱2回、演劇6回、雅楽2回、邦楽2回、能楽2回) の実施 	文化庁・学校
■ 文化活動の発表の機会の提供	
○ 県中学校総合文化祭の開催(萩市) <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い分野の文化芸術活動の発表の場を提供(11月4日～5日) 	県・学校(中)
○ 県高等学校総合文化祭の開催(総合開会式：周南市) <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の文化芸術活動の発表の場を提供(5月～11月) 	県・学校(高)
○ 県中学校総合文化祭と県高等学校総合文化祭の交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県中学校総合文化祭において高校生の作品を展示するなど、中学生・高校生相互の交流を促進 	県・学校(中高)
○ 全国総合文化祭への派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「全国中学校総合文化祭」(沖縄県)、「全国高等学校総合文化祭」(鹿児島県)に生徒を派遣し、文化芸術活動の発表の場を提供するとともに、全国の中・高校生との交流を充実 	県・学校(中高)
○ 子どもの文化活動等の機会確保・充実に向けた部活動改革 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関・団体等による「やまぐち部活動改革推進協議会」の開催(新たな体制整備に向けた諸課題の対応についての検討等) ・ 関係者への周知及び理解促進に向けた説明会の開催 ・ 学校部活動の地域連携及び地域移行に向けた県・市町との連携による環境整備 	県・市町・学校
■ 県立文化施設等との連携による企画展や講座等の充実	
○ 美術館等と連携した山口県学校美術展覧会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校の幼児・児童・生徒の優れた造形作品を一般公開 	県・学校

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
学校芸術文化ふれあい事業を活用して、舞台芸術を鑑賞した公立小・中学生の割合（年間）	32.4% (2022年度)	維持・向上させる

取組の推進に向けて

文化芸術の振興のためには、一人ひとりが文化芸術にふれ、親しみ、それぞれの個性や感性を磨きながら、自ら文化のつくり手として、文化芸術活動に主体的に取り組んでいくことが大切である。

県教委としては、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育むための文化環境づくりを、今後一層推進するため、地域や学校において、子どもたちが優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、文化交流を行う場の充実をめざす。

【豊かな感性や創造性の育成・新たな文化の発信】

多彩な文化芸術にふれあう場	子どもが主役となる「創造」と「交流」の場	文化を再発見・再認識する場
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術の鑑賞体験 ○ 優れた文化芸術と芸術家との出会い ○ 取組事例の情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな感性や創造性の育成 ○ 子どもたちが主役となる発表や交流の場の充実 ○ 感動体験の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域文化の継承 ○ 世代を超えた交流 ○ 地域・団体との積極的な交流による学校文化的行事の充実

文化団体



学校

地域

■優れた文化芸術にふれあう機会の提供

- 文化芸術による子供育成推進事業(芸術家の派遣事業等)
- 青少年劇場(本・小公演)(音楽、演劇、伝統芸能)
- 巡回ふれあい公演(音楽、演劇)
- 巡回芸術劇場(管弦楽、合唱、演劇、雅楽、邦楽、能楽)

■文化芸術活動の発表・交流の機会を提供

県中学校総合文化祭 (県中学校文化連盟)

- ☆ 舞台(音楽、科学、演劇、意見発表、英語弁論等)
- 展示(美術、書道、技術・家庭等)
- ☆ 全国中学校総合文化祭への参加

交流

県高等学校総合文化祭 (県高等学校文化連盟)

- ☆ 舞台(音楽4部門、放送、日本音楽、演劇)
- 展示(美術、書道、写真等)
- ☆ 全国高等学校総合文化祭への参加

県総合芸術文化祭

- ☆ メインフェスティバル
- ☆ 各企画への出演・作品応募、観客として参加等

山口県学校美術展覧会

- ☆ 県内の幼児児童生徒の造形作品の展示・鑑賞会

感動体験

豊かな感性・創造力

文化継承

21 「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進

【取組方針】

- ◆ 県民誰もが将来にわたって、主体的にスポーツ活動に親しむ機会を提供するとともに、中長期的な視点に立った計画的な選手・指導者の養成及び競技水準のレベルアップを図る。
- ◆ スポーツ人材を育成するとともに、スポーツのもつ多様な力を活用し、市町が行うスポーツによるまちづくりへの支援や、市町と連携したアウトドアやサイクルスポーツの振興など、交流人口の拡大や地域活性化に向けた取組を促進する。

【主な取組】

(担当課：観光スポーツ文化部スポーツ推進課)

主な取組と内容	実施主体
■ 生涯スポーツの推進	
○ スポーツ活動への参加の促進 ・ ライフスタイルやニーズに応じて気軽に参加できるスポーツイベントの誘致・開催等（働く世代、子育て世代等のスポーツ活動への参加促進）	県・市町・ 団体
○ 地域スポーツ推進拠点の整備 ・ 総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援 ・ 生涯スポーツ推進センターによる活動支援	県・市町・ 団体
○ 健康及び体力の保持増進 ・ 健康づくり・体力づくり等に向けた取組の推進（各種スポーツ教室等の開催）	県・市町・ 団体
○ 障害者スポーツの推進 ・ スポーツに参加しやすい環境づくりの促進と選手育成の体制整備 ・ スポーツを通じた健常者と障害者の交流や障害に対する理解促進 ・ 県・企業・県民一体となった障害者トップアスリートへの支援	県・市町・ 団体
■ 競技水準の向上	
○ スポーツ選手・指導者の計画的な育成・強化 ・ 次世代アスリートの発掘、長期的・計画的な選手・指導者の育成・強化 ・ 循環型指導者育成スタイルの確立	学校・県・ 市町・団体
○ 競技環境の整備 ・ 強化拠点校や企業・クラブチームの活動等に対する支援の充実	学校・県・ 団体
○ スポーツ医・科学の活用 ・ 競技特性や技能、発達段階等を踏まえたサポート体制の充実・強化	県・団体
○ クリーンでフェアなスポーツの推進 ・ 選手、指導者、競技団体等を対象とした各種研修や会議を通じた倫理観や規範意識の醸成（スポーツ・インテグリティの向上）	県・市町・ 団体
■ 人材の育成	
○ 将来を担う人材の育成 ・ スポーツ少年団活動等の活性化や指導者の養成・資質向上に向けた支援	県・市町・ 団体
○ スポーツを支える人材の育成 ・ スポーツ推進委員の資質の向上やスポーツボランティアの養成	県・市町・ 団体

交流人口の拡大と地域の活性化	
○ スポーツを通じた交流人口の拡大と地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな本県ならではのポテンシャルを活かしたキャンプとアウトドアを結び付けた「スポーツフィールドやまぐち」の取組の推進 ・ 交流人口の拡大に向けた「サイクル県やまぐち」の取組の推進 ・ 世界大会等を契機としたトップアスリートとの交流促進 ・ 県内を拠点に活躍するトップスポーツクラブと連携した取組の推進 ・ 市町が実施する「我がまちスポーツ」等の取組への支援 	県・市町・ 団体・企業
○ 施設や設備の充実と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育施設を含む公共施設の施設環境の整備・充実と利活用の促進 	学校・県・ 市町
○ 県民運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民のスポーツ活動への自主的な参加を促進するための県民運動の展開 	学校・県・ 市町・ 団体・企業

取組の現状 **p-d-Check-a** ※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
県民のスポーツ実施率（週1回以上）	38.4% (2022年度)	65.0%

取組の推進に向けて

新やまぐちスポーツ推進プラン2022（令和5年3月策定）

～4つの施策の柱、14の基本施策に基づき取組を推進～

施策の柱	基本施策
I 多様な主体の参画による スポーツの推進	1 スポーツ参画機会の拡大
	2 地域スポーツ推進拠点の整備充実
	3 スポーツによる健康及び体力の保持増進
	4 障害者スポーツの推進
II 競技力の向上	5 アスリート・指導者の計画的な育成・強化
	6 スポーツ医・科学の推進
	7 クリーンでフェアなスポーツの推進
III スポーツ環境の整備	8 新たな県民スポーツの拠点整備
	9 施設や設備の充実と利用促進
	10 地域のスポーツ人材の育成
IV スポーツによるまちづくり・ 地域活性化	11 「スポーツフィールドやまぐち」の推進による新たな交流の創出
	12 トップスポーツクラブ等と連携した魅力発信や交流人口の拡大
	13 オリンピック等世界大会のレガシーの継承・発展
	14 県民運動の展開

総合的・計画的な施策の推進

豊かな学びを支える教育環境の充実

施策

- 22 教育施設・設備の整備、教育環境の向上
- 23 学校安全の推進
- 24 学校における働き方改革の推進
- 25 教職員の資質能力の向上
- 26 校種間連携・一貫教育の推進
- 27 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり
- 28 私学の振興
- 29 修学支援の充実

注 各施策の【主な取組】における下線を引いた箇所（「〇〇〇〇」）は、県教委が作成した資料を示しています。また、【取組の推進に向けて】の〈県参考資料〉には、県教委が作成したその他の資料を示しています。

なお、関連資料を閲覧するためのURLや二次元コードが掲載されている場合がありますが、情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

22 教育施設・設備の整備、教育環境の向上

【取組方針】

- ◆ 学校施設については、「山口県立学校施設長寿命化計画」に基づいた計画的な老朽化対策や、総合支援学校の教室不足対策など、安全で質の高い教育環境の整備を推進する。
- ◆ 本県産業の次代を担う人材を育成するため、専門高校に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を計画的に整備する。

【主な取組】

(担当課：学校運営・施設整備室)

主な取組と内容		実施主体
■ 県立学校の整備		
○ 学校施設の安全で質の高い教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校再編に伴う施設整備(校舎改築、実習棟新設等)、総合支援学校の施設整備(移転整備、産業科棟新築等) ・ 施設の長寿命化改良、非構造部材対策(外壁改修)、空調整備 	県	
○ 産業教育設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な知識・技術を養う「基礎的な設備」と生徒の意欲や興味を引き出し自発的な学習につながる「先端的な設備」の整備 	県	
■ 市町立幼・小・中学校の耐震化等の促進		
○ 学校施設の耐震化・耐震対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎等の耐震化、屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策のできるだけ早期の完了に向けた働きかけ ・ 各市町の課題に応じた助言・技術的支援 	県・市町	
○ 学校施設の老朽化対策など教育環境の改善等の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国補助制度を活用した長寿命化改良、トイレ洋式化、空調整備等の促進 	県・市町	
■ 学校施設の防災機能の強化・充実		
○ 学校施設における防災機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各県立学校における応急対策計画の見直し ・ 避難所に指定された屋内運動場の吊り天井等の落下防止など、非構造部材の耐震対策 ・ バリアフリー化やトイレ改修、空調整備等による防災機能の向上 	県・市町	

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
市町立小・中学校の耐震化率	98.7% (2022年4月)	早期に完了させる
市町立幼稚園の耐震化率	97.6% (2022年4月)	早期に完了させる
長寿命化(個別施設)計画策定率	100% (2022年4月)	100%

23 学校安全の推進

【取組方針】

- ◆ 「第3次山口県学校安全推進計画」に基づいた学校安全3領域（防犯を含む生活安全、交通安全、災害安全（防災））の取組を、総合的かつ効果的に推進し、学校の危機対応能力の強化と、「自助・共助・公助」の力の育成を目的とした安全に関する子どもたちの資質能力の向上を図る。
- ◆ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かして、学校・家庭・地域及び関係機関が一体となった地域ぐるみの学校安全の取組の推進を図る。

【主な取組】

（担当課：学校安全・体育課）

主な取組と内容	実施主体
■ 学校教育活動全体を通じた「安全教育」の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の主体的な安全活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台タブレット端末を活用した安全教育の充実 ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた安全学習に係る授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」の確立を通じた学校安全計画の見直しによる組織的・効果的な安全教育の推進 ・ 日時等を事前に告げないより実践的な避難訓練の実施や、地域の実態に即した危険予測学習（KYT）資料の作成・活用等による実践的な学びの推進 ・ 「学校安全実践事例集」を活用した特色ある取組の周知・意識啓発、各学校での児童生徒の主体的な安全活動の推進 	県・学校
■ PDCAサイクルの確立を重視した「安全管理」の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設・設備の安全点検、通学路点検の確実な実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の教職員や児童生徒・保護者等が参加した学校施設・設備の安全点検通学路点検等、工夫した点検の実施 ・ 「第3次山口県学校安全推進計画」における施策目標の実現に向けた、学校安全取組状況調査などを活用したPDCAサイクルによる見直し及び改善の実施 	学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全計画・危機管理マニュアルの改善と周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大事故の予防のためのヒヤリハット事例や訓練の結果等を踏まえた学校安全計画・危機管理マニュアルの見直し、及び保護者等の関係者への周知 ・ 地域の関係者との日常的な情報交換等による、地域の実情に応じた学校安全管理体制の確立 	県・市町・学校
■ 教職員の資質向上と、総合的な学校安全の取組による「組織活動」の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営において学校安全の推進の中核となる教職員の位置付け <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全の学校経営への明確な位置付けや、学校安全委員会の設置等による校内体制の整備 ・ 中核となる教職員を中心とした学校安全の推進の普及 ・ 「学校危機対応演習資料」や学校安全セーフティライフセミナー（出前講座）、1人1台タブレット端末等を活用した校内研修の充実と教職員の危機管理能力の向上 	県・市町・学校
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全に係る研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全の質と水準の向上を目的とした地域別学校安全推進研修会（県内7地域）の開催 ・ 演習・実技等の実践的な内容を取り入れた、防犯教育・学校事故対応研修会、防災教育研修会の開催 	県・市町・学校

	<p>○ 地域力を活用した通学路の安全を確保する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かして、通学路の安全点検・安全マップづくり等の安全活動を実施(美祢市・阿武町にモデル地域を指定) ・ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かして、警察・危機管理担当部局、学校安全アドバイザー等の専門家と連携した取組を推進 ・ 各種研修会等での啓発による学校とスクールガードの連携強化 	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ 安全意識・能力を育む「防犯を含む生活安全」の推進</p>		
	<p>○ 防犯教室や防犯訓練の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯教室・訓練の実践事例の収集及びウェブページへの掲載 ・ 防犯教育・学校事故対応研修会における、「危険予測学習(KYT)資料集」を活用した演習の実施、各学校での独自資料の作成・活用の促進 	<p>県・学校</p>
	<p>○ 児童生徒の活動による地域安全マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒による安全マップ作成事例の収集及びウェブページへの掲載 	<p>県・学校</p>
<p>■ 自他の命を守る「交通安全」の推進</p>		
	<p>○ 通学路の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県市町教委・警察・道路管理者が一体となって取組を推進する通学路安全対策合同会議の開催 ・ 市町教委が行う通学路の安全点検への学校安全アドバイザー派遣 ・ 交通安全教室の開催や児童生徒の主体的な取組の促進 	<p>県・市町・学校</p>
	<p>○ 自転車乗車時のマナーアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自転車の安心・安全確認テスト」の活用促進 ・ 警察と連携した教職員対象自転車指導者研修会等の実施 ・ 各学校における「危険予測学習(KYT)資料集」を活用した演習の実施、各学校での独自資料の作成・活用の促進 ・ ヘルメット着用の努力義務化に対応した取組の推進 	<p>県・市町・学校</p>
<p>■ 防災対応能力の向上を図る「災害安全(防災)」の推進</p>		
	<p>○ 「防災教育テキスト」等の防災教育教材の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「防災教育テキスト」「危険予測学習(KYT)資料集」「防災クイズ」等の、各学校での効果的な活用の促進 ・ 防災教育研修会等における「危険予測学習(KYT)資料集」を活用した演習の実施、各学校での独自資料の作成・活用の促進 	<p>県・学校</p>
	<p>○ 防災訓練の工夫・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校防災アドバイザーによる防災訓練の実地指導の実施 ・ 「防災訓練事例集」「防災訓練実践集」を活用した実践的な防災訓練事例の周知、学校の立地環境や児童生徒の状況を踏まえた防災訓練の実施 	<p>県・学校</p>
	<p>○ 専門家と連携した取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の防災対応能力の育成を目的とした、大学や高等専門学校、气象台、企業等の専門家による防災出前授業の実施 ・ 災害ボランティア活動への理解を深めることを目的とした、経験者による講演会の実施(小・中・高・特) 	<p>県・学校</p>
	<p>○ モデル地域を核とした防災体験学習の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かして、小中高校生・教職員・保護者・地域住民による大規模災害対応訓練等を実施(地域ぐるみの防災キャンプ: 県内3か所(周防大島町、周南市、防府市))するとともに防災教育研修会等で成果を周知 	<p>県・市町・学校</p>

取組の現状

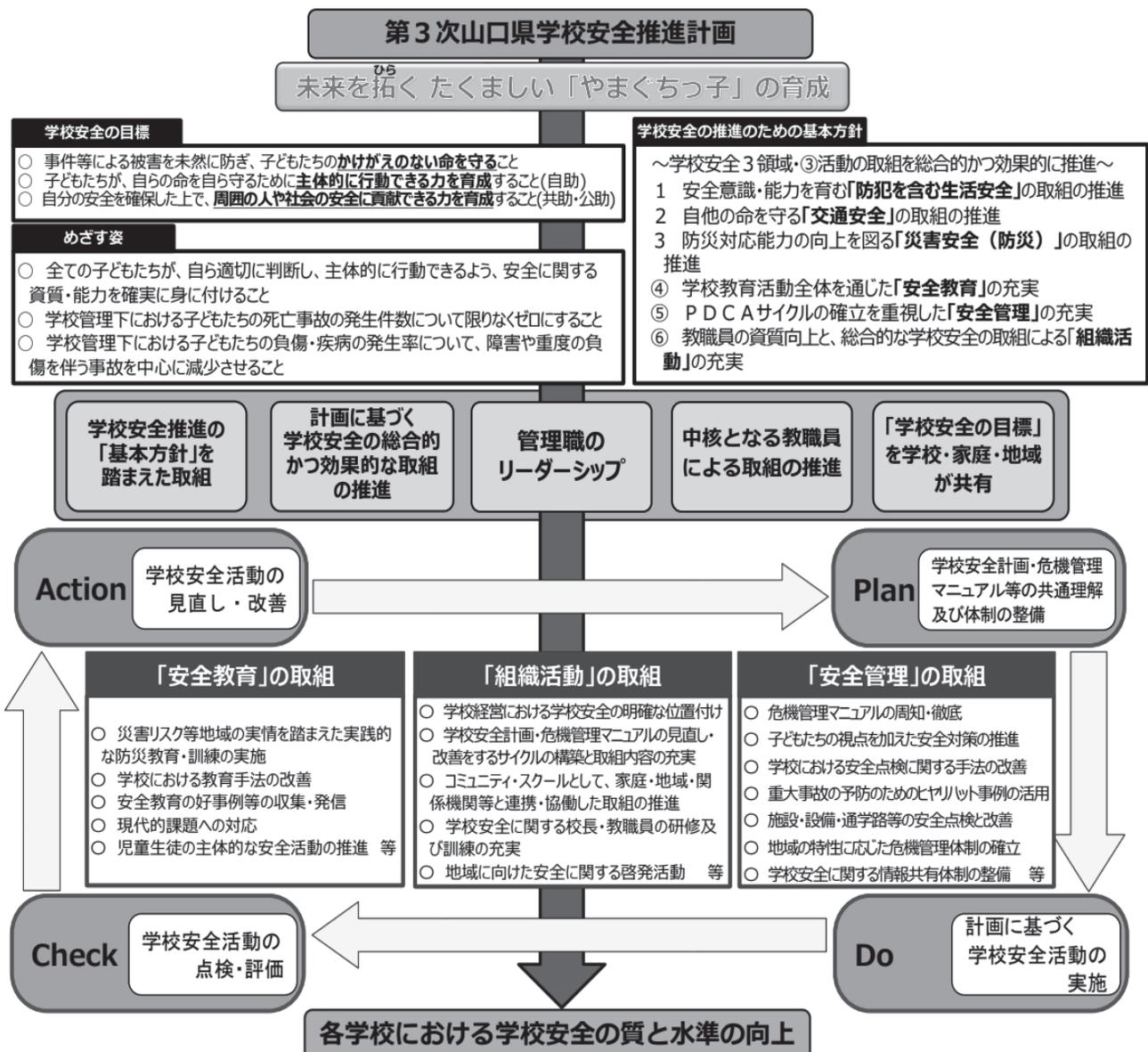
p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
日時等を事前に告げない避難訓練を実施している学校の割合 (公立幼稚園・こども園、小・中・高等学校、総合支援学校)	69.0 % (2022年度)	増加させる

取組の推進に向けて

「第3次山口県学校安全推進計画」に基づき、学校安全3領域・3活動の取組を総合的かつ効果的に推進し、PDCAサイクルによる各学校の学校安全の質と水準の向上を図る。



【第3次山口県学校安全推進計画 (R4.1 2月策定：山口県教育委員会)】

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/189336.html>



【学校安全ポータルサイト／文部科学省×学校安全】

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/>



24 学校における働き方改革の推進

【取組方針】

- ◆ 「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」(H30.3 策定/R3.7 改訂)※1に基づき、持続可能な学校の指導・運営体制※2の構築や教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、「ICT」と「コミュニティ・スクール」を取組に共通する視点とし、県、市町、学校が一体となった学校における働き方改革を推進する。
- ◆ 教職員の時間外在校等時間の上限※3を超えない範囲内で教職員の業務の量の適切な管理を行う。

【主な取組】 (担当課：教職員課/地域連携教育推進課/教育情報化推進室/学校安全・体育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 業務の見直し・効率化		
○ 事業・校務等の総点検と精選 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議・諸調査、各種事業等の精選・簡素化 ・ 「働き方改革 現状分析ツール」の活用 	県・市町・学校	
○ 統合型校務支援システム※4の導入と運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての県立高等学校、県立中等教育学校、県立中学校での運用 ・ システム運用に係る学校へのサポート 拡 導入対象校種の拡大(特)(市町の導入を支援)	県・市町・学校	
○ 校務におけるICTの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器等を活用した教職員の業務の効率化 新 クラウド型採点システムの導入(県立高等学校等) <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員のICT活用能力向上に向けた支援 	県・市町・学校	
○ 学校・教員が担う業務の在り方の整理※5と保護者・地域への理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・教員が担う業務の役割分担等の検討 ・ 学校運営協議会やPTAを通じた保護者・地域への理解促進 	県・市町・学校	
■ 勤務体制等の改善		
○ 勤務時間管理の適正化と継続的な状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICカードを利用した勤務時間管理システムの活用(県立)(市町に情報提供) ・ 継続的な把握に基づく、働き方改革推進のPDCAサイクル 	県・市町・学校	
○ 意識改革を図る研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校、やまぐち総合教育支援センターにおける研修の充実 	県・市町・学校	
○ 部活動の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動(運動部・文化部)の活動方針に基づく活動の徹底 ・ 部活動の地域移行に向けた環境整備(中) 	県・市町・学校	
○ 留守番電話の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外の留守番電話対応(県立)(市町に情報提供) 	県・市町・学校	
○ メリハリのある働き方のルール化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「時差出勤」「最終退校時刻」「ノー残業デー」「学校閉庁日」等の設定 	県・市町・学校	
■ 学校支援人材の活用		
○ 学校運営協議会等の仕組みの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な人々による熟議・協働活動の促進 ・ 人材(コーディネーター)の養成及び活躍の場の創出 	県・市町・学校	
○ 教員業務支援員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国事業を活用し、教員の事務的業務を補助する教員業務支援員を配置する市町を支援 	県・市町・学校	
○ 部活動指導員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有し、単独での指導や大会への引率等を行う部活動指導員の県立学校への配置 ・ 国事業を活用し、部活動指導員を配置する市町を支援 	県・市町・学校	
○ ICT支援員の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の日常的なICT活用をサポートする支援員の配置 拡 ヘルプデスクの開設やICT支援員のサポート、機器の故障対応等を行う「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置	県・市町・学校	



- ※1 「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」(H30.3策定/R3.7改訂)
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/sosiki-power/r03_hatarakika.html
- ※2 持続可能な学校の指導・運営体制
教員が、限られた時間の中で児童生徒と接する時間を十分に確保し、その専門性を生かしながら、児童生徒に必要な総合的な指導(学習・生徒指導・学級経営等)を持続的・効果的に行うことができる体制
- ※3 時間外在校等時間の上限
教員の在校等時間(教員が学校教育に関する業務を行っている時間)から所定の勤務時間を除いた時間の上限であり、1か月について45時間、1年について360時間(児童生徒等に係る臨時的な特別の事情がある場合は、1か月について100時間、1年について720時間)
- ※4 統合型校務支援システム
児童生徒の基本情報、成績処理、出欠管理、保健関係情報等を統合して管理・処理する機能を有しているシステム
- ※5 学校・教員が担う業務の在り方の整理

<p>【学校の業務であるものの必ずしも教諭等が担う必要のない業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調査・統計等への回答に係る対応に関すること ② 児童生徒の休み時間における対応に関すること ③ 校内清掃に係る対応に関すること ④ 部活動に係る対応に関すること <p>【基本的には学校以外が担うべき業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 登下校への対応に関すること ⑥ 学校外における放課後や夜間などの見回り、児童生徒の補導への対応に関すること ⑦ 学校徴収金(学校給食費等)の徴収・管理に関すること ⑧ 地域ボランティア等との連絡調整に関すること(地域学校協働活動の一環として地域学校協働活動推進員等が担うべきものをいい、校務分掌等で教諭等の職務の内容として定められた地域学校協働活動推進員等との連絡調整の職務を除く。)

「教諭等の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について(通知)」(R2.7文部科学省)を基に作成

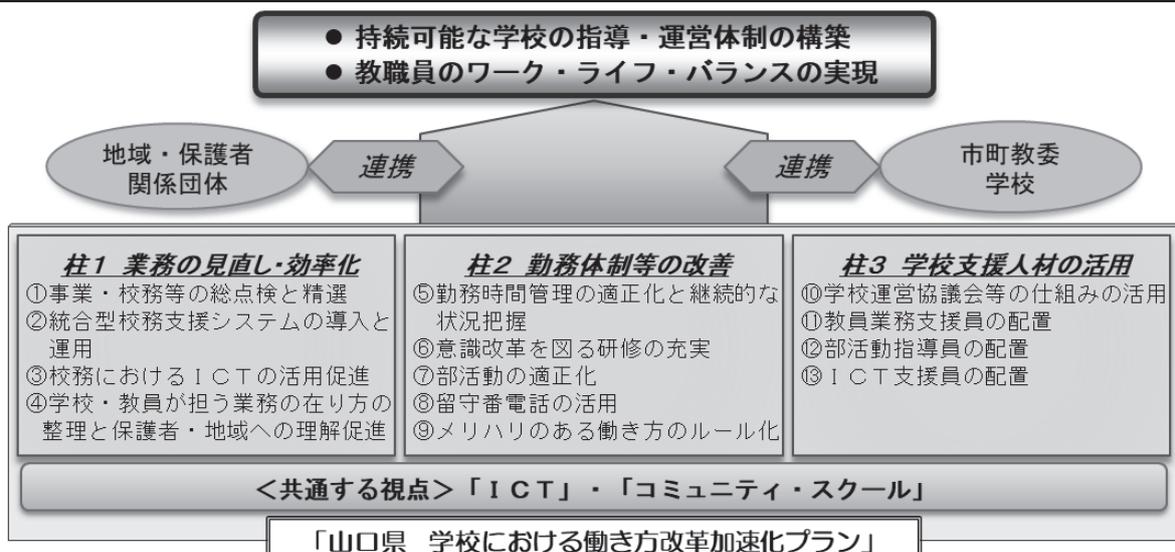
取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
教員一人当たり1か月平均時間外業務時間 (市町立小・中学校、県立学校)	小 38.9 時間 中 48.3 時間 県立 34.4 時間 (2022年4～12月)	減少させる

取組の推進に向けて



【改訂版 全国の学校における働き方改革事例集(R4.2文部科学省)】
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00001.html



25 教職員の資質能力の向上

【取組方針】

- ◆ 本県教育を担う教員の養成・採用・研修の一体的改革を推進するため、「山口県教員養成等検討協議会」の実施による学校、市町教委及び大学等の教員養成機関との連携や「教職員人材育成基本方針」及び「山口県教員育成指標」等の活用を図る。
- ◆ 本県教育への熱意と実践的指導力を有する優れた人材を安定的に確保するため、大学等と連携し、学校体験制度や教師力向上プログラム、教育実習、教員採用選考試験、採用前教職インターンシップ等の各取組の改善・充実を図る。
- ◆ キャリアステージに応じた教員の資質能力の向上を図るため、教職員評価や教職員研修の充実、学校内の人材育成の取組等を推進し、マネジメント能力を有する管理職の育成を図る。
- ◆ 学校の組織力を強化するため、学校の運営組織体制や指導体制の充実など、各学校の実態を踏まえた学校運営の改善を推進するとともに、教職員一人ひとりの学校運営への参画意識の向上を図る。

【主な取組】 (担当課：教職員課／やまぐち総合教育支援センター／学校安全・体育課)

主な取組と内容		実施主体
■ 教員の養成・採用・研修の一体的改革		
○ 教員の養成・採用・研修の一体的改革 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、教育委員会及び教員養成課程を有する県内全ての大学等で構成する「山口県教員養成等検討協議会」での協議を踏まえ、大学等と連携した教員の養成・採用・研修の取組を推進 ・ 「教職員人材育成基本方針」「山口県教員育成指標」及び「山口県教員研修計画」を活用して、教員の資質能力向上を推進 	県	
■ 優れた人材の確保		
○ 養成段階の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会・学校と大学等が連携した「教員をめざす学生の学校体験制度」(大学1・2年生等対象)、「山口県教師力向上プログラム」(大学3年生等対象)、「採用前教職インターンシップ」(新規学卒採用予定者対象)を一連の流れとする「山口県の教師塾」の改善・充実 	県・市町 ・学校	
○ 教員志願者等への積極的な情報提供と意欲の向上に向けた取組の推進 新 教職に就いていない免許保有者等に向けた教職入門セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員採用選考試験説明会や「やまぐち教職ガイダンス」の開催 ・ 県外在住者を対象としたオンラインによる説明会や相談会の実施 ・ 大学等への訪問の強化 ・ 教員志望者サポートメールの送信 	県・市町 ・学校	
○ 教職員のネットワークを生かした受験者確保の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若手教員ボランティアリクルーターによる情報提供(新規採用予定者研修、初任者研修) 	県	
○ 教職の魅力を伝える取組の推進 新 教職の魅力ややりがい等を分かりやすく伝えるPR動画の作成・配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生とその保護者を対象とした「高校生のための教職セミナー」の開催 	県	
○ 優秀で意欲のある教員を確保するための選考試験の改善・充実 新 教員免許未取得者を対象とした特別選考の新設及び教員免許取得のための費用補助制度の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な経験や得意分野等を評価する選考試験の工夫・改善 	県	

■ 教職員評価の充実		
○ 教職員評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員一人ひとりのよさの伸長と課題の解決に向けた教職員評価の充実 	県・市町 ・ 学校
■ 教職員研修の充実		
新 「新たな教師の学び」を支える研修体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修履歴を活用し、教員と管理職による積極的な対話と管理職による適切な研修受講奨励を通して、一人ひとりの教員の主体的で個別最適・協働的な学びを支援 ・ 研修観の転換・定着に向け、研修の合理化・効率化に資する取組の高度化モデルを構築 	県・市町 ・ 学校	
○ 教職員のキャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図る研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教職員人材育成基本方針」及び「山口県教員育成指標」に基づき、教職経験年数等に応じて職務遂行上必要な知識・技能等の習得を図るための研修の充実 	県・市町 ・ 学校
○ 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて専門性を高める研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現や学習評価の在り方に関する研修の充実 ・ 探究学習、道徳教育、外国語教育、プログラミング教育など、学習指導要領を踏まえた研修の充実 ・ 障害の特性に応じた支援、いじめ・不登校への対応などの喫緊の教育課題に応じた研修の充実 	県・市町 ・ 学校
○ 教職員のICT活用能力の向上に向けた研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や校務における1人1台タブレット端末やクラウドサービス等の効果的な活用及び情報モラル教育に関する研修の実施 	県
○ 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携教育、ICT活用、生徒指導、学校危機管理、ミドルリーダーの資質能力向上、管理職のマネジメント力向上、教科「情報」の指導力向上に係る研修の実施 	県・大学等
■ 学校内の人材育成		
○ 人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成校内会議が進行管理する「若手人材育成1,000日プラン」による、新採から3年次までの教職員の育成を中心とした人材育成 ・ コミュニティ・スクールの強みを生かした人材育成（ユニット型研修の推進） 	県・市町 ・ 学校
○ 校内研修の活性化	拡 全ての校種における、年間計画を活用した校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐち総合教育支援センターのサテライト研修の活用促進 ・ 教育力向上指導員制度の活用促進 ・ ICTを活用した授業実施等を支援するウェブサイト「やまぐちICT新たな学びラボ（通称YAMA-LABO）」で研修コンテンツや授業映像の提供 	県・市町 ・ 学校
○ 日常の業務を通して共に高め合うOJTの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校におけるOJT推進の手引き」を活用した組織的・計画的なOJTの実施 	県・市町 ・ 学校

■ ミドルリーダーの育成とマネジメント能力を有する管理職の育成	
○ 学校運営や人材育成の中核となるミドルリーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務、学年、保健、生徒指導の各分野の主任に求められる専門的スキルと指導力の向上を図る「主任研修」の実施 ・ 積極的な学校運営への参画や人材育成に関する資質能力の向上を図る「マネジメント研修」を3講座実施（内容：学校における働き方改革、リスクマネジメント、カリキュラム・マネジメント） ・ 学校の中核となるミドルリーダーとしての実践意欲を高め、学校運営に必要な資質能力の向上を図る「スクールリーダー研修講座」の実施 	県
○ キャリアステージを意識した計画的な管理職候補者の育成と選考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な教職経験や実績を有し、学校課題の解決や学校教育目標の実現に向けて指導力を発揮する人材の登用 ・ 女性管理職候補者の積極的な育成 	県
○ 管理職登用後の研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職のマネジメント能力の向上、県の重点取組事項や新たな教育課題等に関する理解促進に向けた継続的な管理職研修会等の充実 	県・市町 ・学校
■ 教育に関する調査研究機能の強化	
新 学校の課題解決に資する実証的・実践的な調査研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校課題の解決及びその解決方策の普及に向けて、やまぐち総合教育支援センターと学校が連携した調査研究の推進 	県
■ 教職員のメンタルヘルスの維持	
○ メンタルヘルス事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員及び管理職を対象とした研修の充実 ・ 教職員相談員や保健指導員による相談体制の充実 ・ 新規採用職員に対する早期の啓発・対応 ・ 「復職サポートシステム」による休職者等への復職支援の充実 	県・ 共済組合・ 互助会
○ コミュニケーションの良好な職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が課題を一人で抱え込むことなく、組織的に相談、協働できる職場環境の構築 	学校
○ 管理職を中心としたラインケアの取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職によるこまやかな声かけや、教職員評価における面談を活用した教職員の状況把握 	学校

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標		最新値〔全国〕	目標値
全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との比較（公立小・中学校）	小	国 65% [65.6%] 算 63% [63.2%] (2022年度)	小・中学校全区分で 全国平均を上回る
	中	国 70% [69.0%] 数 52% [51.4%] (2022年度)	
いじめの解消率 (公立小・中・高等学校、総合支援学校)		97.6% (2021年度)	100%に 近付ける
1,000人当たりの不登校児童生徒数 (公立小・中・高等学校)		小・中 26.6人 高 9.5人 (2021年度)	減少させる
1,000人当たりの暴力行為発生件数 (公立小・中・高等学校)		6.0件 (2021年度)	減少させる

取組の推進に向けて

1 「教職員人材育成基本方針」

「教職員人材育成基本方針」は、キャリアステージ（教職経験各段階）ごとに求められる教員の役割や資質能力を培うために必要な取組の推進に向けた方針を示している。

「教職員人材育成基本方針」に基づき、教職員の養成・採用、評価、研修、人事制度等人材育成に関する総合的な取組である人材育成システムを活用し、学校、市町教育委員会、県教育委員会が一体となって教職員の人材育成を推進する。

人材育成に向けた5つの基本方針

- 1 教職員のキャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図ります。
- 2 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて資質能力の向上を図ります。
- 3 組織的な学校運営を推進し、教職員の資質能力の向上を図ります。
- 4 地域や関係機関等と連携し、地域や学校の中核として活動する教職員を育成します。
- 5 大学等と連携し、優秀な教職員の養成・確保に努めます。

<国参考資料>

中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について

～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」H27.12.21

URL: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365665.htm

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について

～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～」R4.12.19

URL: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00004.htm

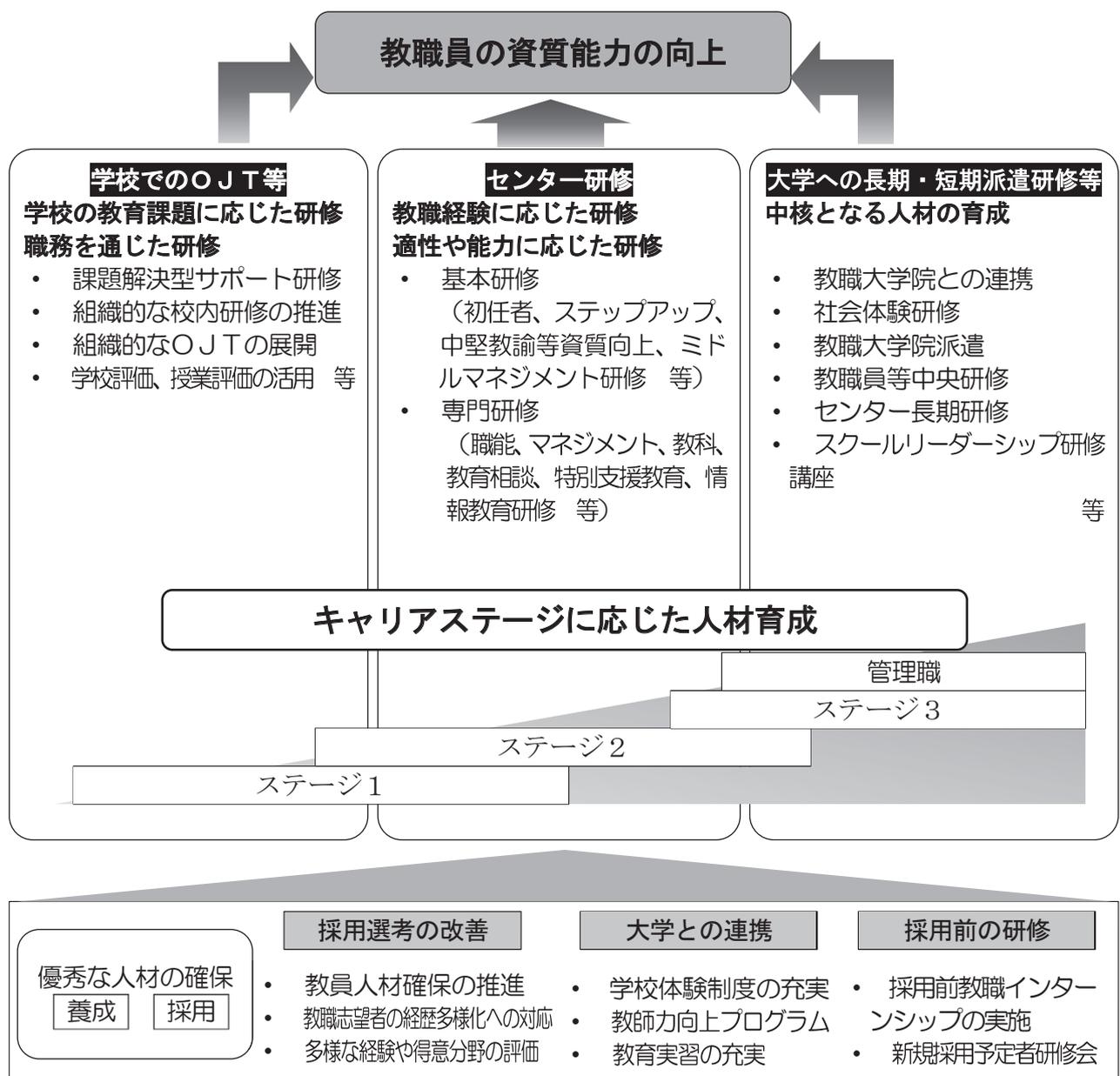
2 「山口県教員育成指標」

「山口県教員育成指標」は、「教職員人材育成基本方針」を踏まえ、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員がキャリアステージに応じて計画的・継続的に資質能力の向上を図るための目安を具体的に示している。

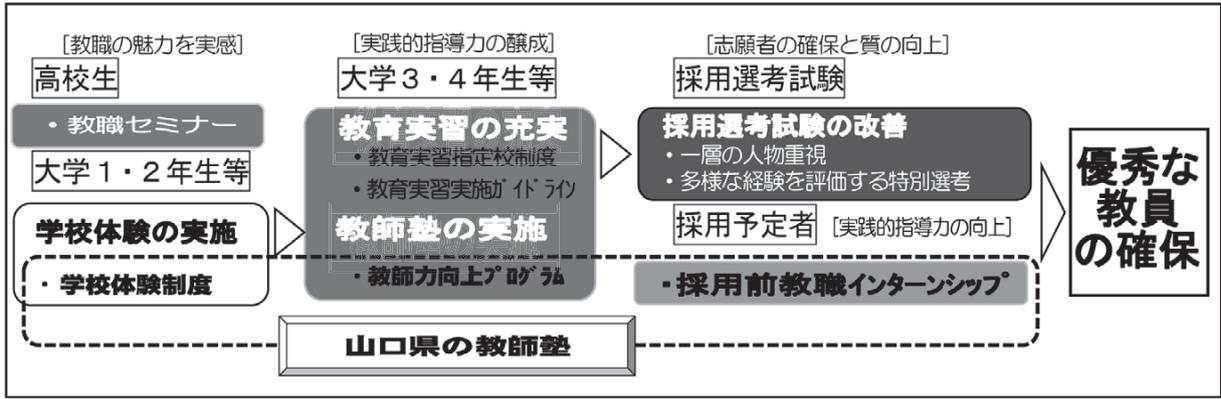
本指標を、大学等の教員養成機関、学校、市町教育委員会、県教育委員会が共有し、連携して本県教育を担う人材を育成するための取組を推進するとともに、一人ひとりの教員が、自らのよさと課題を踏まえ、本指標を参考にしながら次にめざす目標を設定し、研修等を通じてその資質能力の向上を図る。

各校種を通して共通の内容とする一方、職の専門性に配慮し、教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職の指標をそれぞれ別に設けている。また、大学等の教員養成機関との連携及び「教職員人材育成基本方針」との関連性を踏まえ、教諭、養護教諭、栄養教諭の指標におけるキャリアステージとして、「ステージ0【理解】」「ステージ1【実践】」「ステージ2【協働】」「ステージ3【リーダーシップ】」の4段階を設定している。

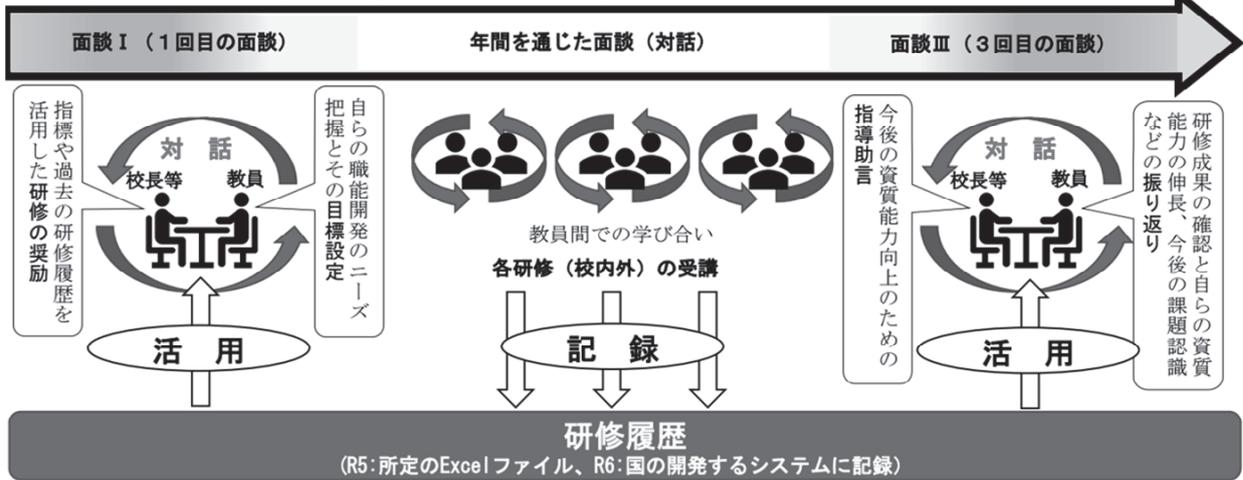
3 教職員の資質能力の向上



(1) 優秀な教員の確保に向けた取組



(2) 「新たな教師の学び」を支える研修体制づくり



(3) 若手人材育成1,000日プラン (小・中学校の取組)

若手人材育成の強化・加速 1,000日プラン イメージ図【教諭】

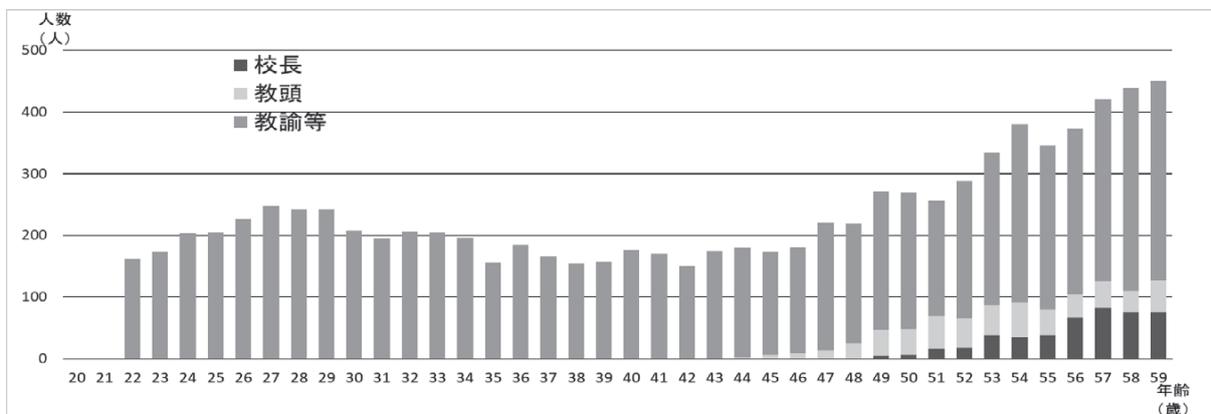
— 各学校と教育委員会が確実に取り組む5つのポイント —



4 ミドルリーダーの育成のための研修

研修区分名	研修講座名（※研修内容）	所 管
主任研修	<ul style="list-style-type: none"> 初めての教務主任 初めての学年主任 初めての保健主任 初めての生徒指導主任 	やまぐち総合教育支援センター
マネジメント研修	<ul style="list-style-type: none"> 学校における働き方改革 生徒指導におけるリスクマネジメント 学びのつながりをめざすカリキュラム・マネジメント 	
資質向上研修	<ul style="list-style-type: none"> スクールリーダーシップ研修講座 ※ 山口県教育の最新動向と重点取組事項、指標を活用した教職員の人材育成、学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント、学校のリスクマネジメント、学校のメンタルヘルスマネジメント等 	教職員課

5 教員全体の年齢構成と管理職の年齢構成（令和4年4月1日現在）



<県参考資料>

- ◇ 教職員課 「教職員の人材育成に向けた取組」 (R3. 3)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/75786.pdf>



- 「教育実習実施に当たってのガイドライン」 (H25. 3)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/178/26386.html>



- 「組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けて～5つのアプローチ～」 (H24. 6)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/76039.pdf>



- 「学校事務職員の学校運営への参画による学校の総合力の向上に向けて」 (H25. 3)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/178/26368.html>



- 「組織的な学校運営による学校の総合力の向上に向けた『実践事例・提案事例集』」 (H25. 3)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/178/26369.html>



26 校種間連携・一貫教育の推進

【取組方針】

- ◆ 保幼小連携（幼児教育・保育施設と小学校の連携）については、幼児教育長期研修派遣教員とその修了者を研修会等の指導者や実践発表者として活用することなどにより、小1プロブレム解消につながる取組の充実を図る。
- ◆ 小中連携・一貫教育については、合同研修会の充実や教員同士の授業参観、相互乗り入れ授業の計画的、継続的实施など組織的な取組の強化を図るとともに、やまぐち型地域連携教育を活用して、地域との連携強化を図る中で、更なる校種間の連携を推進する。
- ◆ 中高連携については、継続的な学習指導、生徒指導をはじめとする各地域におけるこれまでの取組の充実を図る。
- ◆ 中高一貫教育については、各学校における教育目標に沿った特色ある教育活動がより一層効果的に行われるよう、教育課程等の充実を図る。

【主な取組】

（担当課：義務教育課／高校教育課／地域連携教育推進課）

主な取組と内容	実施主体
■ 校種間連携の推進（教育活動、教職員の連携）	
○ 小学校区を単位とする幼児教育・保育施設と小学校の教育活動の連携促進 ・ 教職員の合同研修会や情報交換会、子ども同士の交流活動、学校だより等の配付、カリキュラムの交流等を通じた幼児教育・保育施設と小学校の教育活動の連携を促進	県・市町・ 幼児教育・ 保育施設・ 学校(小)
○ 小中連携・一貫教育及び小学校同士の連携の充実 ・ 小中合同学校運営協議会の設置や地域協育ネット協議会の開催による小中連携の強化 ・ 中学校区における育成をめざす資質・能力を明確にした「学校・地域連携カリキュラム」の活用促進（「カリキュラム・マネジメントの手引き」の活用） ・ 中学校区を単位とし、小・中学校で共通の重点指導項目を定めた取組の推進、学校だより等の配付、教育課程の情報共有等を通じた小・中学校の教育活動の連携や小学校同士の連携の推進	県・市町・ 学校(小中)
○ 中学生の進路選択に係る中学校・高校間の連携促進 ・ 高校の体験入学や高校教員による出前授業、中学校における高校生を招いての進路学習会等の充実	県・市町・ 学校(中高)
○ 進路意識を醸成する大学訪問や大学教員等による出前授業の実施 ・ オープンキャンパスへの参加や大学教員等による出前授業の実施の促進 ・ 高校と県内大学等の連携による、県内大学等の魅力を体験する企画を実施	県・ 学校(高)
○ 「個別の教育支援計画」の作成・引継ぎによる障害のある児童生徒への継続的な支援の実施 ・ 地域コーディネーター等の各学校への訪問による「個別の教育支援計画」作成・活用支援（合理的配慮の記載等） ・ 校種間の連絡協議会等の機会を活用した情報交換・情報共有の促進	県・市 町・学校
○ 保幼小連携を推進する幼児教育長期研修の実施 ・ 各種研修会における実践発表等、研修成果の還元	県・市町
○ 小・中学校教員の研修（人事）交流の実施 ・ 小・中学校間の円滑な接続のための情報共有及び協議	県・市町・ 学校(小中)

○ 小・中、高校と総合支援学校との連携による特別支援教育の充実 ・ 人事異動による積極的な人事交流の促進	県
○ 校種間の連絡会議や合同研修会、授業参観、相互乗り入れ授業の促進 ・ 小中、中高の合同研修会や授業参観等による情報共有と教員の意識の向上	県・市町・学校
■ 中高一貫教育の更なる推進	
○ 教育課程の工夫・改善等による特色ある教育活動の充実 ・ 学習指導要領の趣旨や中高一貫教育校（中等教育学校・併設型・連携型）ごとの実情を踏まえた教育課程の工夫・改善等	県・市町・学校(中高)
○ 今後の中高一貫教育の推進に向けた検討 ・ これまでの取組の成果と課題を踏まえ、今後の中高一貫教育の推進について検討	県・市町・学校(中高)

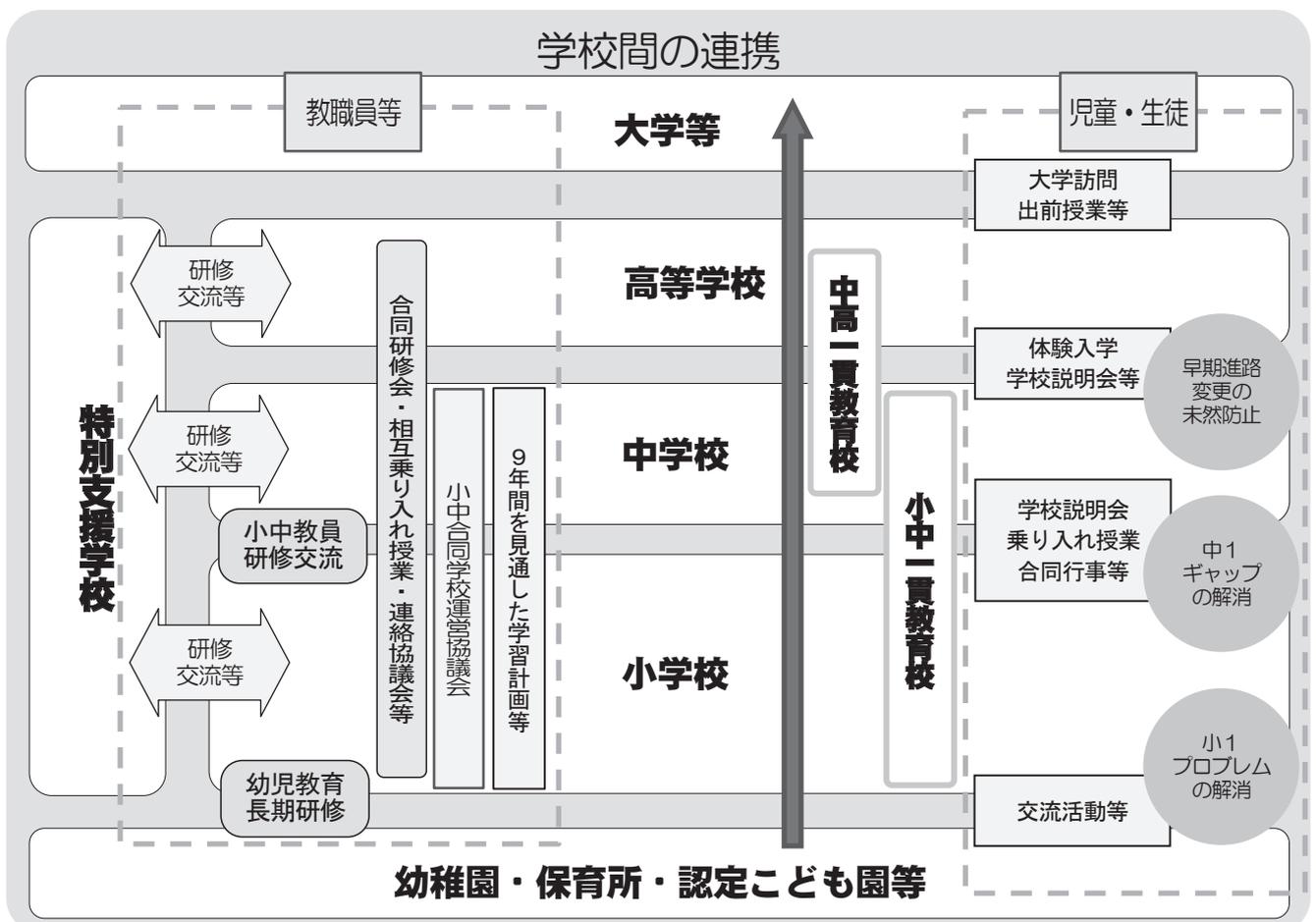
取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
近隣等の中(小)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った小(中)学校の割合(公立小・中学校)	小 86.7% 中 87.2% (2022年度)	小 100% 中 100%

取組の推進に向けて



27 多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり

【取組方針】

- ◆ 選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開など、高校教育の質をより高めるため、「第3期県立高校将来構想」に基づき、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備等を推進するとともに、各学校においては、生徒の興味・関心、能力・適性や進路希望等の多様化に対応し、教育課程の編成や指導方法・内容の工夫・改善に取り組むなど、特色づくりを引き続き推進する。

【主な取組】

(担当課：高校教育課／地域連携教育推進課)

主な取組と内容		実施主体
■ 地域・社会の教育力を活用した社会総がかりの教育活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域が一体となって、教育活動の多様化と教育の質の向上を図る 取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域協育ネットの仕組みを生かしながら、学校・学科の特色や専門性に応じて広く社会と連携し、子どもたちの豊かな学びの実現を支援する「やまぐち型社会連携教育」を推進 ・ コミュニティ・スクールの充実により、生徒一人ひとりの自己実現をめざすとともに、社会へ参画する態度を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクール・ミッションに基づく「特色ある学校づくり」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校のスクール・ミッションを踏まえたスクール・ポリシーの策定 ・ 「めざす学校像」や「育てたい生徒像」を明確化し、その実現に向けた取組の充実 ・ 多様な学びのニーズに対応するとともに中学生の主体的な進路選択を促すため、各学校の個性化・多様化を図る特色づくりを推進 	学校(高)・ 県
■ 「第3期県立高校将来構想」に基づく年次的・計画的な取組の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校の質の確保・向上をめざした再編整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開など、高校教育の質の確保・向上を図るため、望ましい学校規模（1学年4～8学級）の確保をめざした再編整備の推進 		県
<ul style="list-style-type: none"> 新 県立高校再編整備計画 前期実施計画（令和4年度～令和8年度（2022年度～2026年度））の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全県的な視点に立って、学校・学科の再編整備を着実に推進 		県

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
中学生が説明会（各高校で開催される体験入学や学校説明会等）に参加するために訪問した高校の数	0.95校 (2021年度)	増加させる

○ 第3期県立高校将来構想（R4.3月策定）の概要

1 策定の趣旨

今後も中学校卒業生数の継続的かつ急激な減少が見込まれるとともに、本県教育を取り巻く環境が大きく変化することが予想されることなどから、全県的、中・長期的視点に立って本県高校教育の質の確保・向上を図るため、15年先を見据えた本県高校改革の基本的な考え方や施策展開の方向性を示す「第3期県立高校将来構想」を策定

2 構想の期間

令和4年度から令和13年度まで

3 学校づくりの方向性

高校教育の質の確保・向上のため、次の3点の方向で学校づくりを全県的に推進

- ◇ 高い志をもち、主体的に未来を切り拓いていく人材を育成する学校
- ◇ 人とのつながり、支え合いを大切にする心を育む安心・安全な学校
- ◇ 郷土に誇りと愛着をもち、地域・社会に貢献しようとする人材を育成する学校

4 特色ある学校づくり

- ・ 教科等横断的な視点を踏まえた教育課程の充実や、学校・学科の枠を越えて連携・協働しながら新たな価値を創造する実践的・体験的な教育活動の充実に取り組むなど、各学校の社会的役割を明確にした上で、学校の特色化を推進
- ・ コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域・社会と連携・協働した教育活動や、ICTを効果的に活用した学びなどを一層推進

5 学校・学科の再編整備

- ・ 今後とも、中学校卒業生数の継続的な減少による学校の小規模化が見込まれる中、選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開、生徒が他者と協働しながら切磋琢磨する環境づくりなど、高校教育の質の確保・向上を図るためには、望ましい学校規模（1学年4～8学級）の確保をめざし、再編整備を進めることが必要
- ・ 再編整備に当たっては、中学校卒業見込者数の推移や中学生の志願状況、高校卒業後の進路動向、高校生の通学実態、私立高校等の配置状況などを総合的に勘案するとともに、地域における高校の実情や地域バランス、分散型都市構造にある本県の特性等も踏まえながら、適切な学校の配置となるよう、全県的な視点に立って、年次的かつ計画的に取り組むことを検討

○ 県立高校再編整備計画 前期実施計画（R4.12月策定）の概要

実施内容

（１）再編統合・募集停止

- ・ 宇部西高校の生徒募集を停止し、教育機能等を山口農業高校などに継承（令和6年度）
- ・ 家庭科教育の充実を図るため、厚狭高校と田部高校を再編統合して、校地を厚狭高校北校舎とする新高校を設置（令和7年度）
 - ※ 萩高校奈古分校の生徒募集停止を検討
 - ※ 柳井地域・周南地域については、その内容が計画に掲げられるようになった時点で対象校を追加

（２）特進探究科（仮称）の設置

- ・ 進学に重点を置く取組を推進するため、岩国高校・徳山高校・山口高校に特進探究科（仮称）を設置（令和7年度）
 - ※ 宇部高校、下関西高校、萩高校の「探究科」についても、名称変更を検討

（３）中高一貫教育校（併設型）の設置

- ・ 進学指導に重点を置いた中高一貫教育を行うため、岩国高校・下関西高校に併設型中学校を設置（令和8年度）
 - ※ 岩国高校への併設型中学校設置に合わせて、高森みどり中学校の生徒募集を停止

＜県参考資料＞

各公立高校の「特色ある学校づくり」の様子を示したウェブページ「中学生のための学校紹介」（URL <http://www.ysn21.jp/s-navi/kyouiku/>）

- ・ 学校ごとに「めざす学校像」「育てたい生徒像」と、その達成に向けた「具体的な取組」などをまとめた資料を見ることができます。

早見版【柳井地域】

高防大島高校 学校の特徴をみる Webページをみる	柳井高校 学校の特徴をみる Webページをみる	柳井高工高校 学校の特徴をみる Webページをみる	熊毛南高校 学校の特徴をみる Webページをみる
田布施農工高校 学校の特徴をみる Webページをみる			

カーソルを当てると、画像（早見版）が大きく表示されます。

各学校のウェブページにもジャンプできます。

《地域ごとに学校を選ぶことができます。》

《各学校の資料のイメージです。》

28 私学の振興

【取組方針】

- ◆ 経常的経費を対象とした補助など私学助成の充実や、積極的な情報提供等により、私立学校の特色ある教育活動の展開を支援し、私立学校の更なる振興を図る。
- ◆ 幼稚園は、地域の幼児教育のセンターとしての役割が期待されることから、私立幼稚園での子育て支援など、地域に開かれた幼稚園づくりを支援する。
- ◆ 幼児・生徒の安心・安全を図るため、県費助成制度等による支援により、私立学校施設の耐震化を促進する。

【主な取組】

(担当課：総務部学事文書課)

主な取組と内容		実施主体
■ 私学助成の充実		
○ 幼稚園、高等学校等の教育に係る経常的経費への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園、中学校、高等学校における教育に係る経常的経費の一部を補助 ・ 私立幼稚園が幼児教育水準の維持向上のために実施する教員処遇改善への補助 	県・学校	
■ 地域に開かれた幼稚園づくりへの支援		
○ 預かり保育に要する経費への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園が平日の早朝及び教育時間終了後、土・日、夏休み等の休業日に実施する預かり保育に係る担当教員人件費等の一部を補助 	県・学校(幼)	
○ 特別の支援が必要な幼児の受入れに要する経費への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園が実施する特別の支援が必要な障害のある幼児の受入れに係る担当教員人件費等の一部を補助 	県・学校(幼)	
○ 幼稚園の幼児教育のセンター機能を活用した地域開放に要する経費への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園が実施する幼児教育相談、幼児教育講演会、園の教育機能等の地域への開放、未就園児の親子登園等に要する経費の一部を補助 	県・学校(幼)	
■ 私立学校の耐震化の促進		
○ 私立学校における耐震化への補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園、中学校、高等学校が実施する園舎・校舎等の耐震補強・改築工事等に要する経費の一部を補助 	県・学校	

取組の現状

p-d-Check-a

※「目標値」は「山口県教育振興基本計画(2018～2022)」の目標値を参考に記載

主な指標	最新値	目標値
子育て支援を行っている私立幼稚園の割合	94.2% (2021年度)	100%
私立学校(幼・中・高)の耐震化率 [2階以上又は200㎡以上の非木造施設]	93.8% (2022年4月)	95.0%以上

29 修学支援の充実

【取組方針】

- ◆ 授業料負担の軽減を図るため、国が創設した「就学支援金制度」により、資格要件（所得制限）を満たす者からの申請に基づき、公立高等学校等においては授業料相当額、私立高等学校等においては授業料相当額又は授業料の一部を支援する。
- ◆ 道府県民税・市町村民税所得割額が非課税である世帯の授業料以外の教育費負担の軽減を図るため、国の補助事業を活用した「奨学のための給付金制度」により、対象者からの申請に基づき、返還不要の給付金を給付する。
- ◆ 向学心に富み有能な素質をもちながら、経済的な理由により修学が困難な生徒に対する支援のため、引き続き奨学金の貸与を行う。

【主な取組】

(担当課：教育政策課)

主な取組と内容	実施主体
■ 経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対する支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生等への就学支援金の支給 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給資格要件を満たす者からの申請に基づき、授業料の全額（又は一部金額）を就学支援金として支給 <ul style="list-style-type: none"> ※ 学校設置者が生徒に代わって国から代理受領し、授業料に充当 ・ 私立高校生等は、所得等の状況により支援金を加算して支給 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生等への奨学給付金の支給 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の要件を満たす世帯を対象に、授業料以外の教育費を支援するため、申請に基づき「奨学のための給付金」を給付 [対象者] 以下の要件を全て満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者（親権者）の道府県民税・市町村民税所得割額の合算額が非課税の世帯（家計急変により非課税相当となった世帯を含む） ・ 保護者（親権者）が山口県内に在住 ・ 就学支援金の支給対象である学校等に在籍 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専攻科生への修学支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給資格要件を満たす者からの申請に基づき、授業料の一部金額を支給 <ul style="list-style-type: none"> ※ 学校設置者が生徒に代わって国から代理受領し、授業料に充当 ・ 一定の要件を満たす世帯を対象に、申請に基づき「奨学のための給付金」を給付 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ (公財)山口県ひとづくり財団による高校生等への奨学金の貸し付け <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的理由により修学が困難な高校生等に対する奨学金の貸与 ・ 定住促進奨学金の貸与（貸与額の増額、入学一時金の貸与） ・ 家計急変世帯への緊急採用枠の設定 	県
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校法人が行う私立高校生の授業料等の軽減事業に要する経費の補助 	県
■ 離島高校生に対する支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 離島高校生の通学費に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の制度を活用して実施する市町に対する支援 	県
■ へき地や過疎地域等の児童生徒等の通学に対する支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールバスを運行する市町に対する国の制度の活用促進 	市町
<ul style="list-style-type: none"> 新 県立高等学校再編に係る遠距離通学者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立高校の再編整備により遠距離通学が必要になった生徒への通学費の支援 	県

取組の現状

p-d-Check-a

【山口県教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検・評価指標】

[就学支援金支給実績] R3：人数 29,558人 支給総額 4,999,713千円

[奨学給付金の支給実績] R3：人数 3,761人 支給総額 445,082千円

[奨学金の貸与延べ実績（財団）] R3：高校生 356人、大学生等 335人

[離島高校生の通学費に対する支援額] R3：3市町 523千円

[スクールバスの購入経費の支援市町] R3：新たな整備なし

[就学支援金の支援額等]

	年収目安	支援月額
公立高等学校	910万円未満	9,900円
私立高等学校等	590万円未満	33,000円
	590万円以上910万円未満	9,900円

[給付金制度の給付年額等]

区分		給付年額	
		国公立	私立
道府県民税 市町村民税 非課税世帯	生活保護受給世帯（生業扶助受給世帯）の生徒	32,300円 (通信制:32,300円)	52,600円 (通信制:52,600円)
	上記世帯 第1子の高校生等がいる世帯の生徒	117,100円 (通信制:50,500円)	137,600円 (通信制:52,100円)
	第2子以降の高校生等がいる世帯の生徒	143,700円 (通信制:50,500円)	152,000円 (通信制:52,100円)

[専攻科生への修学支援額等]

	年収目安等	支援額	
		国公立	私立
授業料	270万円未満	9,900円/月	35,600円/月
	270万円以上380万円未満	4,950円/月	17,800円/月
授業料以外の教育費	道府県民税市町村民税非課税世帯	50,500円/年	52,100円/年

[奨学金制度の概要]

事業主体	事業内容		
公益財団法人 山口県ひとつくり 財団	学ぶ意欲と能力を有しながら、経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対し、奨学金等の貸与を行う		
	区分		
	貸与一般	国公立高校	18,000円～30,000円
		私立高校	30,000円～41,000円
		国公立・私立大学（含短大）	43,000円～52,000円
	定貸住与促進	国公立・私立大学（含短大）【一般貸与への上乗せ】	20,000円
		専修学校（国公立）	63,000円
		専修学校（私立）	71,000円
入学一時金		300,000円	
	定時制通信制修学奨励費（国公立・私立）	14,000円	

～広がる教室 深まる学び～

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

令和2年度に全ての県立学校に整備した1人1台タブレット端末などのICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進に向けて、3つの視点の学校づくりを総合的・計画的に推進します。

① 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

② 海外・地域・他校とつながる学校！

③ 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

① 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

推進方向

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや理解度・習熟度に応じた個別最適な学習やきめ細やかな指導、多様な意見に触れる協働的な学習を充実させることで、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校」の実現をめざします。

具体的な取組内容

- **1人1台タブレット端末等を活用した主体的な学びを実践！**
 これまでの教育実践と先端技術（1人1台タブレット端末や児童生徒に関する教育データの活用等）のベストミックスにより、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、主体的、対話的で深い学びを実践します。
- **統合型校務支援システムの導入！**
 児童生徒の状況を把握した個別最適な指導を実践するため、全ての県立学校に統合型校務支援システムを導入するとともに、市町立学校への早期導入を支援します。
- **全児童生徒へ一元化した情報配信！**
 1人1台タブレット端末の共通ポータルサイト等を活用し、高校生等に有益な情報をダイレクトに配信するとともに、学校の情報等を相互に発信する生徒主体のWebサイトを掲載します。
- **ICTスキルの向上やトップレベルの人材をめざす意識の醸成！**
 高校生に加え、小中学生にも対象を一部拡大したICTコンテストの開催や、高校生データサイエンティスト育成講座を開催するなど、これからの山口県を担うデジタル人材に必要な資質・能力の育成に取り組みます。
- **特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を引き出すICT！**
 特別支援学校の子どもたちにとって特に重要となる社会体験活動をより充実させ、児童生徒への多様な学びを創出します。
- **教員のICTを活用した指導力の向上！**
 令和3年度及び4年度に教職員支援機構(NITS)と連携して育成したICT活用推進リーダーを中心に、各学校、地域でのICT活用に関する研修の充実を図ります。

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	
取組内容		CBTに関する研究	学習定着確認試験のCBT化による児童生徒に対する指導の充実		
	統合型校務支援システム	県立高等学校への順次導入	全県立高等学校で運用	特別支援学校への導入準備	
		全小中による共同利用の提案	共同利用の実現に向けた協議	システムの構築・導入準備	
		教育データの可視化(ダッシュボード)の研究	ダッシュボードの構築準備	ダッシュボードの構築	
		ICTコンテストの開催 データサイエンティストの育成	コンテスト「小中学生部門」、データサイエンティスト「応用講座」追加		
	障害に対応した入出力支援装置等の整備	障害のある児童生徒一人ひとりのニーズに応じたICT活用を支援		障害のある児童生徒に対するVRを活用した新たな学びの機会の創出	
		教職員ICT活用推進リーダーの育成		リーダーを核とした学びの充実	
		共通ポータルサイト等を活用した児童生徒向け情報配信の充実			

② 海外・地域・他校とつながる学校！

推進方向

ICTを活用して、海外の学校等との交流や全県合同の課外授業等の推進により、新たな学びの機会を創出することで、「海外・地域・他校とつながる学校」の実現をめざします。

具体的な取組内容

- 海外とのオンライン交流を実施！
ICTを活用し、県立高等学校等で海外とのオンライン交流を推進します。
- 全県合同のハイレベル課外授業を実施！
選抜制の高い大学をめざす生徒(希望者)を対象とした全県合同の課外授業を実施します。
- 資格取得のためのオンライン講座を実施！
全ての高等学校等で資格取得(危険物取扱者、測量士補、簿記等)に必要なオンライン講座を実施します。

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
取組内容		海外の学校等とのオンライン交流を推進(コーディネーター派遣)		
	ハイレベル講義・演習を一部の学校で実施	全県合同のハイレベル講義・演習の実施		
		全県合同の資格取得のためのオンライン講座の実施		

③ 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

推進方向

障害や入院等で通学できない児童生徒の学びや不登校等に係る相談・カウンセリングをオンラインで実施できる体制を整備することで、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校」の実現をめざします。

具体的な取組内容

- 通学できない児童生徒の学びを保障！
全ての県立学校で障害や入院等で通学できない児童生徒(希望者)にオンライン授業を実施する体制を整備し、児童生徒の学びを保障します。
- オンライン教育相談体制を推進！
全ての児童生徒を対象とした不登校等に係るオンラインによる相談・カウンセリング体制を推進します。

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
取組内容	分身ロボットの導入(特支)	オンライン授業の体制整備・実施(特支・入院生徒等)		
		オンライン相談・カウンセリングの実施		
		家庭の通信環境の整備(モバイルルータの貸与)		

《関連資料》

令和5年度 教育委員会当初予算の概要



第二種電気工事士技能試験の指導（徳山商工）



VRを活用した授業（萩総支）



ICT活用コンテストのワークショップ



国際交流体験プログラム（ハワイ州）



【コミスク】うべそマルシェ（宇部総支）

令和5年2月
山口県教育委員会

目次

I	教育委員会当初予算の基本的な考え方	1
II	予算規模等	2
III	～広がる教室 深まる学び～ 「やまぐちスマートスクール構想」の推進	3
IV	第3期県立高校将来構想に基づく高校教育の充実	10
V	いじめ・不登校等対策の充実	11
VI	学校等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策	13
VII	7つの分野の主要事業	14
1	「地域教育力日本一」の推進	14
2	教育を通じた「ふるさと山口」の創生	17
3	確かな学力の育成	19
4	豊かな心・健やかな体の育成	21
5	魅力ある学校づくりの推進	23
6	教職員人材育成の推進	24
7	安心・安全な学校づくりの推進	26
8	その他の主要事業	27
VIII	事業一覧	29
1	知・徳・体の調和のとれた教育の推進	31
2	学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進	35
3	生涯を通じた学びの充実	36
4	豊かな学びを支える教育環境の充実	38
IX	イベント等一覧	41

I 教育委員会当初予算の基本的な考え方

県の令和5年度当初予算では、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、やまぐち未来維新プランに掲げる、「安心・安全」、「デジタル」、「グリーン」、「ヒューマン」の4つの視点を踏まえ、3つの維新のさらなる進化を図り、「新たな県づくり」を本格的にスタートさせていくこととしています。

また、ウィズコロナの下、県民の命と健康を守りながら、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るとともに、物価高騰に対応する追加の緊急対策を講じることとされました。

県教委においては、こうした県の予算編成方針のもと、やまぐち未来維新プランに掲げられた「新たな時代の人づくりの推進」等に対応するとともに、現下の教育課題に積極果敢に取り組むための諸施策を講じたところです。

まず、コロナ禍による社会変化へ、いち早く対応して整備したICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」のさらなる推進に取り組んでまいります。

また、第3期県立高校将来構想に基づき、更なる高校改革の推進に取り組むこととしており、多様な学びの希望に応える特色ある学校づくりを進めるとともに、県立高校の再編整備を年次的・計画的に行い、再編整備に伴う必要な支援を行います。

さらに、コロナ禍において深刻化している、いじめ・不登校等の対策を強化することとし、未然防止の観点から新たな取組を進めていきます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大から子どもたちを守る対策を引き続き取り組んでいきます。

令和5年度は、こうした諸施策に加え、地域連携教育をはじめとした7つの分野の主要事業に取り組むことで、新たな時代の人づくりの推進に向けて、学校・家庭・地域をはじめ、関係機関とも緊密に連携し、本県教育の一層の充実・発展に取り組んでまいります。

Ⅱ 予算規模等

1 予算規模

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度			令和4年度		増減額(A-B)
	当初予算額 A	構成比	対前年度比	当初予算額 B	構成比	
教育委員会所管	115,618,803 [15,360,173]	14.6	94.4 [110.6]	122,463,111 [13,885,526]	15.6	△6,844,308 [1,474,647]
県一般会計	794,013,272	—	101.0	786,243,803	—	7,769,469

※ [] は給与関係経費を除いた合計額

2 内 訳

【目的別内訳】

(単位:千円、%)

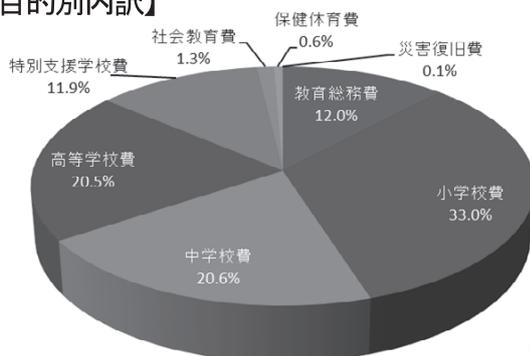
区 分	令和5年度		令和4年度	増減額(A-B)
	当初予算額 A	対前年度比	当初予算額 B	
教育総務費	13,869,246	68.3	20,301,150	△6,431,904
小学校費	38,168,918	98.2	38,867,276	△698,358
中学校費	23,859,338	98.6	24,205,340	△346,002
高等学校費	23,733,473	101.4	23,414,737	318,736
特別支援学校費	13,801,883	102.7	13,436,760	365,123
社会教育費	1,433,292	102.2	1,402,693	30,599
保健体育費	692,653	89.4	775,155	△82,502
災害復旧費	60,000	100.0	60,000	0
計	115,618,803	94.4	122,463,111	△6,844,308

【経費別内訳】

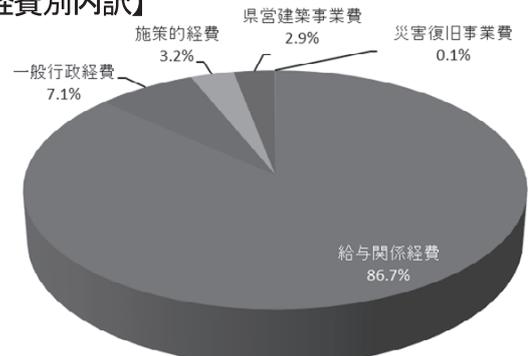
(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度	増減額 (A-B)
	当初予算額 A	対前年度比	当初予算額 B	
給与関係経費	100,258,630	92.3	108,577,585	△8,318,955
一般行政経費	8,232,302	107.9	7,631,963	600,339
施策的経費	3,652,679	98.9	3,692,378	△39,699
県営建築事業費	3,415,192	136.5	2,501,185	914,007
災害復旧事業費	60,000	100.0	60,000	0
計	115,618,803	94.4	122,463,111	△6,844,308

【目的別内訳】



【経費別内訳】



Ⅲ ～広がる教室 深まる学び～

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

県教委では、全国に先駆けて整備した県立学校のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図るため、やまぐちスマートスクール構想をさらに推進し、次の3つの視点の学校づくりを進めていきます。

やまぐちスマートスクール構想



1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や多様な意見に触れる協働学習を充実させ、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現をめざす。

- 1人1台タブレット端末等を活用した主体的な学びを実践！
- 統合型校務支援システムの導入！
- 全児童生徒へ一元化した情報配信！
- ICTスキルの向上やトップレベルの人材をめざす意識の醸成！
- 特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を引き出すICT！
- 教員のICTを活用した指導力の向上！

2 海外・地域・他校とつながる学校！

海外の学校や遠隔地の学校等との交流を行うことで、新たな学びの機会を創出し、「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざす。

- 海外とのオンライン交流を実施！
- 全県合同のハイレベル課外授業を実施！
- 資格取得のためのオンライン講座を実施！

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障する環境を充実させ、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！」の実現をめざす。

- 通学できない児童生徒の学びを保障！
- オンライン教育相談体制を推進！

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

(単位：千円)

新 次世代の教育環境デジタル化推進事業

58,898

教育データを活用した学校運営や児童生徒一人ひとりに合った学びを支援するため、文部科学省が推奨するフルクラウド環境を構築して校務データと学習データを統合します。また、クラウドサービスの活用を校務に拡大することで、教職員の業務改善・働き方改革を一層推進します。

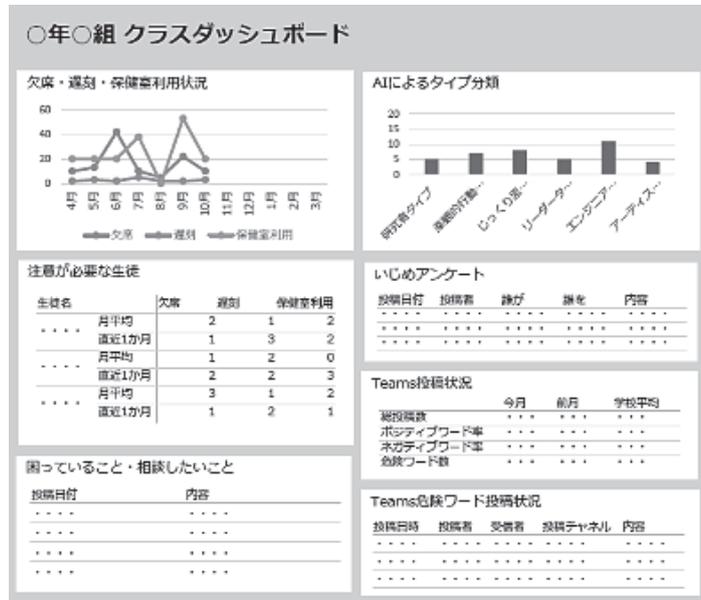
■教育データの活用

○教育ダッシュボードの構築

生活アンケートやクラウドアプリの利用データ、成績情報等の可視化・相関分析等を行う教育ダッシュボード（※様々なデータを一覧表示する画面）を構築し、児童生徒の主体的な学びの支援や誰一人取り残さない学びの実現に活用

○教育DX推進協議会の設置

校長級の教員が参加する協議会を設置し、強力な事業推進体制を構築



■フルクラウド環境の構築

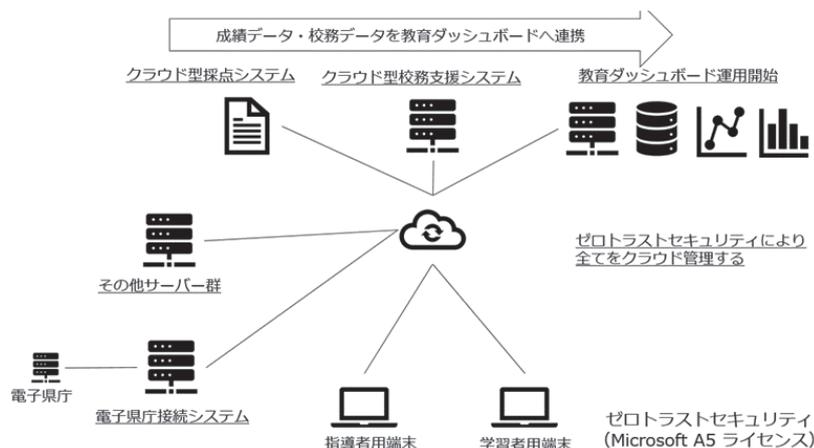
○クラウド型採点システムの導入

- ・民間の採点システムを導入し、定期考査等の採点時間の短縮と採点・集計ミスの軽減を図るとともに、採点結果をダッシュボードで可視化することで、よりきめ細かな学習指導を実現
- ・統合型校務支援システムと採点システムを連携させることで、成績データの管理に係る業務負担を軽減

○校務・学習データの統合準備

- ・文部科学省が推奨する次世代型のセキュリティ対策であるゼロトラストセキュリティを導入し、全国に先駆けて校務用ネットワークのクラウド環境への統合を推進

[統合後の学校における教育環境イメージ]



■端末の利活用促進

○リーディングDXスクール事業

- ・県立学校1校を拠点として、端末を校務や授業において効果的に活用する好事例を創出・モデル化し、全県へ展開

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進するため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力向上に取り組みます。

■ ICT支援員の派遣

○教員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員を配置し、学校へ定期的に派遣

拡 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置

- 教員から電話やオンライン等で問い合わせを受け付けるヘルプデスクを設置
- ICT支援員をサポートするスタッフを配置し、必要に応じて学校現場に派遣
- 教員やICT支援員に対する研修を実施
- 端末の故障対応や運用管理、年次更新等をサポート
- 県及び新たに加わる5市町による共同設置

■ 山口県教育ICT推進協議会での議論・実践

○県及び県内全市町教育委員会が参加する協議会において情報共有等を行い、域内のICT利活用格差を解消

拡 やまぐちICT活用コンテストの開催

- ICTの活用促進やスキル向上等を図るため、小・中・高校生を対象としたコンテストを開催
- コンテストに向けて、アイデアの創出や応募作品の洗練を行うワークショップを開催

- [対 象] 小・中・高校生の個人又はグループ
 ※小・中学生はデジタルアートに加え、新たにプログラミング部門を開催
- [部 門] 学習コンテンツ：授業でのICT活用事例等のプレゼンテーション
 デジタルアート：ICTを活用したアート作品
 プログラミング：専門的なICT技術を活用したプログラミング
 DXチャレンジ：ICTを活用した社会変革につながる新しいアイデア



■ 高校生データサイエンティスト育成講座の開催

○デジタル人材を育成するため、高校生を対象としたセミナーを開催

- [対 象] 高校生
- [内 容] 基礎講座：AI及びプログラミングの基礎知識を実践形式で学習
 応用講座：前年度の基礎講座の修了者を対象とした発展的な講座



山口県学力定着状況確認問題をCBT（Computer Based Testing：コンピュータを使用した調査）で実施し、個別の学力の定着状況等の蓄積や、採点・集計業務の効率化を進めるとともに、やまぐち学習支援プログラムを活用して、児童生徒の学力定着状況に応じた指導や授業の充実を図ります。

■山口県学力定着状況確認問題のCBT化

○学力定着状況に応じた指導等の充実

- ・ 個別の学力の定着状況及び児童生徒質問紙調査の結果を蓄積したデータ（学びの履歴）の利活用
- ・ 採点、集計業務の効率化による結果の早期通知
- ・ 結果の早期通知を生かした迅速な分析、指導改善の取組への反映



○児童生徒のICT利活用の推進

- ・ 1人1台端末を活用した授業の促進
⇒児童生徒のデジタル読解力及び情報活用能力等の資質・能力の育成

■やまぐち学習支援プログラムの活用

- ・ 「やまぐちっ子学習プリント」で、基礎・基本の確実な定着及び思考力・判断力・表現力等を育成
- ・ 「学力分析支援ツール」を活用して、児童生徒の学力状況を把握、重点的な指導改善を促進

総合支援学校VR活用事業

先進的な技術の導入により、総合支援学校の児童生徒一人ひとりの障害の状態に応じた個別最適な学びの実現と、児童生徒の「自立と社会参加」を促進します。

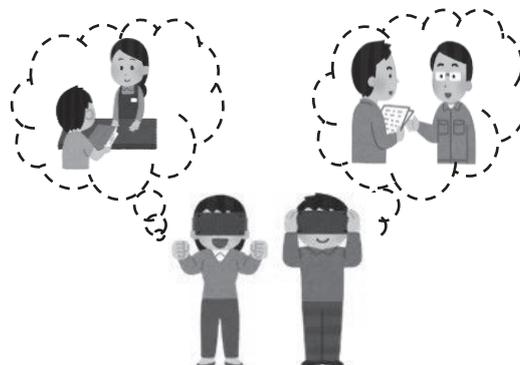
■学術機関、職場実習受入先等と連携し、

社会体験学習に資するオリジナルVR動画を作成・活用

- 校外学習・職場体験用のオリジナルVR動画を作成し、体験的な事前・事後学習を実施

<作成するVR動画の例>

- ・ 公共交通機関の利用体験
- ・ 公共施設の利用体験
- ・ 職場体験 等



遊び・運動大好き！体力向上推進事業（一部）

運動が苦手な子どもを含む全ての子どもに、できる喜びを味わわせていくための体育・保健体育授業の在り方について、ICTを効果的に活用した実践研究を行い、子どもの運動習慣の改善力向上を図ります。

■1人1台タブレット端末活用に向けたモデル事業の展開

- 「ICT体育推進校」によるICTを効果的に活用した実践研究

1人1台タブレット端末等を活用し、自分の動きを即座に確認したり、技能のポイントと自分の動きを比較しながら話し合ったりするなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業研究

■教職員を対象としたICTの効果的な活用の推進に向けた研修

- 体育科・保健体育科におけるICTの活用を充実させていくための研修を実施



2 海外・地域・他校とつながる学校！

(単位：千円)

☐ やまぐちスマートスクール構想推進事業（一部）

8,209

1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して、国際感覚の醸成や異文化への理解促進、英語のコミュニケーション能力の向上等を図るため、海外との遠隔授業等を推進します。

■時間と空間を超えた遠隔授業等の推進

○県立学校と海外の学校等をつないだ遠隔授業等の実施を支援するコーディネーターを学校へ派遣

[対象] 県立学校 15校程度/年

[内容] ・各学校の教育目標に合う交流先を紹介
・遠隔授業等の実施に向けた日程の調整や機材の準備、授業時のサポートを担当



明日のやまぐちを担う産業人材育成事業

4,332

ICT環境を活用した資格取得に向けたオンライン講座を実施し、学校の枠を越えた学びの場や学ぶ機会を創出します。

■資格取得のためのオンライン講座を実施

○1人1台タブレット端末等を活用して、複数校が同時に受講可能な資格取得に関するオンライン講座を実施

[内容] 危険物取扱者、簿記、測量士補、フラワー装飾作業等

○デジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座を実施

[内容] 数値制御旋盤・マシニングセンタを活用した機械加工技能士の資格や、シーケンス制御実習装置を活用した電気機器組立技能士の資格等



実施校

- * 県立高等学校(職業に関する学科・総合学科)
- * 県立総合支援学校(就業実践科)

〇〇高校

連携



講師

▽▽専門学校、(株)◇◇
やまぐちマイスター 等

オンライン講座

(Web会議システム)
実施校より参加校へ
配信

参加校

〇〇高校

△△商工高校

□□総合支援学校



将来の山口県を担う人材の育成に向け、最先端の研究の動向を踏まえた講義・演習やオンライン講座、ICTを活用して取り組むハイレベル課外授業等を実施し、高校生が学校の枠を越えて切磋琢磨する機会を創出します。

■アドバンスト・フロントランナー育成コース

○本県の課題解決に取り組み、将来を担う人材の育成に向け、選抜性の高い大学を志望する高校生の意欲と学力の向上 など

[対象] 県内高校生徒 60 名（1 年生 20 名程度、2 年生 25 名程度、3 年生 15 名程度）

[内容] ・SDG s 等をテーマとして有識者等による講義・演習を実施
 ・1 人 1 台タブレット端末を活用し、大学教授等によるオンライン講座を実施



■ドリカムゼミ

○大学進学に必要な高いレベルの知識・技能の習得

[対象] 県内高校生徒 120 名（1 年生 40 名程度、2 年生 50 名程度、3 年生 30 名程度）

[内容] ・全県合同のハイレベル課外授業を実施
 ・対面での講座に加え、1 人 1 台タブレット端末を活用して、オンライン講座を実施



1 人 1 台端末を効果的に活用して、来日直後の児童生徒が、日本の学校生活について必要な知識等を集中的に身に付けることができるようにする遠隔・オンラインによる日本語教育を推進します。

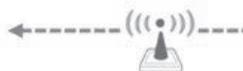
■NPO 法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施

○日本語指導が必要な児童生徒を対象に、遠隔日本語教育に知見を有する民間団体によるオンライン日本語指導を実施

○対象児童生徒は、1 人 1 台端末を活用して、日本語レベルに適した双方向のオンライン日本語指導や学習支援講座を集中的に受講



【NPO 法人】



【オンライン】



【学校】



【実際の授業の様子】

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

(単位：千円)

教育ICT管理運営費（一部）

3,432

誰一人取り残すことのない個別最適な学びができるように、その基盤となるICT機器の提供を行います。

■分身ロボット等の活用

○障害や疾病等により通学が困難な児童生徒に学びの機会を保障するため分身ロボット等を活用



新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業（一部）

4,433

いじめ・不登校等対策強化事業（一部）

7,970

いじめや不登校等、悩みを抱える児童生徒などに対して、オンラインを活用した広域的な支援体制を整備し、教育相談体制を強化することで、いじめや不登校の未然防止の充実を図る。

■1人1台タブレット端末を活用したオンライン教育相談

○スクールカウンセラーが勤務する公立中学校及び高校の生徒だけではなく、保護者からも子どもに関する悩みや相談を気軽に自宅から相談ができるように、スクールカウンセラーによるオンライン相談及びチャット相談を実施する。



国公立高校生奨学給付金事業（一部）

34,874

高等学校等に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

■高校生等奨学給付金

[対象者] 道府県民税・市町村民税所得割額非課税世帯で国公立の高等学校（専攻科含む）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒

[支給対象] ICT端末の持ち帰り等への対応に伴う通信費（相当額を給付金単価に算入）

就学奨励費（一部）

16,836

特別支援学校に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、ICT機器等の学用品購入費や家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

■特別支援教育就学奨励費負担金等

[対象者] 特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

[支給対象] 学用品として通常使用するICT機器の購入費（高等部のみ加算あり）

オンライン学習を実施した場合の保護者等が負担する通信費（支弁区分Iのみ）

IV 第3期県立高校将来構想に基づく高校教育の充実

(単位：千円)

新 県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業

13,211

県立高校の再編整備により、居住地域に県立高校がなくなることに伴い、予期せぬ進路変更のため遠距離通学が必要となった生徒が、経済的理由によって高校進学を断念することのないよう、通学費の支援を行います。

■遠距離通学支援制度

[対象者]

県立高校の再編整備により、平成の合併前の市町村単位で高校がなくなった地域に居住し、県内の高等学校（私立高校含む）に通学する生徒

[対象経費]

公共交通機関等により通学に要する経費の7千円/月を超える額（上限額1万円/月）

[期間]

募集停止後5年間

募集停止となった前年度に中学生であった者が高校を卒業するまで支援

県立学校施設整備事業（高校再編整備）

172,100

県立高校将来構想に基づく、より質の高い高校教育を提供できるよう必要な施設整備を行います。

[岩国高校の併設型中学校整備に係る設計（中高一貫教育化）]

併設型中学校の設置に伴い必要となる普通教室、特別教室等について、老朽化した特別教室棟の改築と併せて整備

[下関西高校の併設型中学校整備に係る設計（中高一貫教育化）]

併設型中学校の設置に伴い必要となる普通教室、特別教室等について、普通科教室棟の内部改修と老朽化した特別教室棟の改築に併せて整備

[山口農業高校の新実習施設整備に係る設計（造園の教育機能の充実）]

造園の教育機能を充実するため、老朽化した実習施設の改築を実施

等

新 地域連携教育再加速化事業（一部）

11,824

県立高校等の「総合的な探究の時間」において、地域・社会と連携・協働した取組を実施し、実社会や実生活において生きて働く資質・能力の育成をめざします。

■やまぐち型社会連携教育推進事業

○社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発

○リアルな体験を通じた多様な他者との「協働的な学び」の実施

○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会でカリキュラムの共有・評価・改善の実施

V いじめ・不登校等対策の充実

(単位：千円)

新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業

26,147

中学校及び高校入学前に全ての生徒に心理教育テストを実施し、SC（スクールカウンセラー）と児童生徒・保護者面談や、出身学校と進学先の教職員やSCとの情報交換を行うとともに、入学後4月にSCとの教育相談を行うことで、入学後も切れ目のない支援体制を構築し、いじめや不登校等の未然防止に係る教育相談体制の充実を図ります。

- 取組① 全国初の取組として、入学前の生徒（中学校及び高校）を対象に心理教育テストを実施
 - 入学前の全ての生徒を対象に心理教育テストを実施し、小学校、中学校で不登校になっていた生徒や個別の支援計画をもつ生徒、進学先の学校生活で不安や悩み等を抱える生徒など、入学後にサポートが必要な生徒を早期に把握する。
- 取組②-1 全国初の取組として、入学前の生徒、保護者を対象にSC面談を実施
 - 取組①で把握した生徒及び保護者を対象に、SCが面談を実施
- 取組②-2 出身学校の教職員等との情報共有
 - 取組①で把握した生徒の出身学校の教職員等と進学先のSCが情報共有を行う。
- 取組③ 入学後、SCによる早期の教育相談
 - 取組①、②で教育相談が必要と判断した生徒及び保護者を対象に、入学後4月に2回、SCが対面での教育相談やオンライン相談（チャット相談）を実施する。

入学前の支援として 新たな2つの取組

①心理教育テストや、②生徒やその保護者に対するSCによる面談の実施、出身学校の教職員とSC等が情報交換できる体制を確立し、入学後の学校生活へ強い不安や悩みを抱える児童生徒を各学校が早期に把握



入学後の支援として 新たな1つの取組

従来までのカウンセリング体制に加えて、③入学後4月に学校生活への不安や悩みを抱える生徒やその保護者が、SCと対面での教育相談（自宅からSCにオンライン相談やチャット相談ができる体制も整備）を行うことで、入学後の学校生活への支援を強化

いじめ・不登校等対策強化事業

182,803

「山口県いじめ防止基本方針」に基づき、生徒指導上の諸課題に実効的に対応するため、外部専門家の配置や、関係機関との連携強化等による生徒指導・教育相談体制の充実を図ります。

■いじめ相談・支援体制の充実

- 全ての公立学校の児童生徒がスクールカウンセラー（SC）に相談できる体制の整備
- 中学校区単位でSCを配置し、コミュニティ・スクールの連携・協働体制等を生かしながら、小中連携により、SCを中核とした義務教育9年間の切れ目のない支援体制を構築
- 1人1台タブレット端末等を活用した、オンラインによる相談・カウンセリングの推進

- スクールソーシャルワーカー（SSW）による児童生徒・家庭への支援体制の充実
- エリアスーパーバイザーによる市町SSWへの指導助言及び県立学校支援
- ファミリー・リレーションシップ・アドバイザー（FRアドバイザー）の派遣
- 全公立学校でSCによる「心理教育プログラム」等の心の教育を実施

■SNSを活用した相談体制の運用

- SNSを活用して、いじめや不登校などの悩みについて、24時間いつでも連絡できる窓口を整備
⇒ 電話相談に比べ、身近な悩み等を気軽に連絡できる等の効果

■いじめの重大事態に係る外部専門家による児童生徒支援

- 重大事態等に対してSC、SSW等の専門家を派遣し、心のケア・早期復帰を支援
- SC、SSW合同研修会による外部専門家の資質向上及び連携強化

■学校メンタルサポート事業

- 学校だけでは解決困難な問題行動等への緊急対応及びそのことに起因する幼児児童生徒や教職員等の精神的なケアなどのため、臨床心理士等の専門家を学校に派遣

■法に基づく県のいじめ対策組織の運営

- 「山口県いじめ問題対策協議会」の開催
- 「山口県いじめ問題調査委員会」の運営

■未然防止等に向けた調査研究事業

- こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究

■研修の充実及び広報・啓発

- 「子どもの未来を考えるフォーラム」の開催
- 大学と連携したネット出前授業
- いじめの未然防止・自殺予防に係る教員研修会



新 不登校対策に係るステップアップルームの設置

給与費

通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う別室（ステップアップルーム）に、担当の専属教員（サポート教員）を配置し、対象生徒に個別の支援を行うことにより、教室への復帰や不登校の未然防止を図ります。

■ステップアップルームにおける不登校対策の取組

- 専属教員（サポート教員）を配置
 - ・県内20校程度の中学校にサポート教員を配置し、教室への復帰や不登校の未然防止に取り組むため、ステップアップルームに通う生徒の学習支援を行うとともに、学校行事等（オンライン参加を含む）への参加を計画し、集団生活への適応について支援する。
- 不登校等生徒への支援の充実に向けた連絡会議の開催
 - ・ステップアップルーム実践校や市町教育委員会を対象に連絡会議を開催し、不登校対策の取組等についての情報交換及び協議等を行う。

VI 学校等における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策

(単位：千円)

感染症流行下における学校教育活動体制整備事業

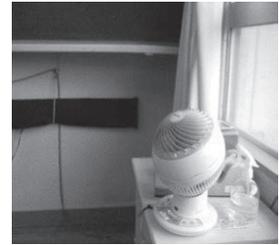
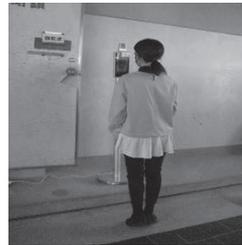
R4補正：113,400

各県立学校が新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、感染症対策に必要な保健衛生用品等の購入を行います。

■学校における感染症対策に必要な用品等の購入

○購入用品(例)

- ・消毒液等の保健衛生用品
- ・CO₂モニター、サーキュレーター等の換気用備品



県立学校における感染症防止対策事業

70,538

平常の新型コロナウイルス感染防止対策に加え、学校の教育活動がより安心・安全なものとなるよう、県立学校の希望する生徒・教職員に対して随時のPCR検査を実施します。

■学校行事等における事前・事後のPCR検査の実施

部活動の大会・コンクール、修学旅行、各教科学習の一環として実施される大会・行事等の校外での活動を行う際や寮生の帰寮の際の学校における感染リスクをPCR検査の実施により低減させ、安心・安全な教育活動を支援

[対象] 県立学校の生徒・教職員等

[内容] 山口県における地域の感染拡大や学校における地域の感染レベル等を踏まえPCR検査を実施



通学対策費（コロナ対策分）

93,093

県立特別支援学校における自力通学困難な児童生徒の重要な通学手段である通学バスにおける感染リスクの低減を図ります。

■通学バスにおける感染リスクの低減

通学バスに乗車する児童生徒の少人数化を図るため、通学バスの増便や通常運行路線の通学バスの大型化を実施



Ⅶ 7つの分野の主要事業

1 「地域教育力日本一」の推進

(単位：千円)

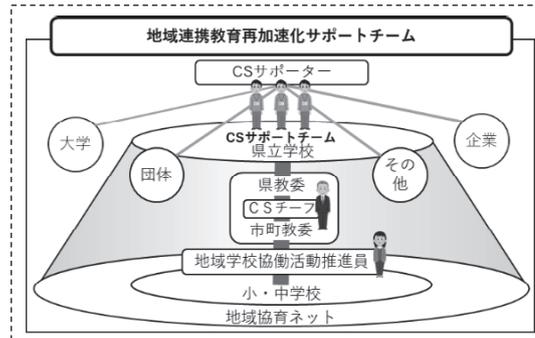
新 地域連携教育再加速化事業

64,530

学校、家庭、地域・社会との新たな協働体制を構築するとともに、子どもと大人の学び合いの場を創出し、コロナ禍で希薄化した人と人とのつながりや地域力を再構築することで、コロナ禍によって停滞した山口県の地域連携教育を再加速させます。

■地域連携教育再加速化サポートチーム

県立学校にCSサポーターを、小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置するとともに、両者を統括するCSチームを各地域に配置し、地域ごとに「地域連携教育再加速化サポートチーム」を設置することで、全県一体的なコーディネートを実施



■子どもが地域の先生プロジェクト

子どもが主体となって、地域の人と人をつなげ、子どもも大人も学び合う活動を実施

[対象モデル中学校区] 7地区 × 1中学校区

[内容] ICT安全利用教室、地域の防災教室、公民館等と連携した講座等における講師、校種間連携による学びの質の向上 等

■総合支援学校コミュニティ・スクール強化事業

障害のある全ての幼児児童生徒が、地域社会と関わる实际的・実践的な体験活動を実施

[対象] 総合支援学校

[内容] ・ 教育課程と関連付けた「ものづくり」「サービス」「スポーツ」等の体験活動の実施
・ 総合支援学校間の連携を強化し、取組を全県展開

■やまぐち型社会連携教育推進事業

県立高校等において、社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」を実施

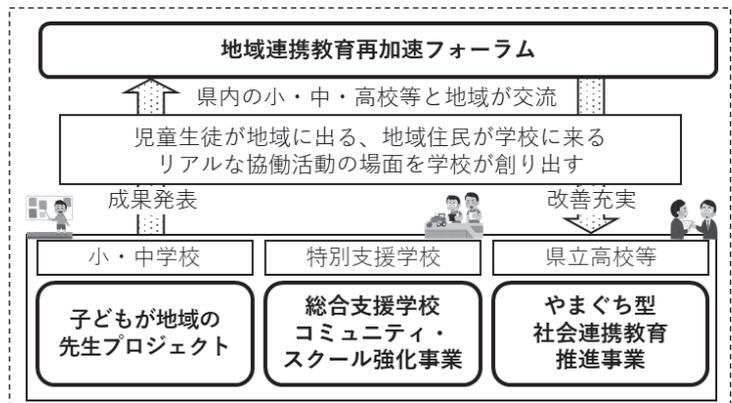
[対象] 県立高等学校等

[内容] ・ 社会と連携・協働した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発
・ リアルな体験を通じた多様な他者との「協働的な学び」の実施



■地域連携教育再加速フォーラム

県立学校及び小・中学校での地域連携教育の再加速に向けた取組の成果についての発表や、小・中・高校生等と地域・社会の大人との交流を通じて、人と人とのつながりの拡大と、各校の取組成果の全県的な普及を促進



学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進します。

1 全県的な推進体制の強化

■山口県地域連携教育推進協議会の開催

各学校・地域において質の高い取組が行われるよう、県施策の充実や改善について協議

[委員構成] 学識経験者、市町教育長代表、幼児教育・保育関係団体、社会教育関係団体代表 等

2 推進の核となる人材の養成

■地域協育ネットコーディネーター・家庭教育アドバイザー養成講座及びステップアップ講座の開催

[実施内容] 地域活動の核となるコーディネーターや子育てに関する相談に応じる家庭教育アドバイザーとして必要な知識・技能を身に付けるための講座を開催

3 研修の充実

■地域連携教育管理職研修会の開催

動画配信によるオンライン研修として実施

■地域連携教育に係る担当者を対象にした研修会の開催

CS担当者、地域協育ネット担当者、地域学校協働活動推進員等並びに地域連携担当教職員の資質向上及び連携強化に向けた実践発表や講義、熟議等の研修を実施

4 活動充実に向けた普及啓発

■地域連携教育に係るリーフレット等の作成・配布及び取組事例の紹介資料の作成・周知

■地域連携教育広報番組「はつらつ山口っ子」制作・放映（第3日曜日「家庭の日」放映）

5 地域学校協働活動の充実

■地域協育ネット等の取組・放課後子ども教室・地域未来塾の充実【実施主体：市町】

■地域学校協働活動推進員の活動充実【実施主体：県・市町】

[実施内容] ・中学校区における学校間の連携や地域の支援者との連絡調整等の活動充実
・「地域学校協働活動推進員」の活動拠点設置のための情報提供や相談対応

■家庭教育支援の充実【実施主体：県・市町】

[実施内容] 保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の実施、情報提供や相談対応等の支援活動を実施することにより、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう支援を充実

- ・「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置促進
- ・県PTA連合会と連携した家庭教育支援の普及啓発



訪問型家庭教育支援
ハンドブック

学校を核とした人づくり・地域づくりの好循環を創り出すことをめざして、県立学校のコミュニティ・スクールを充実させ、地域の活性化や地域課題の解決に向けた拠点としての機能の向上を図ります。

■県立学校と地域との協働体制推進事業

[取組内容]・各学校・学科の特色に応じて、地元地域や大学・企業等との協働体制を確立し、地域の活性化に貢献する、高等学校ならではの取組を実施
 ・共生社会実現に向け、コミュニティ・スクールである総合支援学校と地域協育ネット等が連携した取組を実施

■学校運営協議会推進事業

[取組内容]・学校運営協議会の運営・充実
 ・運営協議会の検討内容やプロジェクト実践状況の把握
 ・地域連携の取組事例の県立学校への普及



学校運営協議会の様子

新 地域と連携したリアルな体験活動充実事業

10,416

学校や地域、企業、教育機関等と連携したリアルな体験活動を通じて、多様な他者との協働的な学びを提供する山口県の地域連携教育のモデル事業を構築し、県内普及を図ることにより、子どもたちの非認知能力（自己肯定感、自律性、協調性、積極性等）の向上をめざします。

■多様な主体と連携した体験活動モデル事業の構築

○“島じゅうキャンパス” チャレンジ&エコツアー

[内容] やまぐちアドベンチャーキャンプと体験エコツアーを組み合わせたプログラム（夏7泊8日・冬2泊3日）

・やまぐちアドベンチャーキャンプ

世界的な冒険教育機関である OBS（Outward Bound School）の手法を取り入れ、野外活動とカウンセリングを組み合わせた長期自然体験活動（バックパッキング、テント泊、野外調理、ソロ等）

・体験エコツアー

地域の特色を生かし、自然環境や歴史文化等を体験しながら学ぶプログラムで、高校生・大学生が企画し、地域団体や企業等の連携・協働によって具現化する短期のエコツアー（マリンアクティビティ、環境学習、サイクルツアー、職業体験、学習成果発表会等）

[場所] 周防大島町の山域及び海域周辺

[対象] 県内小・中学生 50 人程度が対象（いじめや不登校等悩みを抱える児童生徒を優先）



■県内各地の体験活動充実に資する指導者養成

○やまぐちアドベンチャーキャンプ指導者研修会

・野外活動とカウンセリングを組み合わせた OBS 手法を活用した長期の自然体験研修（8泊9日）

○AFPY の手法を学ぶ研修会

・人間関係づくり等に係る段階的な研修（年3回）

○体験活動ボランティア養成研修会

・県内4つの自然の家の特色を生かした体験プログラムを活用した研修会（高校・大学生対象）



2 教育を通じた「ふるさと山口」の創生

(単位：千円)

新 企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト

5,393

専門高校において、脱炭素化に取り組む県内企業と連携した教育活動を展開し、カーボンニュートラルの実現を担う人材の育成を図ります。

■カーボンニュートラルの実現に向けた企業と連携した教育活動の実施

○専門高校とカーボンニュートラルの実現に向けて先進的に取り組む企業が連携し、学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等の教育活動を実施

[対 象] ○県立高等学校（専門学科）

[内 容] ○Technology 関連企業との連携

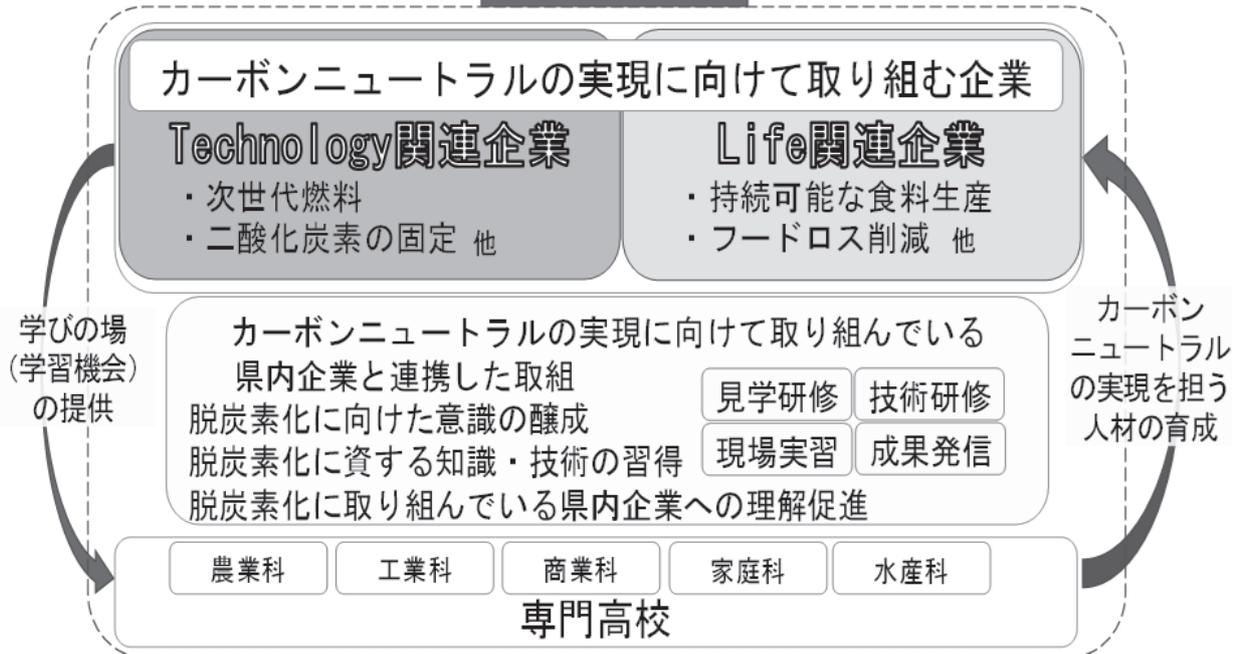
- ・高度で専門的な知識・技術への理解を深めるため、脱炭素化に関する先進的な技術を有する企業において、研修や企業見学等を実施
- ・産業現場において、技術研修や現場実習を実施

○Life 関連企業との連携

- ・専門分野を越えた幅広い知識・技術を身に付けるため、カーボンニュートラルに幅広く取り組む企業において、研修や企業見学等を実施
- ・企業や他校・他学科と連携した教科横断的な取組の実施

2050年カーボンニュートラルの実現

“山口県の活力の源となる産業力の伸長”



「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」を3つの柱とし、高校生の主体的な県内就職を促進します。

■県内就職ガイダンス等充実事業

- 地域に就職した卒業生や山口県にIターン等した若者と高校生との座談会等を各学校で実施
- 関係機関との連携による就職に向けた意識の醸成を図るガイダンス等を各学校で実施

■県内就職サポーター等配置事業、県内企業訪問推進事業

- 個別の就職相談を踏まえた求人開拓、情報提供、県全域でのマッチングを促進
- 教員等による求人要請等のための企業訪問及び就職を希望する生徒による職場見学



[県内企業就職説明会の様子]

■県内企業就職セミナー事業、県内就職促進協議会

- 県内で活躍している起業家や企業の経営者等によるセミナーを実施
- 生徒または保護者が企業の採用担当者と直接面談する就職説明会を実施
- 教員等と企業の採用担当者による情報交換



[県内就職促進協議会の様子]

新 Ohana!ハワイ交流プログラム

1, 971

県教委とハワイ州教育局との教育分野の協力に関する覚書締結に基づき、高校生同士の国際交流活動を実施することで、相互の友好を深め、参加者の語学力の向上をめざすとともに、海外留学をする高校生に、留学に必要な経費を支援することで、本県における新たなグローバルリーダーの育成を図ります。

■短期留学支援

[取組内容] ハワイ短期留学（夏季）に係る費用のうち、6万円/人を補助（国費）

■ハワイとの交流活動・留学機運の醸成

- [Aloha ミーティング]
 - ・短期留学の説明、オンライン事前交流会
 - ・ホストファミリーとの事前の顔合わせ
- [Mahalo ミーティング]
 - ・留学体験発表会、ハワイ高校生とのオンライン交流
 - ・1日オールイングリッシュでの活動



[ハワイ州教育局との姉妹締結の様子]

東部地域グローバル人材育成事業

108, 110

「地域に住む外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的（グローバル）な視点や経験を生かして、自分たちの地域（ローカル）社会に貢献する活動を行う人材を育成します。

- グローバル人材に必要とされる「語学力・コミュニケーション力」「多様性や多文化共生を理解する力」「自ら考え、物おじせず行動する力」及び「地域で活躍し、自らが地域を変えていく力」の総合的な育成をめざして、5つのプログラムを実施

- [内 容] (1) 語学力育成プログラム（オンライン英会話）
- (2) グローバル探究プログラム（海外研修）
- (3) 国際交流体験プログラム（外国人との交流等）
- (4) ローカル探究プログラム（地域探究）
- (5) グローカル・ラボ（研修）



3 確かな学力の育成

(単位：千円)

新 やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業

12,356

山口県の課題である地域医療の充実や人口減少の改善等に向け、最先端の研究の動向を踏まえた講義・演習、ハイレベル課外授業等を提供することにより、他者と協働して新たな価値を創造する力を育み、将来の山口県を担う人材の育成を図ります。

■メディカル・フロントランナー育成コース

- 地域医療を担う人材の育成に向け、医学部を志望する高校生の意欲と学力の向上
- 県内高校生が一堂に集まり、課題発見・課題解決学習を実施

[対象] 県内高校生徒 60 名（1 年生 20 名程度、2 年生 25 名程度、3 年生 15 名程度）
[内容] 地域医療等をテーマに、医療分野の研究者、医療従事者等による講義・演習を実施（山口大学医学部と連携）
東京大学先端科学技術研究センター等研究施設の訪問、体験プログラムの実施

■アドバンスト・フロントランナー育成コース

- 本県の課題解決に取り組み、将来を担う人材の育成に向け、選抜性の高い大学を志望する高校生の意欲と学力の向上
- 県内高校生が一堂に集まり、課題発見・課題解決学習を実施
- 1 人 1 台タブレット端末を活用し、最先端の研究を行っている大学教授によるオンライン講座を実施

[対象] 県内高校生徒 60 名（1 年生 20 名程度、2 年生 25 名程度、3 年生 15 名程度）
[内容] SDGs 等をテーマに、現代社会の課題や未来社会に向けた取組等についての有識者等による講義・演習を実施
最先端の研究を行っている大学教授等によるオンライン講座、大学生との交流

■ドリカムゼミ（両コース共通）

- 大学進学に必要な高いレベルの知識・技能の習得を図る

メディカル・フロントランナー育成コース	アドバンスト・フロントランナー育成コース
地域医療探究セミナー <ul style="list-style-type: none">・ 医療分野の研究者等による講義・演習の実施※ 山口大学医学部と連携	未来社会創造セミナー <ul style="list-style-type: none">・ SDGs 等をテーマとした講義・演習の実施
先端研究体験プログラム <ul style="list-style-type: none">・ 東大先端研と連携した体験プログラム、大学生との交流	オンライン・アウトリーチ <ul style="list-style-type: none">・ 先端研究を行う大学等の大学教授によるオンライン講座
ドリカムゼミ（共通） <ul style="list-style-type: none">・ 対面とオンラインを組み合わせたハイレベル課外授業	



全ての子どもたちの可能性を引き出すために、特定の学力課題の克服や学習習慣の確立などの課題解決を図るとともに、学習指導要領で求められる資質・能力を本県の子どもたちに確実に身に付けさせ、子どもたちの自己実現を支援します。

■学力PDCAサイクル事業

- 山口県学力定着状況確認問題の作成及びC B Tによる実施
- 学力分析支援ツールの提供と活用促進 等

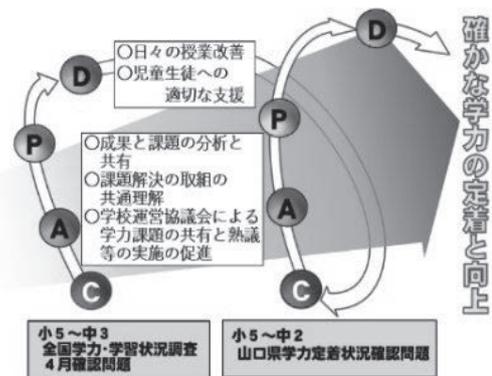
■授業力アップ事業

- キャリアステージに応じた研修会の実施
 - ・管理職リーダーシップアップ研修
 - ・ミドルリーダーレベルアップ研修
 - ・若手教員スキルアップ研修
- 授業力向上実践研究の推進（指定校：県内7校）



■やまぐち学習支援プログラム充実事業

- やまぐち学習支援プログラムの活用促進
 - ・基礎基本の確実な定着を図る「やまぐちっ子学習プリント」通常版
 - ・思考力、判断力、表現力等の問題を中心に作成された「やまぐちっ子学習プリントプラス」
 - ・各種調査から課題の見られた問題を取り上げた「やまぐちっ子学習プリントDASH」
- 「やまぐちっ子学習プリント」等を活用した家庭学習の充実
- 地域の教育力を活用した補充学習等の促進



やまぐち燦めきサイエンス事業

将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、宇宙開発を含む科学技術に対する興味・関心の喚起や体験的・探究的活動の充実など、質の高い系統的・継続的な理数教育の推進を図ります。

■ヤング・サイエンティスト拡大事業（YSE事業）

- 山口大学や地域の産業界と連携した科学教室の実施
- 科学教室に高校生が講師として参加

■やまぐちサイエンス・サポート事業（YSS事業）

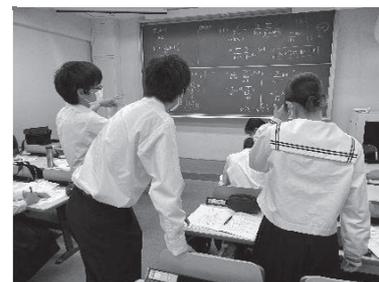
- 体験的・探究的な教育活動の展開
- 大学や研究所などの外部専門機関との連携

■やまぐちサイエンス・チャレンジ事業（YSC事業）

- やまぐちサイエンス・キャンプの開催
- 「科学の甲子園 Jr」山口県大会の開催
- 「科学の甲子園」山口県大会の開催

■やまぐち宇宙教育推進事業 with JAXA（YSJ事業）

- 授業連携（小・中学校）
- 授業連携・課題研究支援（高校）
- やまぐち版宇宙体験ツアーの実施（一般県民対象）



4 豊かな心・健やかな体の育成

(単位：千円)

新 やまぐち部活動改革推進事業

44,241

少子化の中でも将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会確保をめざし、公立中学校等における休日の部活動の地域連携や地域移行に向けた部活動改革を推進します。

■説明会の開催

○学校・保護者・関係団体等を対象とした部活動の地域移行に係る説明会の実施

■協議会等の開催

○県及び各市町における部活動改革に向けた関係者からなる協議会の開催

■部活動指導員の配置

○部活動において技術的な指導や大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を公立中学校に配置（139人）

○学校部活動の円滑な地域移行に向けた指導者の人材確保方策として、部活動指導員を配置

■システムの設置や改修

○困窮世帯支援に係るシステムの設置、改修等を行う市町に対し必要経費を支援

■実践研究の実施

○部活動の地域連携や地域移行に向けた市町における複数校による合同部活動等の実践研究の実施により、研究成果を県内で普及・展開

《観光スポーツ・文化部の取組（※観光スポーツ・文化部で予算計上）》

○実証事業の実施

・市町における地域連携・地域移行に向けた新たな取組事例の創出
 <コーディネーターの配置、人材発掘、関係団体等との連携、費用負担支援 等>

○人材バンクの設置

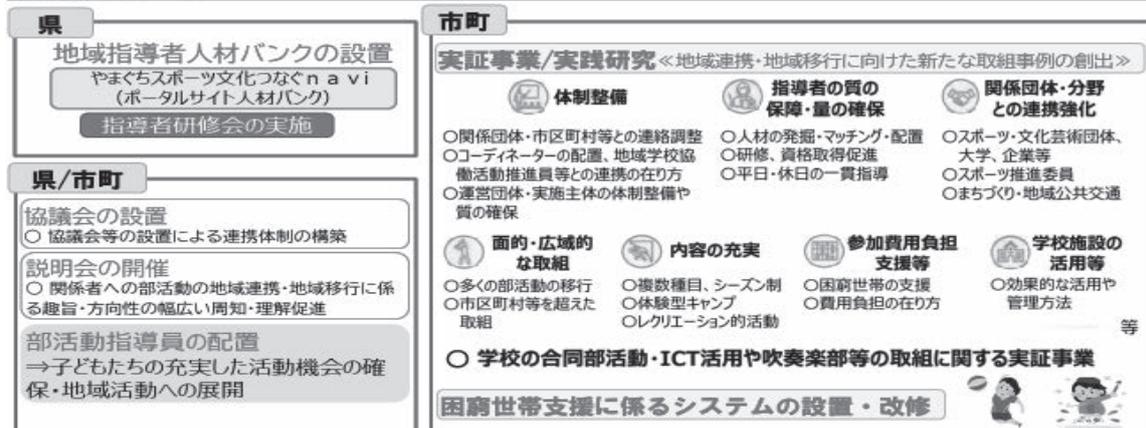
・地域指導者の情報を一元化して提供する人材バンクの設置

○地域スポーツ・地域文化芸術指導者研修会の開催

やまぐち部活動改革推進事業

公立中学校の部活動について、少子化の中でも、将来にわたり本県の子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことが出来る機会を確保していくため、地域移行に向けた取組を推進する。

○事業スキーム



地域における持続的な子どものスポーツ・文化芸術活動の機会確保

「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点として、幼児教育・保育施設に対し、国公立立や施設類型の区別なく研修等の機会や情報を提供して、幼児教育・保育の質の向上を図ります。

■保育士・幼稚園教諭・保育教諭に対する研修

○現場のニーズ等に対応した専門研修の拡充

■市町や幼児教育・保育施設に対する助言

○幼児教育アドバイザー等による訪問支援の拡充
○アドバイザー配置による次世代アドバイザーの育成

■乳幼児期の教育及び保育に関する情報提供・啓発

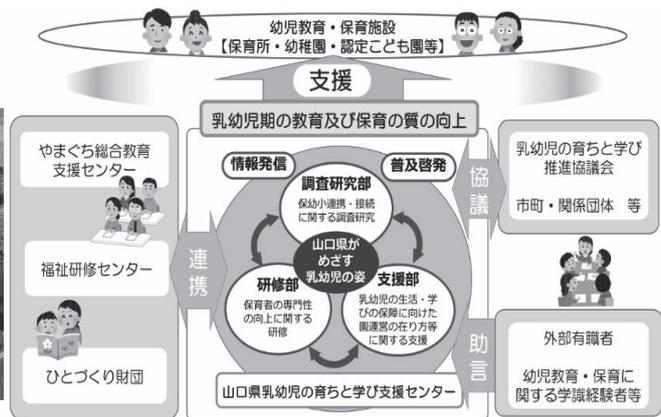
○幼児教育・保育施設、保護者等への情報発信
○保護者向けセミナー

■乳幼児期の教育及び保育に関する調査研究



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言・情報提供等の施策を総合的に実施する拠点



遊び・運動大好き！体力向上推進事業

子どもの発達段階に応じた望ましい運動習慣形成をめざし、保護者・保育者・小学校教員等への運動遊びの重要性に関する普及・啓発及び、子どもたちが継続的に多様な運動遊びを経験できる機会の提供等により、子どもの運動習慣の改善・定着や体力の向上を図ります。

■発育発達に応じた運動遊び指導講習会の開催

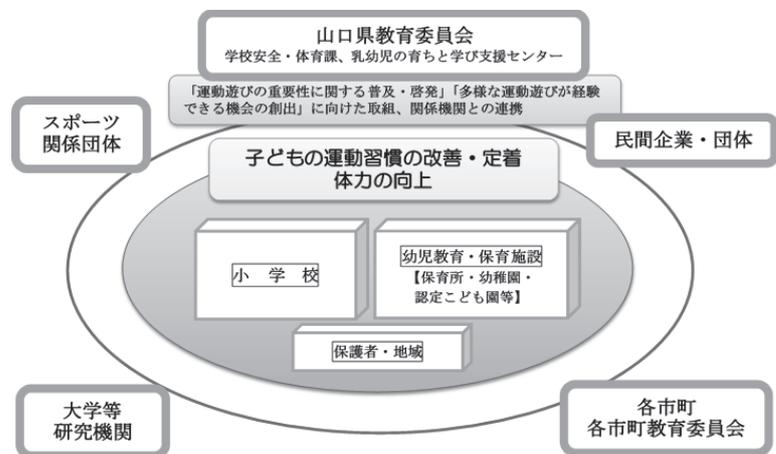
- ・幼稚園・保育園・小学校教員等関係者、保護者を対象とした子どもの運動習慣形成に係る研修会の実施
- ・スポーツ関係団体や民間企業等の専門家との連携

■幼児・児童対象の出前授業の開催

- ・子どもたちが継続的に、多様な運動遊びを経験できる出前授業の実施
- ・スポーツ関係団体や民間企業等の専門家との連携

■親子対象の運動遊び教室の開催

- ・多様な運動遊びが体験できる親子運動遊び教室の開催
- ・スポーツ関係団体や民間企業等の専門家との連携



5 魅力ある学校づくりの推進

(単位：千円)

新 日本語教育支援体制整備事業

29,370

日本語指導が必要な児童生徒が、適切な指導・支援の下で将来への現実的な展望がもてるようにするため、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、日本語指導補助者・支援員等による継続的な支援を行い、切れ目ない日本語教育を推進します。

■NPO 法人との遠隔・オンライン日本語指導の実施

- 日本語指導が必要な児童生徒を対象に、遠隔日本語教育に知見を有する民間団体によるオンライン日本語指導を実施
- 対象児童生徒は、1人1台端末を活用して、日本語レベルに適した双方向のオンライン日本語指導や学習支援講座を集中的に受講



【NPO 法人】



【オンライン】



【学校】



【実際の授業の様子】

■指導補助者・支援員等による日本語教育サポートの補助

- 日本語指導が必要な児童生徒が、在籍学級において一斉指導を受ける中で、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等が、日本語指導が必要な児童生徒のそばに付き添って学習を支援し、教科学習に必要な日本語能力の向上を図る取組を補助

インクルーシブ教育システム推進事業

15,814

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育に係る体制整備を図ります。

■総合支援学校における医療的ケア実施体制の充実

医療的ケアを必要とする児童生徒の校外での安心・安全な学習機会の確保のため、校外学習等に学校看護師が同行

■就職支援コーディネーターの配置

高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、コーディネーターを配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施

県立学校施設整備事業（教室不足対策）

1,802,635

児童生徒数の増加等に伴う総合支援学校の教室不足に対応するため、必要な施設整備を行います。

■教室不足対策

- 豊浦総合支援学校の移転整備に係る工事
- 宇部総合支援学校の厨房棟新築に係る工事

【豊浦総合支援学校移転整備】

敷地が狭隘でグラウンドがなく、増加傾向の児童生徒数に対応する教室の確保が困難な状況等を踏まえ、旧響高校跡地への移転整備により諸課題の解消と特別支援教育の充実を図る。

【完成予想図（小中学部・特別教室棟）】



6 教職員人材育成の推進

(単位：千円)

新 人づくりを支える教師確保推進事業

8,200

教員志願者の著しい減少による「教師不足」の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者増加等を図り、本県の人づくりを支える教師の確保を推進します。

■魅力PR動画「地域が味方の“やまぐちの先生”」（仮称）の作成

○教職の魅力ややりがい、山口県教育の魅力（地域連携教育、スマートスクール構想等）を分かりやすく伝える動画の作成・配信

■教職に就いていない免許保有者等に向けた教職入門セミナーの実施

○教職に就いていない免許保有者等が、採用試験や臨採登録について学ぶとともに現職教員と交流するセミナーの開催

■全国に先駆けて、教員免許未取得者を対象とした特別選考を新設

○教員採用試験において、教員免許未取得者が受験できる特別選考を新設し、合格者には、教員免許取得のための費用を補助



教員募集パンフレットより

教員業務支援員配置事業

40,700

新 やまぐち部活動改革推進事業（一部）

27,658

やまぐち部活動応援事業

7,508

教員の長時間勤務を改善し、持続可能な学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、学校の事務的業務を補助する「教員業務支援員」を配置する市町を支援します。

また、専門的な知識・技能を有し、単独での指導や大会への引率等を行う部活動指導員の配置等を行うことで、部活動の適正化と顧問の負担軽減を図ります。

■教員業務支援員

〔配置〕市町立小・中学校 110人

＜業務内容＞

○印刷等業務、学習・学級事務業務、集計・データ入力等業務 等

■部活動指導員

〔配置〕公立中学校、県立学校 169人

＜事業内容＞

○指導員の配置、県立学校部活動指導員等の資質向上

「教職員人材育成基本方針」に基づき、教職員のキャリアステージに応じて、計画的・継続的に資質能力の向上を図るとともに、新たに研修履歴記録システムを活用した「新たな教師の学び」を支える研修体制づくりを推進します。

■研修の充実・強化

- 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現」に向けた研修の充実
- 「組織的な取組の充実をめざす地域連携教育研修」等、独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した研修の実施

＜研修の基本方針＞

- ① 教職員のキャリアステージに応じて、計画的・継続的に資質能力の向上を図る。
- ② 教職員一人ひとりの適性や能力に応じて専門性を高める。
- ③ 学校の課題解決に向けた組織的な学校運営を支援する。
- ④ 教育活動の推進に向けて、中核となる人材を育成する。



NITS と連携した専門研修

新 「新たな教師の学び」を支える研修体制づくり

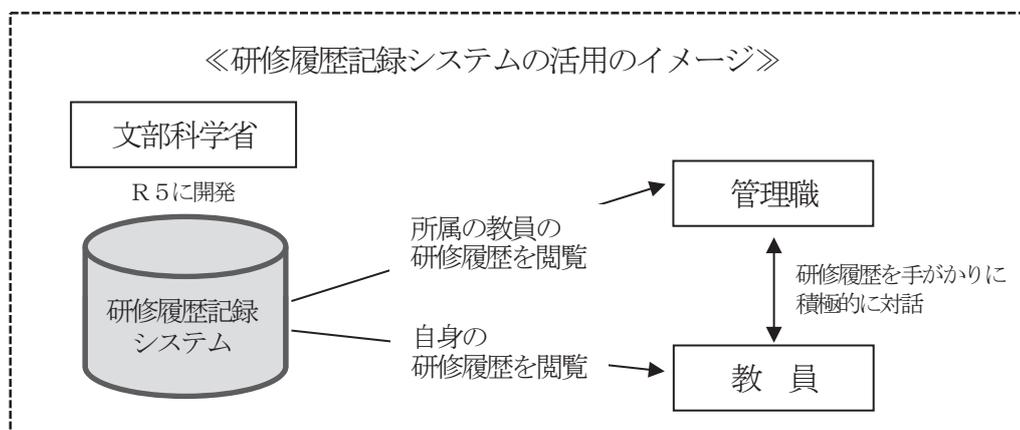
○教員研修の高度化モデル開発

研修観の転換・定着に向け、研修の合理化・効率化に資する取組の高度化モデルを構築

- ・活動目標（アウトプット）：研修高度化の取組の進展
- ・成果目標（アウトカム）：研修観の転換・定着の進展

○研修履歴記録システムの活用

- ・令和5年度に国がシステムを開発し、県が当該システムを試行運用
- ・「新たな教師の学び」に向け、教員と管理職による積極的な対話と管理職による適切な研修受講奨励を通して、一人一人の教員の主体的・個別最適・協働的な学びを支援する。



7 安心・安全な学校づくりの推進

(単位：千円)

学校安全総合推進事業

4,618

「第3次山口県学校安全推進計画」を踏まえ、学校安全の取組を総合的かつ効果的に推進していくため、「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全(防災)」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施します。

■第3次山口県学校安全推進計画に基づく取組の推進

各学校における安全確保に向けた取組状況の再検証及び、地域の実情に応じた実効性のある取組の在り方についての研修の実施

○地域別学校安全推進研修会

[対象] 公・私立学校管理職・教職員、市町教委、学校運営協議会関係者等

[実施内容] 各地域で特色ある取組を実践している学校の発表、学校安全計画・危機管理マニュアルなど学校安全に関する協議 等

■地域ぐるみの学校防災総合推進事業

大規模災害の発生に備え、学校が家庭・地域・関係機関との連携を強化するとともに、災害発生時に児童生徒が自らの安全確保と他の人々や地域の安全に貢献する力を育成

○やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした地域ぐるみの防災キャンプ

○熊本地震等の防災ボランティア活動講演会

○専門家等と連携した出前授業や学校防災アドバイザーの派遣

■子どもたちの安心安全総合推進事業

やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした、学校・家庭・地域が連携した防犯を含む生活安全や交通安全の取組の実施

[対象] 児童生徒、保護者、教職員、地域住民等

[実施内容] 学校運営協議会等による通学路の安全点検・安全マップづくり、学校安全アドバイザーの派遣、通学路安全対策合同会議の開催、防犯教育研修会の実施、学校事故対応に係る研修会の実施

【段ボールベッドづくり】



避難所生活について実習

【簡易担架づくり】



地域ぐるみの防災キャンプ

【危険箇所予測訓練】



小中合同KYT授業

県立学校施設整備事業（長寿命化、耐震化、空調設備整備等）

1,067,901

安全で快適な学習環境を整備するため、長寿命化計画（個別施設計画）に基づいた施設整備や非構造部材の耐震対策、空調整備等を実施します。

■施設整備による教育環境の充実

○長寿命化対策実施校：岩国工業高校、西京高校等

○非構造部材耐震対策実施校：山口農業高校、大津緑洋高校等

○空調設備整備実施校：県立高校等

8 その他の主要事業

(単位：千円)

公立高等学校等就学支援事業

2,092,729

公立高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を適正に行うため、国の制度に沿って一定の所得制限を設けた上で、授業料相当額として就学支援金等を支給します。

■高等学校等就学支援金

[対象者] 世帯年収約910万円未満の世帯で公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）に在学する生徒

[支給額] 全日制：9,900円/月、定時制：900円/月、通信制：100円/単位

■専攻科修学支援事業

[対象者] 世帯年収約380万円未満の世帯で公立の高等学校専攻科に在学する生徒

[支給額] 世帯年収約270万円未満 9,900円/月
世帯年収約270～380万円未満 4,950円/月

国公立高校生奨学給付金事業

308,268

授業料以外の教育費負担の軽減を図り、生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給します。また、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、家計急変した世帯も対象とします。

[対象者] 道府県民税・市町村民税所得割額非課税世帯で国公立の高等学校（専攻科含む）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒

[対象経費] 授業料以外の教育に必要な経費（教科書費等）

[給付年額]

《負担割合》国 1/3 県 2/3

世帯区分			支給額
生活保護	全日制等		32,300円
	通信制		
非課税	全日制等	第1子	117,100円
		第2子 (15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる世帯)	143,700円
	通信制		50,500円
専攻科(生活保護・非課税)			50,500円

就学奨励費

199,464

特別支援学校に通う児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、国の制度に沿って、就学のために必要な経費を支給します。

[対象者] 特別支援学校に在籍する児童生徒の保護者等

[対象経費] 特別支援学校の就学に必要な経費

[主な支給内容等]

《負担割合》国 1/2 県 1/2

経費区分	支弁区分	支給額	経費区分	支弁区分	支給額
学校給食費	I	実費	修学旅行費 (本人経費) ※上限あり	I	実費
	II	実費の1/2		II	実費の1/2
	III	—		III	—
交通費 (本人経費)	I	実費	学用品購入費 ※上限あり	I	実費
	II	実費		II	実費の1/2
	III	実費		III	—

「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会」の実現に向けて、人権教育に関わる学習機会の確保、充実に努めるため、市町で実施する人権教育に係る事業を支援し、市町と連携を図った取組を推進します。

■人権教育を推進するための講座開設事業への補助

[対象] 市町

[内容] ○広く地域住民を対象とした研修
○市町内を巡回して行う研修
○体験・交流活動等を主とした研修
○指導者を養成するための研修

県

広域的な立場から県内の人権教育を担い、人権教育の一定の水準を維持する。

市町への補助を実施し、県と市町が連携して事業を推進することにより県の責務を果たす。

補助金交付

← 連携 →

市町(実施主体)

地域住民にとって最も身近な自治体であり、地域の実情を踏まえたきめ細かな施策を実施することができる。

- ・山口県人権推進指針、山口県人権教育推進資料に基づいた人権教育の推進
- ・講座開設事業

地域社会における人権教育の推進

県立学校給食費に係る物価高騰差額補助事業

県立学校において、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食が実施されるよう、物価高騰に伴う学校給食費の高騰に対応するため、引き続き、保護者負担の軽減を目的とした支援を実施します。

■県立学校の学校給食費の高騰に対する支援

○令和3年度末から令和5年度末までに給食費の引上げの必要性が生じた場合に、保護者負担額が軽減されるよう、支援を実施

[対象学校] 学校給食を実施している県立学校
県立中学校、県立中等教育学校（前期課程）、
定時制課程夜間部を置く県立高等学校、県立特別支援学校

[対象経費] 令和3年度末から令和5年度末までの給食費の引上げに伴う差額



新 特別展「やまぐち 大考古博」開催費

県立山口博物館で、東京国立博物館から借用する里帰り資料をはじめ、県内各地から出土した貴重な考古資料を一堂に集め、山口県の魅力を交流・産業・政治の視点から発信する特別展を開催します。

■開催期間 令和5年7月21日（金）～9月3日（日）[会期：36日間]

■展示構成

- 1 東アジア交流と弥生人の到来
- 2 ヤマト王権と瀬戸内の古墳
- 3 古代産業の先進地 周防・長門
- 4 西の京 山口から世界遺産 萩城下町へ

《みどころ》

- ・山口県の遺跡発掘成果を結集（約40年ぶりの考古特別展）
- ・県内で発掘された優品の東京国立博物館からの里帰り展示（県内初の規模13件）
- ・山口の歴史と魅力を語る品々を一挙公開（国・県指定文化財を含む約100点）

■県内関連施設等との連携 スタンプラリー、展示、山口ふるさと大使によるトークショー等



VIII 事業一覧

1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

施策名	事業名	頁
①キャリア教育の推進	【翻】企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト【再掲】 キャリア教育総合推進事業	31
②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の充実	【翻】次世代の教育環境デジタル化推進事業【再掲】 【拓】やまぐちスマートスクール構想推進事業【再掲】 遊び・運動大好き！体力向上推進事業【再掲】 学びに向かうやまぐちっ子育成推進事業【再掲】 【翻】企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト【再掲】 【拓】やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業【再掲】 やまぐち燦めきサイエンス事業【再掲】 明日のやまぐちを担う産業人材育成事業【再掲】 学習指導要領趣旨徹底事業 道徳教育振興事業 学力向上等支援員の配置	32
③グローバルに活躍し、イノベーションを担う人材の育成	児童生徒の英語力向上事業 国際交流支援員による国際交流推進事業 【新】Ohana！ハワイ交流プログラム 児童生徒慶尚南道友好相互交流事業 外国青年英語指導事業 小学校英語専科教員の配置 東部地域グローバル人材育成事業【再掲】	
④進路指導の充実	やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業【再掲】 【拓】やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業【再掲】 やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業 進学支援推進費	33
⑤読書活動の推進	子ども読書支援センター経費	
⑥学校における人権教育の推進	人権教育調査研究事業 学校人権教育推進事業	
⑦いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実	【翻】中学校及び高校0年生からの教育相談事業【再掲】 いじめ・不登校等対策強化事業【再掲】 スクールロイヤー活用事業 教育相談実施事業 生徒指導・相談体制充実強化のための教員配置	
⑧体力向上の推進	遊び・運動大好き！体力向上推進事業【再掲】 学校体育指導費	
⑨食育の推進	食に関する指導普及事業(保健管理指導費)	34
⑩健康教育の推進	保健管理指導費	
⑪特別支援教育の推進	やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業【再掲】 明日のやまぐちを担う産業人材育成事業【再掲】 インクルーシブ教育システム推進事業【再掲】 キャリア教育総合推進事業【再掲】 特別支援教育センター管理運営費 通学対策費 地域コーディネーターの配置 総合支援学校VR活用事業【再掲】	
⑫幼児期における取組の充実	乳幼児の育ちと学び支援事業【再掲】 幼児教育充実事業 幼児教育の質の向上推進事業 遊び・運動大好き！体力向上推進事業【再掲】	35
⑬少人数教育の推進	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 35人学級化関連事業	

2 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

施策名	事業名	頁
⑭地域連携教育の充実	〔翻〕地域連携教育再加速化事業【再掲】 地域教育力日本一推進事業【再掲】 県立学校コミュニティ・スクール推進事業【再掲】 「ふれあい夢通信」配信事業	
⑮家庭教育支援の充実	地域教育力日本一推進事業【再掲】	
⑯社会教育施設等を活用した教育の充実	〔翻〕地域と連携したリアルな体験活動充実事業【再掲】 博物館学校地域連携教育支援事業 サイエンスやまぐち 2023 開催費 〔翻〕特別展「やまぐち 大考古博」開催費【再掲】	36

3 生涯を通じた学びの充実

施策名	事業名	頁
⑰人生100年時代を見据えた生涯学習の充実	生涯学習推進体制整備事業 図書館資料充実事業	
⑱地域社会における人権教育の推進	市町人権教育推進事業費補助事業 人権教育視聴覚資料整備事業 社会人権教育推進事業	
⑳文化にふれあい親しむ環境づくりの推進	学校芸術文化ふれあい事業 中学生文化活動活性化事業 高等学校総合文化祭推進費	37
㉑「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	〔翻〕やまぐち部活動改革推進事業【再掲】 遊び・運動大好き！体力向上推進事業【再掲】 中学校中国大会全国大会派遣費 中学校高等学校体育大会開催費 全国高等学校体育大会派遣費	

4 豊かな学びを支える教育環境の充実

施策名	事業名	頁
㉒教育施設・設備の整備、教育環境の向上	教育 ICT 管理運営費【再掲】 県立学校施設整備事業【再掲】 産業教育設備整備費 理科数学教育設備費 東部地域高校教育支援事業	38
㉓学校安全の推進	学校安全総合推進事業【再掲】	
㉔学校における働き方改革の推進	教員業務支援員配置事業【再掲】 学校管理指導費 統合型校務支援システム管理運営費【再掲】 〔翻〕やまぐち部活動改革推進事業【再掲】 やまぐち部活動応援事業【再掲】	39
㉕教職員の資質能力の向上	乳幼児の育ちと学び支援事業【再掲】 幼児教育の質の向上推進事業【再掲】 教員資質能力向上推進事業 教職員定数 教員人材確保の推進 〔翻〕人づくりを支える教師確保推進事業【再掲】 〔翻〕教職員等研修事業【再掲】 初任者・中堅教諭等資質向上研修事業 総合教育支援センター管理運営費	
㉖校種間連携・一貫教育の推進	〔翻〕地域連携教育再加速化事業【再掲】 地域教育力日本一推進事業【再掲】 小1フロblem 解消のための30人学級加配教員配置【再掲】 35人学級化関連事業【再掲】 幼児教育充実事業【再掲】	40
㉗多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり	県立学校施設整備事業【再掲】 小中学校日本語指導支援員配置事業 〔翻〕日本語教育支援体制整備事業	
㉙修学支援の充実	〔翻〕県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業【再掲】 公立高等学校等就学支援事業【再掲】 国公立高校生奨学給付金事業【再掲】 県立高校生等奨学事業 離島高校生修学支援事業 定時制通信教育教科書等給与事業	

< 1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進 >

(単位：千円)

施策名	事業名	予算額	事業の概要
①キャリア教育の推進	新 企業から学ぶ！専門 高校カーボンニュート ラルプロジェクト [高校教育課]	5,393	【再掲 17 頁】
	キャリア教育総合推進 事業 [高校教育課] [義務教育課] [特別支援教育推進室]	2,308	○会議の開催により、好事例の共有等、学校、家庭、 地域、産業界等の連携強化を促進 ○体験型や地域活性型のインターンシップを実施
②主体的・対話 的で深い学び の実現に向け た学習指導の 充実	新 次世代の教育環境デ ジタル化推進事業 [教育情報化推進室]	58,898	【再掲 4 頁】
	拡 やまぐちスマートス クール構想推進事業 [教育情報化推進室]	164,092	【再掲 5 頁】 【再掲 7 頁】
	遊び・運動大好き！ 体力向上推進事業 [学校安全・体育課]	10,400	【再掲 6 頁】 【再掲 22 頁】
	学びに向かうやまぐち っ子育成推進事業 [義務教育課]	9,329	【再掲 6 頁】 【再掲 20 頁】
	新 企業から学ぶ！専門 高校カーボンニュート ラルプロジェクト [高校教育課]	5,393	【再掲 17 頁】
	新 やまぐちの未来を創 る！フロントランナー 育成事業 [高校教育課]	12,356	【再掲 8 頁】 【再掲 19 頁】
	やまぐち燦めきサイエ ンス事業 [高校教育課]	9,180	【再 20 頁】
	明日のやまぐちを担う 産業人材育成事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	4,332	【再掲 7 頁】 ○専門高校等において実践的な知識・技術の習得 を図ることにより、将来の県内産業を支える人 材を育成
	学習指導要領趣旨徹底 事業 [義務教育課]	3,656	○学習指導要領の趣旨を踏まえた取組の推進

施策名	事業名	予算額	事業の概要
②主体的・対話的 で深い学び の実現に向け た学習指導の 充実	道徳教育振興事業 (児童生徒学習活動充実事業) [義務教育課] [高校教育課]	8,450	○「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進校による取組(17校) ○道徳科の授業改善に向けた県作成資料を活用した研修の充実
	学力向上等支援員の配置 [義務教育課] [特別支援教育推進室]	給与費	○学力向上に向けた個別指導など、きめ細かな指導を充実させるため、非常勤講師を配置 ▽学力向上等支援、特別支援教育支援
③グローバル に活躍し、イノ ベーションを 担う人材の育 成	児童生徒の英語力向上 事業 [義務教育課]	7,398	○各種研究指定校による取組と成果の普及 ○課題解決のための研修会の開催と成果の普及 ○英語教育推進体制の充実
	国際交流支援員による 国際交流推進事業 [義務教育課]	77,530	○基地周辺地域の市町立中学校等への国際交流支援員の配置を支援
	新 Ohana!ハワイ交流プログラム [高校教育課]	1,971	【再掲 18 頁】
	児童生徒慶尚南道友好 相互交流事業 (児童生徒学習活動充実事業) [教育政策課] [高校教育課]	850	○山口県・慶尚南道のトップ(教育長、教育監)による会談 ○県立高等学校等の生徒と慶尚南道高校生との直接交流体験を実施
	外国青年英語指導事業 [高校教育課]	117,810	○全県立学校でALTによるティーム・ティーチングなどの活動を通じた英語教育の改善・充実と国際教育の推進
	小学校英語専科教員の 配置 [義務教育課]	給与費	○専科教員の専門性に基づく外国語の学習指導を行うため、英語に関する専門的な知識・技能をもった教諭を県内のモデル校に配置
	東部地域グローバル人 材育成事業 [高校教育課]	108,110	【再掲 18 頁】
④進路指導の 充実	やまぐちの活力を支え る高校生就職支援事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	41,968	【再掲 18 頁】
	新 やまぐちの未来を創 る! フロントランナー 育成事業 [高校教育課]	12,356	【再掲 8 頁】 【再掲 19 頁】

施策名	事業名	予算額	事業の概要
④進路指導の充実	やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業 [高校教育課]	2,092	○高校生等が県内大学等を訪問したり、県内大学生等が高等学校等を訪問したりする中で、県内大学等の魅力やよさについて理解を深める取組を実施
	進学支援推進費 [高校教育課]	1,813	○各学校が実施する、進学に関するオリジナリティあふれる取組の支援
⑤読書活動の推進	子ども読書支援センター経費 (図書館管理運営費) [学校運営・施設整備室] [地域連携教育推進課]	442	○子ども読書支援センターによる支援の充実
⑥学校における人権教育の推進	人権教育調査研究事業 [人権教育課]	1,486	○様々な人権課題等に対応した研修資料の作成・配付や指導者養成研修の実施 ○人権に関する児童生徒作品の募集・表彰
	学校人権教育推進事業 [人権教育課]	3,585	○学校教育における指導者の養成 校種やキャリアステージに応じた教職員研修の実施 ○地域との連携に基づく人権教育の研究 地域及び学校において総合的に研究を行い、指導内容や指導方法を開発
⑦いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への取組の充実	新 中学校及び高校0年生からの教育相談事業 [学校安全・体育課]	26,147	【再掲9頁】 【再掲11頁】
	いじめ・不登校等対策強化事業 [学校安全・体育課]	182,803	【再掲9頁】 【再掲11頁】
	スクールロイヤー活用事業 [学校安全・体育課]	596	○学校からの法的相談への対応 ○法的側面からのいじめ予防等に関する授業（公立中・高等学校を対象）の実施 ○学校の適切ないじめ対応等の教職員研修
	教育相談実施事業 [教職員課]	13,006	○やまぐち総合教育支援センターで、課題等を抱える子どもや親、教育現場へ専門的支援を実施 ▽電話相談や専門家による個別相談の実施
	生徒指導・相談体制充実強化のための教員配置 [義務教育課] [学校安全・体育課]	給与費	○児童生徒支援加配教員の配置 問題行動等への対応が困難な小・中学校に配置 ○生徒指導緊急加配教員の配置 問題行動の早期解決を図る小・中学校に年度途中配置
⑧体力向上の推進	遊び・運動大好き！体力向上推進事業 [学校安全・体育課]	10,400	【再掲6頁】 【再掲22頁】
	学校体育指導費 [学校安全・体育課]	6,096	○各校種における教員の指導力及び資質向上を図ることを目的に、外部指導者の派遣や各種研修会を実施

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑨食育の推進	食に関する指導普及事業（保健管理指導費） [学校安全・体育課]	75	○食育推進地域における研究成果の普及啓発 ○食に関する指導研修会の開催
⑩健康教育の推進	保健管理指導費 [学校安全・体育課]	2,597	○歯と口の健康づくり促進活動 ○学校におけるアレルギー疾患対応委員会 ○学校におけるがん教育推進事業
⑪特別支援教育の推進	やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	41,968	【再掲 18 頁】
	明日のやまぐちを担う産業人材育成事業 [高校教育課] [特別支援教育推進室]	4,332	【再掲 7 頁】 ○専門高等学校等において実践的な知識・技術の習得を図ることにより、将来の県内産業を支える人材を育成
	インクルーシブ教育システム推進事業 [特別支援教育推進室]	15,814	【再掲 23 頁】
	キャリア教育総合推進事業 [高校教育課] [義務教育課] [特別支援教育推進室]	2,308	【再掲 31 頁】
	特別支援教育センター管理運営費 [特別支援教育推進室]	2,160	○県内 7 地域に設置した特別支援教育センターにおいて障害のある子どもやその保護者、小・中学校等に対する支援を実施
	通学対策費 [特別支援教育推進室]	574,554	【再掲 13 頁】 ○総合支援学校（10 校）の通学バスを運行
	地域コーディネーターの配置 [特別支援教育推進室]	給与費	○地域コーディネーターの配置
	総合支援学校 VR 活用事業 [特別支援教育推進室]	886	【再掲 6 頁】

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑫幼児期における取組の充実	乳幼児の育ちと学び支援事業 [義務教育課]	29,987	【再掲 22 頁】
	幼児教育充実事業 [義務教育課]	5,975	○幼児教育に係る教職員の研修 ○幼児教育における教育課題に応じた指導方法等に関する調査研究
	幼児教育の質の向上推進事業 [義務教育課]	1,535	○幼稚園教諭免許状認定に係る講習を実施
	遊び・運動大好き！体力向上推進事業 [学校安全・体育課]	10,400	【再掲 6 頁】 【再掲 22 頁】
⑬少人数教育の推進	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 [義務教育課]	給与費	○いわゆる「小1プロブレム」など課題の解決を積極的に行う学校に対して、30人学級加配教員を配置
	35人学級化関連事業 [義務教育課]	給与費	○児童生徒の状況に応じたきめ細かな指導体制の充実を図るため、35人学級化のための教員配置を継続

< 2 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進 >

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑭地域連携教育の充実	新地域連携教育再加速化事業 [地域連携教育推進課]	64,530	【再掲 14 頁】
	地域教育力日本一推進事業 [地域連携教育推進課]	48,339	【再掲 15 頁】
	県立学校コミュニティ・スクール推進事業 [地域連携教育推進課]	4,511	【再掲 16 頁】
	「ふれあい夢通信」配信事業 [教育政策課]	480	○保護者や教育関係者等に、県教委の施策や行事など、山口県の教育情報を提供 [提供手段] ウェブページ、SNS
⑮家庭教育支援の充実	地域教育力日本一推進事業 [地域連携教育推進課]	48,339	【再掲 15 頁】

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑩社会教育施設等を活用した教育の充実	新地域と連携したリアルな体験活動充実事業 [地域連携教育推進課]	10,416	【再掲 16 頁】
	博物館学校地域連携教育支援事業 [学校運営・施設整備室]	1,992	○学校や地域と連携した学習支援 ▽学習教材の作成、Web ページ、マガによる広報 ▽小中学校・子ども会等への出前授業、館内授業など ▽各種講座、講演会、実験・体験教室等の開催
	サイエンスやまぐち 2023 開催費 [学校運営・施設整備室]	953	○サイエンスやまぐち 2023 の開催 県内小中高校生が研究した成果を、展示や研究発表会を通して県民に紹介 ▽山口県科学作品展 [期間] 令和 5 年 10 月 27 日～11 月 12 日 (15 日間) [会場] 県立山口博物館 ▽山口県科学研究発表会 (令和 5 年 10 月 12 日)
	新特別展「やまぐち 大考古博」開催費 [学校運営・施設整備室]	15,281	【再掲 28 頁】

< 3 生涯を通じた学びの充実 >

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑪人生 100 年時代を見据えた生涯学習の充実	生涯学習推進体制整備事業 [地域連携教育推進課]	29,374	○生涯学習情報の提供 生涯学習振興のために生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用 ○生涯学習推進センターを拠点に県・市町等関係機関とのネットワークを構築し、県民の多様なライフスタイルに対応した生涯学習活動を支援
	図書館資料充実事業 [学校運営・施設整備室]	50,000	○図書資料の充実 マルチメディアデジ図書や、ふるさと山口文学ギャラリーに係る郷土資料、子ども読書支援センターに係る図書等の充実
⑫地域社会における人権教育の推進	市町人権教育推進事業費補助事業 [人権教育課]	2,640	【再掲 28 頁】
	人権教育視聴覚資料整備事業 [人権教育課]	459	○学校等への貸出用に人権教育視聴覚資料を県立図書館へ整備
	社会人権教育推進事業 [人権教育課]	455	○市町教委の社会教育主事等、社会教育関係者、人権教育推進委員等を対象とした研修会の実施

施策名	事業名	予算額	事業の概要
⑳文化にふれあひ親しむ環境づくりの推進	学校芸術文化ふれあひ事業 [義務教育課]	6,474	○巡回芸術劇場の開催 管弦楽公演2回、合唱公演2回、演劇公演3回、 雅楽公演2回、邦楽公演2回、能楽公演2回 ○青少年劇場の開催 演劇公演6回 ○巡回ふれあひ公演の開催 音楽公演7回、演劇公演6回
	中学生文化活動活性化事業 [義務教育課]	988	○山口県中学校文化連盟総合文化祭開催支援 [開催期日] 令和5年11月4日、5日 [開催場所] 萩市 ○全国中学校総合文化祭派遣 [開催期日] 令和5年12月9日、10日 [開催場所] 沖縄県浦添市
	高等学校総合文化祭推進費 [高校教育課]	3,715	○山口県高等学校総合文化祭の開催支援 令和5年5月～11月 周南市ほか ○全国高等学校総合文化祭派遣 令和5年7月29日～8月4日 鹿児島県
㉑「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向けた取組の推進	新 やまぐち部活動改革推進事業 [学校安全・体育課]	44,241	【再掲 21 頁】 【再掲 24 頁】
	遊び・運動大好き！ 体力向上推進事業 [学校安全・体育課]	10,400	【再掲 6 頁】 【再掲 22 頁】
	中学校中国大会全国大会派遣費 [学校安全・体育課]	11,611	○中国大会 [期日] 令和5年8月上旬 ○全国大会 [期日] 令和5年8月～令和6年2月 [会場] 四国ブロック
	中学校高等学校体育大会開催費 [学校安全・体育課]	4,630	○中学校体育大会の開催支援 [期日] 令和5年5月～10月 [会場] 県内各地 ○高等学校体育大会の開催支援 [期日] 令和5年5月～11月 [会場] 県内各地 ○令和7年度高校総体
	全国高等学校体育大会派遣費 [学校安全・体育課]	24,681	○夏季大会 [期日] 令和5年7月22日～8月21日 [会場] 北海道 等 ○冬季大会 [期日] 令和5年12月下旬～令和6年2月上旬 [会場] 京都府 等 ○定時制通信制大会 [期日] 令和5年7月下旬～9月中旬 [会場] 東京都 等

< 4 豊かな学びを支える教育環境の充実 >

施策名	事業名	予算額	事業の概要	
②教育施設・設備の整備、教育環境の向上	教育 ICT 管理運営費 [教育情報化推進室]	91,485	【再掲 9 頁】 ○1 人 1 台タブレット端末等 ICT 環境の管理運営	
	県立学校施設整備事業 [学校運営・施設整備室]	3,305,267	○再編統合に伴う高校の施設整備、施設・設備の長寿命化対策、教室不足に対応した総合支援学校の施設整備、非構造部材の耐震対策等を実施 ○教育環境の向上を図るため、県立高校等に空調設備を整備 【再掲 10 頁】 【再掲 23 頁】 【再掲 26 頁】	
	区 分		予算額	摘 要
	高校再編整備		172,100	岩国、下関西等
	長寿命化対策		1,641,574	岩国工業、西京等
	総合支援学校教室不足対策		1,802,635 (再掲 811,296)	豊浦総支、宇部総支等
	非構造部材の耐震対策		745,581 (再掲 745,581)	山口農業、大津緑洋(日置・水産)等
	その他老朽対策(高校)		313,751	柳井、豊浦等
	その他老朽対策(総支)		46,376	下関総支、下関南総支
	空調設備整備		140,127	県立高校等
合 計		3,305,267		
②教育施設・設備の整備、教育環境の向上	産業教育設備整備費 [学校運営・施設整備室]	102,119	○県内産業を支える人材を育成するため、専門高等学校等に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を整備	
	理科数学教育設備費 [学校運営・施設整備室]	7,806	○科学的な知識、技能及び態度の習得を図るため、理科教育振興法に基づき、実験・実習装置を整備	
	東部地域高校教育支援事業 [学校運営・施設整備室] [教職員課]	給与費 管理費	○県立学校寄宿舎等の運営支援を通じた高校教育の支援(再編関連特別地域整備事業：事業費 40,136)	
③学校安全の推進	学校安全総合推進事業 [学校安全・体育課]	4,618	【再掲 26 頁】	
④学校における働き方改革の推進	教員業務支援員配置事業 [教職員課]	40,700	【再掲 24 頁】	
	学校管理指導費 [教職員課]	1,800	○IC カード等による勤務時間管理や留守番電話の運用等による勤務体制等の改善	

施策名	事業名	予算額	事業の概要																																																								
④学校における働き方改革の推進	統合型校務支援システム 管理運営費 [教育情報化推進室]	61,406	○全ての県立高校等で統合型校務支援システムを運用し、出欠管理や成績処理等の校務を効率化 ○総合支援学校への導入準備																																																								
	新やまぐち部活動改革 推進事業 [学校安全・体育課]	44,241	【再掲 21 頁】 【再掲 24 頁】																																																								
	やまぐち部活動応援事業 [学校安全・体育課]	7,508	【再掲 24 頁】																																																								
⑤教職員の資 質能力の向上	乳幼児の育ちと学び支援 事業 [義務教育課]	29,987	【再掲 22 頁】																																																								
	幼児教育の質の向上推進 事業 [義務教育課]	1,535	【再掲 35 頁】																																																								
	教員資質能力向上推進事 業 [教職員課]	500	○教員をめざす学生の学校体験制度 ○山口県教師力向上プログラム ○採用前教職インターンシップ																																																								
	教職員定数 [教職員課] [義務教育課] [特別支援教育推進室]	給与費	○児童生徒数の減少等に伴い、全体で 119 人減																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高等学校</th> <th>中等教育 学 校</th> <th>特別支援 学 校</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">教職員</td> <td>R5</td> <td>5,268</td> <td>3,041</td> <td>2,460</td> <td>64</td> <td>1,400</td> <td>12,233</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5,320</td> <td>3,076</td> <td>2,473</td> <td>64</td> <td>1,419</td> <td>12,352</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>▲52</td> <td>▲35</td> <td>▲13</td> <td>0</td> <td>▲19</td> <td>▲119</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">児 童 生 徒</td> <td>R5</td> <td>61,517</td> <td>32,357</td> <td>23,315</td> <td>630</td> <td>2,001</td> <td>119,820</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>63,393</td> <td>32,464</td> <td>23,610</td> <td>630</td> <td>1,985</td> <td>122,082</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>▲1,876</td> <td>▲107</td> <td>▲295</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>▲2,262</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		小学校	中学校	高等学校	中等教育 学 校	特別支援 学 校	合 計	教職員	R5	5,268	3,041	2,460	64	1,400	12,233	R4	5,320	3,076	2,473	64	1,419	12,352	増減	▲52	▲35	▲13	0	▲19	▲119	児 童 生 徒	R5	61,517	32,357	23,315	630	2,001	119,820	R4	63,393	32,464	23,610	630	1,985	122,082	増減	▲1,876	▲107	▲295	0	16	▲2,262
	区 分		小学校	中学校	高等学校	中等教育 学 校	特別支援 学 校	合 計																																																			
	教職員	R5	5,268	3,041	2,460	64	1,400	12,233																																																			
		R4	5,320	3,076	2,473	64	1,419	12,352																																																			
		増減	▲52	▲35	▲13	0	▲19	▲119																																																			
	児 童 生 徒	R5	61,517	32,357	23,315	630	2,001	119,820																																																			
R4		63,393	32,464	23,610	630	1,985	122,082																																																				
増減		▲1,876	▲107	▲295	0	16	▲2,262																																																				
※児童生徒数は見込																																																											
⑤教職員の資 質能力の向上	教員人材確保の推進 (教職員採用等選考実施費) [教職員課]	23,798	○県内外の大学生等に対する採用試験説明会、教 職ガイダンスの開催及び大学訪問 ○高校生に対する教職セミナー																																																								
	新 人づくりを支える教 師確保推進事業 [教職員課]	8,200	【再掲 24 頁】																																																								
	拡 教職員等研修事業 [教職員課]	53,050	【再掲 25 頁】																																																								
	初任者・中堅教諭等資質 向上研修事業 [教職員課]	19,859	○教育公務員特例法で定められた法定研修の実施																																																								
	総合教育支援センター管 理運営費 [教職員課]	91,962	○学校現場などに対する総合的、専門的サポート 機関として教育活動に関する支援などの事業を 推進																																																								

施策名	事業名	予算額	事業の概要
②⑥校種間連携・一貫教育の推進	新地域連携教育再加速化事業 [地域連携教育推進課]	64,530	【再掲 14 頁】
	地域教育力日本一推進事業 [地域連携教育推進課]	48,339	【再掲 15 頁】
	小1プロブレム解消のための30人学級加配教員配置 [義務教育課]	給与費	【再掲 35 頁】
	35人学級化関連事業 [義務教育課]	給与費	【再掲 35 頁】
	幼児教育充実事業 [義務教育課]	5,975	【再掲 35 頁】
②⑦多様な学びのニーズに応える特色ある学校づくり	県立学校施設整備事業（高校再編整備・教室不足対策） [学校運営・施設整備室]	1,974,735	【再掲 10 頁】 【再掲 23 頁】 ○再編統合に伴う高等学校の施設整備を実施 岩国、下関西等 ○教室不足に対応した総合支援学校の施設整備を実施 豊浦総支、宇部総支等
	小中学校日本語指導支援員配置事業 [義務教育課]	19,485	○基地周辺地域の市町立小中学校における日本語指導支援員の配置を支援
	新日本語教育支援体制整備事業 [義務教育課]	29,370	【再掲 8 頁】 【再掲 23 頁】
②⑨修学支援の充実	新県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業 [教育政策課]	13,211	【再掲 10 頁】
	公立高等学校等就学支援事業 [教育政策課]	2,092,729	【再掲 27 頁】
	国公立高校生奨学給付金事業 [教育政策課]	308,268	【再掲 9 頁】 【再掲 27 頁】
	県立高校生等奨学事業 [教育政策課]	19,252	○経済的理由により修学が困難な生徒・学生に対し、奨学金を貸与 [実施主体] (公財)山口県ひとづくり財団
	離島高校生修学支援事業 [教育政策課]	809	○国の制度を活用し、離島出身の高校生が修学に要する通学費等の補助事業を行う市町への補助 [負担割合] 国 1/2、県 1/4、市町 1/4
	定時制通信教育教科書等給与事業 [高校教育課]	402	○県立高等学校の定時制及び通信制に在籍する生徒のうち、有職で一定の単位を修得し、かつ経済的困窮状態にある生徒を対象として、教科書等の無償給与を実施

Ⅹ イベント等一覧

県有施設における企画展等

《県立山口博物館》

企画展名	開催期間	内 容
特別展「やまぐち 大考古博」	7月21日(金) ～9月3日(日)	大昔から文化や人々が交流する場所であった山口県。本展は、東京国立博物館から借用する里帰り資料をはじめ、県内各地から出土した貴重な考古資料を一堂に集め、交流・産業・政治の視点から、山口県の魅力を内外に発信する。
サイエンスやまぐち2023 (第77回山口県科学作品展)	10月27日(金) ～11月12日(日)	山口県内の児童生徒の科学活動を推奨するため「科学作品展」を開催する。

《県立山口図書館》

企画展名	開催期間	内 容
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「没後10年、和田健の軌跡」	1月22日(日) ～4月27日(木)	平成25年(2013年)に死去した、山口市出身の詩人和田健の没後10年を記念して、和田健の文学活動、郷土文学顕彰活動を振り返りつつ、山口県立大学郷土文学資料センターが所蔵する和田健旧蔵資料を中心に紹介する。
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「生誕120年、金子みすゞ、林芙美子、田島準子、中本たか子」	4月29日(土) ～8月30日(水)	明治36(1903)年生まれの山口県の文学者には、童謡詩人の金子みすゞ、小説家の林芙美子、田島準子、中本たか子がいる。生誕120年を記念して、4人の文学者の生涯や作品等を紹介する。
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「山口県文学のお宝資料(仮称)」	9月1日(金) ～12月27日(水)	当館が所蔵する山口県ゆかりの文学資料から『山羊の歌』(初版・中原中也著)、国木田独歩自筆書簡、氏原大作自筆原稿など、普段は書庫に保管している貴重な資料を展示する。
ふるさと山口文学ギャラリー企画展「没後10年、まど・みちおの世界(仮称)」	1月5日(金) ～4月25日(木)	平成26年(2014年)に104歳で死去した、周南市出身の詩人まど・みちお。没後10年を記念して、まどの生涯を振り返りつつ、「ぞうさん」等の詩や童謡、また絵画等の作品を紹介する。
明治維新人物ギャラリー資料展示	通年	明治維新に関する膨大な図書館資料の中から、特に人物・事物にスポットを当てて資料を紹介する。

《文書館》

企画展名	開催期間	内 容
第18回中国四国地区アーカイブズウィーク「はじめる・はじまる～記録・生活・制度・組織～」	6月1日(木) ～7日(水)	「はじめる・はじまる」をキーワードに、記録の作成および生活、制度、組織などが新たに始まる動きに注目して、防長の歴史の一コマを文書館所蔵資料から紹介する。

令和5年度の主なイベント等

時 期	イベント等の名称	内 容
4月	26 高等学校等進路指導連絡協議会	高校生等の求人開拓、進路指導に関する協議、情報交換等
	23～5/12 こどもの読書週間	山口県子ども読書活動団体表彰、県立山口図書館での関連イベント等
5月	～11月 山口県高等学校総合体育大会	県内高校生によるスポーツ競技大会
	～11月 山口県高等学校総合文化祭	県内高校生による芸術文化の発表・展示等
	中旬～6月中旬 県内就職促進協議会	高等学校等の教員等と県内企業採用担当者による学校の教育内容や企業の業務内容及び求人情報の交換
6月	10～11 やまぐちサイエンス・キャンプ	国際科学オリンピックへの参加啓発
	中旬 県内企業就職説明会	生徒・保護者を対象に、企業の魅力を直接伝える説明会を実施
7月	上旬 Alohaミーティング	短期留学参加者の事前学習会
	22～8/21 全国高等学校総合体育大会（夏季）	会場：北海道 他
	29～8/4 全国高等学校総合文化祭	会場：鹿児島県
	下旬～9月下旬 全国高等学校総合体育大会（定時制・通信制）	会場：東京都 他
8月	上旬 山口県高校生短期留学プログラム	ハワイへの短期留学
	5 第11回科学の甲子園ジュニア山口県大会	中学生対象の科学の競技大会(全国大会予選)
	18 子どもの未来を考えるフォーラム	いじめ・不登校等の解決に向けた意識啓発
	下旬 全国中学校体育大会（夏季）	会場：四国ブロック
10月	1～31 やまぐち家庭教育支援強化月間	家庭の元気応援キャンペーン
	上旬 山口県特別支援学校文化祭美術作品展	県内の特別支援学校の児童生徒の美術作品の展示
	中旬 Mahaloミーティング	短期留学参加者による体験発表及び外国人講師によるグループワーク等の事後学習会
	中旬 山口県中学校新人体育大会	県内中学生によるスポーツ競技大会
	中旬 地区別進路指導連絡協議会	高等学校等の教員等による生徒の就職内定状況等に関する情報交換
	中旬 県内企業就職説明会	就職を希望する生徒等と県内企業採用担当者との面談
	下旬 児童生徒慶尚南道友好相互交流事業	慶尚南道と山口県の高校生がSDGsをテーマに交流
11月	1～7 やまぐち教育週間	教育に関する普及・啓発活動の強化週間
	4～5 山口県中学校文化連盟第19回総合文化祭	様々な文化活動の県大会（発表・交流）
	上旬 第13回科学の甲子園 山口県大会	高校生対象の科学の競技大会(全国大会予選)
	上旬 部活動指導者サミット	望ましい部活動の在り方に関する実践発表・講演等
12月	4～10 人権週間	人権に関する児童生徒作品(ポスター)の入賞作品展示
	下旬～2月上旬 全国高等学校総合体育大会（冬季）	会場：京都府 他
1月	中旬 特別支援教育フェスティバル	障害のある児童生徒による芸術作品展示、作業製品販売等を一体的に実施
	20 地域連携教育再加速フォーラム	地域連携教育の実践発表、講演や、研究指定校によるポスターセッション等
	中旬～2月上旬 全国中学校体育大会（冬季）	会場：長野県 他
	日未定 第76回山口県学校美術展覧会	県内の幼児児童生徒の優れた作品の展示
2月	9 やまぐち教育フォーラム	県内教員等による研究成果・教育実践の発表
	中旬 2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち	高校1・2年生等が将来の進路について考え、進学や適職を発見するイベント
	日未定 やまぐちICT活用コンテスト（仮称）	県内高校生等のICTの好活用事例を審査
3月	中旬 山口県高等学校等探究学習成果発表大会	探究科・理数科等の生徒による成果発表

我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

▶ 教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す**羅針盤**となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う営み【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・こども基本法等

第3期計画期間中の成果

- ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善
- ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備
- ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化等

第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
- ・不登校・いじめ重大事態等の増加
- ・学校の長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・博士課程進学率の低下

次期計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自ら**社会の創り手**となり、課題解決などを通じて、**持続可能な社会**を維持・発展させていく
- ・**社会課題の解決**を、経済成長と結び付けて**イノベーション**につなげる取組や、一人一人の**生産性向上**による、**活力ある社会の実現**に向けて「**人への投資**」が必要
- ・**Society 5.0**で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上

- ・多様な個人それぞれの**幸せや生きがい**を感じるとともに、**地域や社会**が**幸せや豊かさ**を感じられるものとなるための教育の在り方
- ・幸福度、**学校や地域でのつながり**、利他性、協働性、**自己肯定感**、自己実現等が含まれ、協調的要素と獲得的要素を調和的・一体的に育む
- ・**日本発の調和と協調**（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

今後の教育政策に関する基本的な方針

グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に**社会の形成**に参画、持続的**社会の発展**に寄与
- ・「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善、大学教育の**質保証**
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で**留学等国際交流**や大学等**国際化**、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・**リカレント教育**を通じた高度人材育成

誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による**多様な教育ニーズへの対応**
- ・支援を必要とする子供の**長所・強みに着目**する視点の重視、**地域社会の国際化**への対応、**多様性、公平・公正、包摂性**（DE&I）ある**共生社会の実現**に向けた教育を推進
- ・**ICT等の活用**による学び、交流機会、アクセシビリティの向上

人生100年時代に複雑化する生涯にわたって学び続ける学習者

教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進

DXに至る**3段階**（電子化→最適化→新たな価値（DX））において、第3段階を見据えた、**第1段階から第2段階への移行**の着実な推進

指導体制・ICT環境等の整備、**学校における働き方改革**の更なる推進、**経済的・地理的状況**によらない学びの確保

計画の実効性確保のための基盤整備・対話

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、**安全・安心**で質の高い教育研究環境等の整備、**児童生徒等の安全確保**

地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・**持続的な地域コミュニティの基盤形成**に向けて、**公民館等の社会教育施設**の機能強化や**社会教育人材**の養成と活躍機会の拡充
- ・**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**、家庭教育支援の充実による**学校・家庭・地域の連携強化**
- ・**生涯学習**を通じた自己実現、**地域や社会への貢献**等により、**当事者として地域社会の担い手**となる

教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、**教育データの分析・利活用**の推進

デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

今後の教育政策の遂行に当たっての評価・投資等の在り方

教育政策の持続的改善のための評価・指標の在り方

- ・客観的な根拠を重視した教育政策のPDCAサイクルの推進
- ・調査結果（定量・定性調査）に基づく多様な関係者の対話を通じた政策・実践の改善

- ・データ等を分析し、企画立案等を行うことのできる行政職員の育成
- ・教育データ（ビッグデータ）の分析に基づいた政策の評価・改善の促進

教育投資の在り方

「人への投資」は成長の源泉であり、成長と分配の好循環を生み出すため、教育への効果的投資を図る必要。「未来への投資」としての教育投資を社会全体で確保。

① 教育費負担軽減の着実な実施及び更なる推進

- ・幼児教育・保育の無償化、高等学校等就学支援金による授業料支援、高等教育の修学支援新制度等による教育費負担軽減を着実に実施
- ・高等教育の給付型奨学金等の多子世帯や理工農系の学生等の中間層への拡大等

② 各教育段階における教育の質の向上に向けた環境整備

- ・GIGAスクール構想、教師の処遇等の在り方の検討、指導体制の構築、教員研修高度化
- ・国立大学法人運営費交付金・私学助成の適切な措置、成長分野への転換支援の基金創設
- ・リカレント教育の環境整備、学校施設・大学キャンパスの教育研究環境向上と老朽化対策等

OECD諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし、必要な予算について財源を措置し、真に必要な教育投資を確保

今後5年間の教育政策の目標と基本施策

教育政策の目標	基本施策（例）	指標（例）
1. 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の実施 ○幼児教育の質の向上 ○高等学校教育改革 ○大学入学者選抜改革 ○修業者本位の教育の推進 ○文理横断・文理融合教育の推進 ○キャリア教育・職業教育の推進 ○学校段階間・学校と社会の接続の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・OECDのPISAにおける世界トップレベル水準の維持・到達 ・授業の内容がよく分かる、勉強は好きと思う児童生徒の割合 ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ・高校生・大学生の授業外学習時間 ・PBL（課題解決型学習）を行う大学等の割合 ・職業実践力育成プログラム（BP）の認定課程数
2. 豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の推進 ○いじめ等への対応、人権教育の推進 ○発達支持的生徒指導の推進 ○体験・交流活動の充実 ○読書活動の充実 ○伝統や文化等に関する教育の推進 ○文化芸術による子供の豊かな心の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 ・人が困っている時は進んで助けていると考える児童生徒の割合 ・自然体験活動に関する行事に参加した青少年の割合
3. 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学校保健、学校給食・食育の充実 ○生活習慣の確立、学校体育の充実・高度化 ○運動部活動改革の推進と身近な地域における子供のスポーツ環境の整備充実 ○アスリートの発掘・育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を欠食する児童生徒の割合 ・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合 ・卒業後にもスポーツをしたと思う児童生徒の割合
4. グローバル社会における人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人学生・生徒の海外留学の推進 ○外国人留学生の受入れの推進 ○高等学校・高等専門学校・大学等の国際化 ○外国語教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語力について、中学・高校卒業段階で一定水準を達成した中高生の割合 ※留学等の国際交流は今後設定予定
5. インバウンドを担う人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○探究・STEAM教育の充実 ○大学院教育改革 ○高等専門学校の高高度化 ○理工系分野をはじめとした人材育成及び女性の活躍推進 ○起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の推進 ○大学の共創拠点化 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士入学者数に対する博士入学者数の割合 ・自然科学（理系）分野を専攻する学生の割合 ・大学等における起業家教育の受講者数
6. 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の意見表明 ○主権者教育の推進 ○消費者教育の推進 ○持続可能な開発のための教育（ESD）の推進 ○男女共同参画の推進 ○環境教育の推進 ○災害復興教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合 ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答える児童生徒の割合

教育政策の目標	基本施策（例）	指標（例）
7. 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 ○不登校児童生徒への支援の推進 ○ヤングケアラーの支援 ○子供の貧困対策 ○海外で学ぶ日本人・日本で学ぶ外国人等への教育の推進 ○特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援 ○大学等における学生支援 ○夜間中学の設置・充実 ○高校定時制・通信制課程の質の確保・向上 ○高等専修学校の教育の推進 ○日本語教育の充実 ○障害者の生涯学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成状況 ・学校内外で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒数の割合 ・不登校特例校の設置数 ・夜間中学の設置数 ・日本語指導が必要な児童生徒で指導を受けている者の割合 ・在留外国人数に占める日本語教育機関等の日本語学習者割合
8. 生涯学び、活躍できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実 ○働きながら学べる環境整備 ○リカレント教育のための経済支援・情報提供 ○現代的・社会的課題に対応した学習 ○女性活躍に向けたリカレント教育の推進 ○高齢者の生涯学習の推進 ○リカレント教育の成果の適切な評価・活用 ○生涯を通じた文化芸術活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・この1年くらいの間に生涯学習をしたことがある者の割合 ・この1年くらいの間の学修を通じて得た成果を仕事や就職の上で生かしている等と回答した者の割合 ・国民の鑑賞、鑑賞以外の文化芸術活動への参加割合
9. 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ○家庭教育支援の充実 ○部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを導入している公立学校数 ・学校に対する保護者や地域の理解が深まったと認識する学校割合 ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の住民等参画状況
10. 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育施設の機能強化 ○社会教育人材の養成・活躍機会拡大 ○地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、経験等を地域や社会での活動に生かしている者の割合 ・社会教育士の称号付与数 ・公民館等における社会教育主事有資格者数
11. 教育DXの推進・デジタル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○1人1台端末の活用 ○児童生徒の情報活用能力の育成 ○教師の指導力向上 ○校務DXの推進 ○教育データの標準化 ○教育データ分析・利活用 ○デジタル人材育成の推進（高等教育） ○社会教育分野のデジタル活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の情報活用能力（情報活用能力調査能力値） ・教師のICT活用指導力 ・ICT機器を活用した授業頻度 ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム受講対象学生数
12. 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○指導体制の整備 ○学校における働き方改革の更なる推進 ○ICT環境の充実 ○教師の養成・採用・研修の一体的改革 ○地方教育行政の充実 ○教育研究の質向上に向けた基盤の確立（高等教育段階） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の在校等時間の短縮 ・特別免許状の授与件数 ・教員採用選考試験における優れた人材確保のための取組状況 ・児童生徒1人1台端末の整備状況 ・ICT支援員の配置人数 ・大学における外部資金獲得状況 ・大学間連携に取り組む大学数
13. 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○教育費負担の軽減に向けた経済的支援 ○へき地や過疎地域等における学びの支援 ○災害時における学びの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民税非課税世帯等の子供の大学等進学率 ・経済的理由による高等学校・大学等の中退者数・割合 ・高等学校における学びの質向上のための遠隔授業（教科・科目充実型）によって行われる実施科目数
14. NPO・企業・地域団体等との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○NPOとの連携 ○企業との連携 ○スポーツ・文化芸術団体との連携 ○医療・保健機関との連携 ○福祉機関との連携 ○警察・司法との連携 ○関係省庁との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場見学・職業体験・就業体験活動の実施の割合 ・都道府県等の教育行政に係る法務相談体制の整備状況
15. 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設の整備 ○学校における教材等の充実 ○私立学校の教育研究基盤の整備 ○文教施設の官民連携 ○学校安全の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校や国立大学等の施設の老朽化対策実施率 ・私立学校施設の耐震化率 ・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の件数
16. 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ○各ステークホルダー（子供を含む）からの意見聴取・対話 	<ul style="list-style-type: none"> ・国・地方公共団体の教育振興基本計画策定における各ステークホルダー（子供を含む）の意見の聴取・反映の状況の改善

山口県立山口博物館
夏の特別展
「やまぐち 大考古博」
令和5年7月21日（金）
～9月3日（日）



YAMA-LABO

やまぐち I C T 新たな学びラボ

ICTを授業や校務において効果的に活用できる情報を集積したウェブサイトです。
タブレット端末を活用した授業や探究的な学びに関する資料などを多数掲載中！

YAMA-LABO

HOME コンテンツの検索の仕方 募集・質問・リクエスト 参考資料（リンク集等）



やまぐち I C T 新たな学びラボ

児童生徒の情報活用能力育成にむけて
山口県の教育に携わるみんなで作るサイト

掲載内容例

- ❑ Google Workspace、Teams、Zoom等の活用に関する研修動画
- ❑ ICTを活用した新たな授業提案 **好事例を募集中**
- ❑ 県内の先生方の取組紹介
- ❑ PBL（課題解決型学習）で活用できる「教育プログラム」
- ❑ 山口県教育委員会の発行物 など

ここからアクセス
できます！



<https://www.ysn21.jp/wp2/>



「家庭の元気応援キャンペーン」
マスコットキャラクター
ファミリン



やまぐち教育応援団
シンボルマーク
ええるくん



山口県立山口博物館
マスコットキャラクター
なっとくん

令和5年度山口県教育推進の手引き

令和5年(2023年)4月

山口県教育委員会

〒753-8501 山口市滝町1番1号